

荒川区 指定管理者 令和4年度分 実績評価結果

令和5年11月

荒 川 区

目 次

<p>実績評価の目的及び評価方法について ... 3</p> <p>ふれあい館</p> <p>石浜ふれあい館 ... 5</p> <p>南千住ふれあい館 ... 9</p> <p>南千住駅前ふれあい館 ... 13</p> <p>汐入ふれあい館 ... 17</p> <p>峡田ふれあい館 ... 21</p> <p>荒川山吹ふれあい館 ... 25</p> <p>町屋ふれあい館 ... 29</p> <p>荒木田ふれあい館 ... 33</p> <p>東尾久本町通りふれあい館 ... 37</p> <p>尾久ふれあい館 ... 41</p> <p>西尾久ふれあい館 ... 45</p> <p>東日暮里ふれあい館 ... 49</p> <p>夕やけこやけふれあい館 ... 53</p> <p>ひぐらしふれあい館 ... 57</p> <p>西日暮里ふれあい館 ... 61</p> <p>文化施設</p> <p>荒川区民会館（サンパール荒川） ... 65</p> <p>日暮里サニーホール ... 69</p> <p>ムーブ町屋 ... 73</p> <p>生涯学習施設</p> <p>町屋文化センター ... 77</p> <p>生涯学習センター ... 81</p> <p>清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 ... 85</p> <p>スポーツ施設</p> <p>荒川総合スポーツセンター ... 89</p> <p>高齢者福祉施設</p> <p>特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 ... 93</p> <p>特別養護老人ホームサンハイム荒川 ... 97</p> <p>特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 ... 101</p> <p>グリーンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 105</p>	<p>花の木ハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 109</p> <p>町屋在宅高齢者通所 S C ... 113</p> <p>南千住中部在宅高齢者通所 S C ... 117</p> <p>東日暮里在宅高齢者通所 S C ... 121</p> <p>荒川東部在宅高齢者通所 S C ... 125</p> <p>荒川老人福祉センター ... 129</p> <p>荒川授産場 ... 133</p> <p>障がい者福祉施設</p> <p>荒川生活実習所 ... 137</p> <p>荒川福祉作業所 ... 141</p> <p>尾久生活実習所本所／分場 ... 145</p> <p>障害者福祉会館 ... 149</p> <p>精神障害者地域生活支援センター ... 153</p> <p>保育施設</p> <p>上尾久保育園 ... 157</p> <p>南千住さくら保育園 ... 161</p> <p>汐入とちのき保育園 ... 165</p> <p>はなみずき保育園 ... 169</p> <p>南千住保育園 ... 173</p> <p>南千住七丁目保育園 ... 177</p> <p>夕やけこやけ保育園 ... 181</p> <p>住宅</p> <p>荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目 ... 185 南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目）</p> <p>荒川区民住宅（町屋五丁目） ... 189</p> <p>従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅）</p> <p>自転車等駐車場</p> <p>南千住駅東口自転車等駐車場 ... 193</p> <p>日暮里駅前自転車駐車場</p> <p>センターまちや自転車駐車場 ... 198</p> <p>三河島駅前自転車駐車場</p>
--	---

通所サービスセンターを「S C」と記載しています。

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

施設種別	施設特性	対象施設
A 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等による施設運営基準の定めがある ・人的サービスの比重が大きい 	高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、保育施設
B 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい 	文化施設、ふれあい館、生涯学習施設、スポーツ施設、自転車等駐車場、住宅

(2) A 施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・「法令基準等への適合状況」と「加点点評価項目」の2面から評価する。
- ・「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- ・施設特性に応じて「加点点評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B 施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- ・「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点(100点満点)を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- ・「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点(10点以内)を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- ・「基本評価項目(100点)」と「その他の評価項目(10点)」の総合得点(110点満点)を算出し、下表の基準によりS~Dの総合評価を行う。

評価		基準
S	特に優れている	総合得点が100点以上
A	優れている	総合得点が80点以上100点未満
B	適正である	総合得点が60点以上80点未満
C	努力が必要である	総合得点が40点以上60点未満
D	運営に大きな問題がある	総合得点が40点未満

(4) 財務・労務に関する評価項目と評点 (A施設・B施設共通)

- ・ A施設・B施設ともに、「会計 」、「会計 」、「労務」、「法人決算」の状況を確認し、次の基準により優良・良好・課題有の評価を行う。

< 会計 >

優良 : 会計手続及び予算管理が極めて適正である。

良好 : 会計手続及び予算管理が適正に行われていた。もしくは、会計手続及び予算管理が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 会計手続及び予算管理に改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、会計手続及び予算管理に問題があり、改善の見込みがない。

< 会計 >

優良 : 施設の特性に応じ、極めて優れた経費の効果的活用が行われていた。

良好 : 施設の特性に応じ、経費の効果的活用が行われていた。

課題有 : 経費の効果的活用について、改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、経費の効果的活用について改善の見込みがない。

< 労務 >

優良 : 労働環境が適正である。

良好 : 労働環境は適正ではあるが、一部改善の必要が見受けられる。改善が必要な部分について、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 労働環境に改善すべき点が見られ、努力が必要である。もしくは、労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

< 法人決算 >

優良 : 極めて良好な財務力を有している。

良好 : 安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。もしくは、安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。

課題有 : 安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 16,584名（事業参加者数 13,344名、貸室利用者数 3,240名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：2,400名、乳幼児：2,491名、小学生：3,657名、 中学生：745名、高校生：74名、成人：990名、高齢者：2,987名</p> <p>【施設稼働率】 63.9%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	保護者の健康が乳幼児の健やかな成長に繋がることから乳幼児教室は継続して実施するとともに、幼児を対象に体操など体を動かし基礎的な体力をつける事業を開催する。	
【小学生】	1年生は創作室や多目的室などの利用を通して館の活動に慣れていくよう支援するとともに、ダンスサークルは2年生以上を対象に集中して取り組める環境を整える。	
【中高生】	ダンスサークルが定着するよう充実を図っていく。	
【成人】	利用者を開拓するため、「卓球」など新たな事業を試行し、継続に繋げていく。	
【高齢者】	体操やダンス事業が定着したため、維持に努めていく。	
【世代間交流】	感染症予防対策を講じつつ、多世代の交流が深まる大型事業（石浜縁日、クリスマス会等）の充実を図る。	
【地域交流】	地域と連携してハロウィンイベントを実施するほか、地域行事に積極的に参加する。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	新規事業の幼児を対象とした体操教室「あそびバ！」が好評を得た。また、一部の乳幼児教室を2部制にして実施し、より多くの活動の機会を創出することができた。	
【小学生】	ダンスなどのサークル活動は、年度当初は体力的にも充実した2年生以上を対象として活動開始し、高度な内容に挑戦することができた。1年生はふれあい館の利用に慣れてきた後期から徐々に声を掛けてサークルに呼び込むなど次年度に繋げる準備ができた。	
【中高生】	中高生事業の核となるダンスサークルは、参加者のモチベーションが高く、年間を通して安定して実施することができた。	
【成人】	利用者のニーズに的確に応えるため、新たに事業を開始する前にママ達から要望のあった「成人向けトレーニング」などは試行を重ねてから定期的な事業に昇格した。	
【高齢者】	「本気（マジ）トレーニング」では、担当職員が参加者一人一人の能力に適した質の高いトレーニングを提供し、高齢者の体力増進に寄与した。	
【世代間交流】	大型イベントである「石浜縁日」は、密を防ぐためブース間の距離をとり実施し、混乱することなくイベントを楽しみ交流することができた。	
【地域交流】	事務局として参加した南千住なかよしまつりで、ダンスサークルが発表を行ったほか、ふれあい館の敷地にて町会と合同で避難訓練を実施する等、地域交流を図った。	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	2	40%	4
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計(A)				94
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	3	60%	2.4
合計(B)				8.4
合計(A+B)				102.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、館内の清掃及び整理整頓がなされているほか、危機管理を徹底し、適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が極めて高く、適切に運営されているほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、地域と連携した事業展開を行っているほか、区民雇用を積極的に行っている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が100%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が97.4%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>安全に対する積極的な取組について、常勤職員の上級救命講習未受講者に受講を求めていくとともに、事業の実施率について73.0%となっていることから、事業が計画的に遂行されるよう対応を求めていく。</p>				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	53,498,037	53,539,074	53,559,074	54,587,272
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	53,498,037	53,539,074	53,559,074	54,587,272
支出	運営費	2,760,997	2,213,472	2,619,088	2,207,333
	管理費	13,449,009	13,490,263	14,749,656	15,283,236
	本部経費	1,175,000	1,102,784	1,170,000	1,083,182
	人件費	27,329,218	24,409,709	29,400,000	25,783,456
	修繕費	211,805	413,765	687,778	683,980
	その他支出	0	0	0	0
	計	43,751,029	40,527,209	47,456,522	43,958,005
収支差額		9,747,008	13,011,865	6,102,552	10,629,267
区への返還額		2,904,920	6,336,323	0	4,254,355
精算後収支差額		6,842,088	6,675,542	6,102,552	6,374,912

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・運営費については、事業に使用する消耗品を再利用し節約するなどして事業費を節減したため、当初計画より決算額が下回った。
- ・人件費については、非常勤職員の異動や退職があったため、当初計画より決算額が下回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差は少ない。人件費に収支差があるのは、非常勤職員の減少によるもので、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費のうち、電気にかかる費用が増大した。これは基本料金、単価上昇によるものであり、使用量の抑制は行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性、安定性、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な材料は有している。	優良

総合評価

サービス面、労務面は優良、財務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	株式会社ポピンズエデュケア
	所在地	渋谷区広尾五丁目6番6号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和4年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、屋上広場、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 54,573名（事業参加者数 32,583名、貸室利用者数 21,990名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：5,453名、乳幼児：5,936名、小学生：11,743名、 中学生：2,223名、高校生：224名、成人：880名、高齢者：6,124名</p> <p>【施設稼働率】 55.4%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	親子の居場所として安心して遊べるよう乳幼児対象事業を実施していく。	
【小学生】	子ども達が楽しく充実した時間を過ごせるよう、換気・手洗い・消毒等の対策を徹底し、可能な限り「あそび」の提供をしていく。	
【中高生】	中高生が気軽に集まり、仲間と体を動かし楽しめるよう「ティーンズタイム」を設け多目的室を専用に開放する。	
【成人・高齢者】	事業活動を通して参加者の仲間作りと交流を図る場を提供する。事業実施にあたっては、感染防止対策を徹底する。	
【世代間交流】	子どもが子育て世代や祖父母世代の大人と行事等で交流することは豊かな体験となり地域のつながりを深めることにもなるので、「世代間交流」を意識した事業を幅広く展開していく。	
【地域交流】	感染防止対策を徹底し、規模を縮小するなどして、ふれあい館祭りや、地域行事参加などを通じ、地域交流を実施していく。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	乳幼児タイムは年々参加する親子の数が減少しているが、夏の屋上プールとベビーマッサージ、音楽ムーブメント、ベビーマッサージの各講座は好評だった。	
【小学生】	通常事業では多目的室でのタスケ（ボール遊び）が圧倒的人气で男子児童を中心に毎日のように遊び楽しんでいた。また、感染症対策を取って「デイキャンプ」「わくわくまつり」等の大型行事を実施し、ダンスサークル発表の機会も得た。	
【中高生】	事業は多目的室を中高生だけが自由に使える時間「ティーンズタイム」のみの実施だが、参加者は中学生、高校生とも増加している。	
【成人・高齢者】	既存事業の他、新規事業の「女性のためのミット打ちエクササイズ」を開催する等、体を動かす事業は好評であった。	
【世代間交流】	「わくわくまつり」において、小学生と高齢者のボランティアと一緒に運営に参加することで、世代間交流につなげた。	
【地域交流】	地域の「なかよしまつり」「たこ揚げ大会」の実施に協力・連携することで、地域交流の機会を得た。	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			77
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	4	80%	4
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	4	80%	8
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計				97

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	3	60%	1.2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				9.2
合計(A+B)				106.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理・苦情・事故等に適切に対応し、適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が高く、適切に運営されているほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、地域と連携した事業展開を行っているほか、職員の上級救命講習の受講率が高く、安全に対する取組が積極的に行われている。

総合的な利用者満足度

事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が97.7%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が99.4%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

より積極的な区民雇用の促進を求めていくとともに、広報(事業やイベントの情報発信)の満足度について、大変満足・満足と回答した内訳が大変満足49.1%、満足49.7%となっているため、利用者の満足度が更に向上するようにSNSでの情報発信などを求めていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	58,569,004	59,150,424	59,565,456	61,059,106
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	10,650	20,500	100,000	49,100
	計	58,579,654	59,170,924	59,665,456	61,108,206
支出	運営費	1,253,818	1,608,052	2,000,000	1,293,023
	管理費	17,995,345	17,831,060	19,262,138	17,830,107
	本部経費	6,281,438	5,085,918	6,281,438	3,985,806
	人件費	35,382,653	36,806,945	33,470,000	38,939,302
	修繕費	2,133,263	1,467,950	2,521,290	2,246,178
	その他支出	0	0	0	0
	計	56,765,079	57,714,007	57,253,428	60,308,610
収支差額		1,814,575	1,456,917	2,412,028	799,596
区への返還額		698,097	1,520,071	0	2,065,991
精算後収支差額		1,116,478	-63,154	2,412,028	-1,266,395

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・その他収入については、イベント参加者の材料費等である。
- ・運営費については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施を減らしたため、当初計画よりも決算額が下回った。
- ・管理費については、清掃委託業者の変更等により保守費用を軽減できた。
- ・人件費については、体調不良で欠勤した職員の不足分を補うため、人員強化をしたことにより当初計画より決算額が上回った。

< 精算に関する記載 >

- ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。
- ・修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

< 本部経費に関する記載 >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差は少ない。人件費に収支差があるのは、常勤職員の長期体調不良による代替によるもので、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費のうち、電気にかかる費用が増大した。これは基本料金、単価上昇によるものであり、使用量の抑制は行われている。利用者の減少による費用削減が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、契約締結日など一部問題があったが、ほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は優良、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面は優良、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2階
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、バリアフリートイレ</p> <p>【総入館者数】 65,226名（事業参加者数 28,322名、貸室利用者数 36,904名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：4,926名、乳幼児：4,962名、小学生：8,670名、 中学生：401名、高校生：12名、成人：4,032名、高齢者：5,319名</p> <p>【施設稼働率】 41.2%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	親子を始めとする家族間のふれあいを大切にした事業を充実するとともに、乳幼児の健全な発達及び保護者の子育ての支援活動を行う。	
【小学生】	季節を感じられる行事やサークル活動を通じ、楽しく潤いある事業の充実を図る。実行委員会などの責任を伴う活動を通して、子ども達の心身の成長を図る。	
【中高生】	スポーツなどを通して中高生が利用しやすく、楽しい居場所づくりを図る。	
【成人】	団塊の世代、子育て世代の趣味や実用につながるような各種講座を実施し、継続的な学びとなるきっかけとする。	
【高齢者】	合唱やレクダンスなど多様な事業を実施し、高齢者の余暇を充実させるとともに健康の維持に貢献する。	
【世代間交流】	世代を超えて全来館者が楽しめるような各種イベントを実施する。	
【地域交流】	地域と連携して高齢者演芸大会を実施するほか、地域の各種お祭り等に協力する。	
令和4年度の実績		
【乳幼児】	コロナ禍の影響で乳幼児タイムの参加者が減少したものの、登録制のタイムと自由参加のタイムとの合同イベントである「クリスマス会」などは盛況となり、異年齢の子どもを育てる保護者間の交流を図ることができた。	
【小学生】	「フットサル」「リトル・パティシエ」「なんせん工房」などのサークル活動の他、「デイキャンプ」や「巨大迷路」などのイベントに多くの参加があった。異なる学校に通う子ども達と活動することで交流の幅が広がった。	
【中高生】	来館する中学生を集めて「お楽しみ焼きそばパーティー」を実施した。近年中学生の利用は増加傾向にあり、継続した利用へとつなげていきたいと考えている。	
【成人】	「麻雀」「囲碁」「フラダンス」「mama工房」など実施した。職員を交えて参加者同士が話し合い運営の補佐をしたり、終了後の消毒を自主的に行うなど協力的である。利用者と良好な関係を築くことができた。	
【高齢者】	感染症対策を講じつつ「コーラス交流会」「レクダンス交流会」を実施した。日頃の成果を発揮できる機会が復活し、参加者の励みとなった。	
【世代間交流】	「駅前フェスタ」を感染症対策として二部制で開催したほか、「謎解きリアルかくれんぼ」など工夫を凝らしたイベントで多世代間の交流を図った。	
【地域交流】	青少年育成南千住地区委員会の事務局として「南千住なかよしまつり」「街歩き探検隊」「凧あげ大会」運営に携わり、イベントを盛り上げた。	

基本評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
施設の維持管理	20			18	
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	4	80%	4	
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	4	80%	4	
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10	
区民サービス	80			79	
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20	
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25	
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	4	80%	4	
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10	
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20	
合計(A)				97	
その他の評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2	
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	3	60%	1.2	
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	4	80%	1.6	
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	4	80%	3.2	
合計(B)				8	
合計(A+B)				105	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S	
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、危機管理を徹底し、適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が極めて高く、適切に運営されているほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、地域と連携した事業展開を行っているほか、災害時の二次避難所開設訓練を実践訓練として適切に行っており、安全に対する取組が行われている。</p>					
総合的な利用者満足度					
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が100%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が98.1%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。</p>					
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等					
<p>より積極的な区民雇用の促進を求めていくとともに、施設の維持管理（館内の整理整頓や清掃、安全・安心に過ごすための配慮）について、大変満足・満足と回答した割合が は、大変満足36.5%、満足59.2%、 は、大変満足47.0%、満足50.2%となっているため、利用者の満足度が更に向上するような対応を求めていく。</p>					

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,020,477	52,062,293	51,654,582	52,420,744
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	33,500	103,500	127,000	196,440
	計	46,053,977	52,165,793	51,781,582	52,617,184
支出	運営費	1,343,781	1,658,700	1,800,000	1,633,808
	管理費	11,779,623	13,283,913	14,527,298	14,935,140
	本部経費	1,175,000	1,102,784	1,102,000	1,083,182
	人件費	27,161,477	28,735,512	30,071,080	33,997,295
	修繕費	817,025	540,650	983,502	941,105
	その他支出	0	0	0	0
	計	41,101,906	44,218,775	47,381,880	51,507,348
収支差額		4,952,071	7,947,018	4,399,702	1,109,836
区への返還額		540,512	5,368,893	0	339,373
精算後収支差額		4,411,559	2,578,125	4,399,702	770,463

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、主にイベント参加者の材料費等である。
- ・運営費については、外部講師に委託せずに職員の能力を活用して事業を実施する等、事業費を縮減したため、当初計画より決算額が下回った。
- ・人件費については、常勤職員1名が産休を予定したことにより、非常勤職員の出勤体制を厚くしたため、当初計画より決算額が上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。
- ・修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差は少ない。人件費に収支差があるのは、常勤職員の産休による代替によるもので、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費のうち、電気にかかる費用が増大した。これは基本料金、単価上昇によるものであり、使用量の抑制は行われている。利用者の減少による費用削減が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性、安定性、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な材料は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、和室、創作室、バリアフリースイレ 学童クラブ併設</p> <p>【特徴ある施設】 図書室</p> <p>【総入館者数】 57,094名(事業参加者数 45,441名、貸室利用者数 11,653名) (事業参加者数の世代別内訳) 保護者:7,784名、乳幼児:8,311名、小学生:21,398名、 中学生:3,611名、高校生:516名、成人:1,024名、高齢者:2,797名</p> <p>【施設稼働率】 92.3%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	季節感を味わえる事業や、乳幼児保護者の要望に応じた工作の活動、音楽を取り入れた活動、父親参加型のプレイパークなどを実施する。	
【小学生】	小学生クラブ(登録制グループ活動)やキャンプ等の「野外自然体験活動」など様々な活動を通して、自立性、協調性を養うことを目的とした事業を展開する。	
【中高生】	中高生が利用しやすい環境を整え、家庭や学校に代わる第3の居場所を提供する。また、新しいプログラムを検討し、子どもたちの参加を促す。	
【成人・高齢者】	既存の事業を継続するとともに、利用者の要望を踏まえながら交流が深まる事業を検討する。また、保護者層をターゲットにした夜間のスポーツ行事を企画する。	
【世代間交流】	荒川コミュニティカレッジに所属している団体の方と協力し、定期的に子ども達を対象とした催しを行うことで、世代間交流を実現できるようにする。	
【地域交流】	地域を巻き込んだ催しを企画するほか、地域の各種事業を積極的に支援する。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	読み聞かせに大型絵本を取り入れ、身長体重測定の時間に合わせて実施したことで、事業の参加者が増加した。また、クリスマス会では劇団を呼び、特別感を出したことで定員を超える申し込みがあり、イベント参加へのニーズを測ることができた。	
【小学生】	多目的室を利用する来館が多く、居場所の一つとして機能していた。また、子どもたちで企画し遊びやボランティア活動を行っているソルティークラブにて子ども会議を取り入れ、子どもたちの主体性が育まれるような活動を展開した。	
【中高生】	スポーツ大会や謎解きなどニーズに答えたイベントを展開することができた。	
【成人・高齢者】	定期的にスマートフォン講座を開催し、区民の生涯学習の機会の提供につながられた。また、健康体操、大人のスポーツ大会も口コミで参加者が増え、健康志向を高めることができた。	
【世代間交流】	荒川コミュニティカレッジの方々との協力を得て、制作や読み聞かせを実施した。イベントを通して子ども達と様々な世代のボランティアが、互いに協力し合える場を提供した。	
【地域交流】	八口ウィンイベント等、地域内にある商業施設や消防署、警察署、公園管理事務所などととも、事業を実施することで、地域のつながりを深めた。	

基本評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
施設の維持管理	20			19	
快適に利用できるための施設管理がなされている 【施設の快適度】	5	4	80%	4	
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている 【安全・安心度】	5	5	100%	5	
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している 【危機管理等】	10	5	100%	10	
区民サービス	80			79	
利用者の事業に対する満足度が高い 【事業の満足度】	20	5	100%	20	
職員の接遇がきちんとなされている 【職員の接遇】	25	5	100%	25	
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している 【広報】	5	4	80%	4	
計画した事業を状況に応じ適切に実施している 【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10	
新型コロナウイルス感染症対応がなされている 【感染症対応】	20	5	100%	20	
合計				98	
その他の評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
地域と連携した事業展開を行っている 【事業展開】	2	5	100%	2	
区民雇用を積極的に行っている 【区民雇用率】	2	4	80%	1.6	
施設全体における評価が高い 【施設全体評価】	2	5	100%	2	
安全に対する積極的な取組を行っている 【安全への取組】	4	4	80%	3.2	
合計(B)				8.8	
合計(A+B)				106.8	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S	
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、危機管理・苦情・事故等に関して適切な対応を徹底し、適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が高いほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、地域とのつながりを維持するための取組が行われているほか、利用者の施設全体における評価が高い。</p>					
総合的な利用者満足度					
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が99.0%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が99.5%に達するなど、良好な評価を得ている。</p>					
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等					
<p>広報の方法に関する評価について、大変満足51.7%、満足46.8%と高いものの、さらに積極的な活用を求めていくとともに、安全に対する積極的な取組についても常勤職員の上級救命講習未受講者に受講を求めていく。</p>					

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,708,698	48,459,856	55,488,416	57,283,965
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	156	135	210,000	29,953
	計	47,708,854	48,459,991	55,698,416	57,313,918
支出	運営費	1,774,304	1,817,873	2,476,000	3,012,488
	管理費	8,957,757	13,499,815	14,101,934	16,921,613
	本部経費	705,094	896,675	801,000	801,000
	人件費	27,145,332	30,265,120	34,972,076	32,744,741
	修繕費	755,370	1,201,772	1,212,141	1,211,298
	その他支出	0	0	0	0
	計	38,632,763	46,784,580	52,762,151	53,890,140
収支差額		9,076,091	1,675,411	2,936,265	3,423,778
区への返還額		6,485,515	145,249	0	2,450,911
精算後収支差額		2,590,576	1,530,162	2,936,265	972,867

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・その他収入については、主にイベント参加者の材料費等である。
- ・運営費については、事業再開に伴いデイキャンプ等のお出かけ事業を再開したため、決算額が当初計画を上回った。
- ・管理費については、光熱水費の価格高騰に加え、エアコンの空調洗浄や空調清掃機・掃除機の購入等により決算額が当初計画を上回った。

< 精算に関する記載 >

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費の収支差額については、当初計画を下回ったため、区への返還は発生していない。

< 本部経費に関する記載 >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差はあるが、電気料金の値上げ、求人費用増など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	デイキャンプなどコロナ後の事業再開による費用支出は増加しており、必要な経費として効果的に活用されている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、契約締結日など一部問題があったが、ほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は優良、活動性・健全性は良好であり、総合評価は良好であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財務力は有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川区荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋I S P タマビル
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、バリアフリートイレ 学童クラブ併設</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 55,427名（事業参加者数 22,608名、貸室利用者数 32,819名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：4,858名、乳幼児：4,628名、小学生：3,926名、 中学生：571名、高校生：138名、成人：1,103名、高齢者：7,384名 【施設稼働率】50.7%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	乳幼児タイムでは、発達段階や季節に応じた事業（遊びや制作）を展開するほか、保護者同士のつながりを持てる機会として「聞かせてママサロン」等を実施する。	
【小学生】	「はけたスポーツタイム」の各種スポーツや遊びを通して、異学年児童との交流を促進するとともに、健康増進や体力づくりに取り組む。	
【中高生】	中高生が過ごしやすい場所を目指し「中高生タイム」等を実施するほか、地域行事にボランティアで参加してもらい、人と交わる力を高められる活動を推進する。	
【成人】	「体幹ストレッチ」や「フラサークル」等を通して、参加者の地域での仲間づくりや健康増進に関して、館を中心とした新たなコミュニティづくりに尽力する。	
【高齢者】	高齢者の孤立を防ぎ、認知症予防になる多様な活動を提供するほか、コロナ禍で体力が低下した方を対象に「ポールウォーキング教室」など、事業の実施を図る。	
【世代間交流】	世代を問わず遊びやスポーツ等の趣味を通じた事業を実施する。各世代が相互に刺激を受け、次世代に伝え、育むことを目指して幅広い世代間の交流を促進する。	
【地域交流】	地元町会や商店街などと連携して、季節行事のお祭りやハロウィンイベント等を実施し、各団体や関係機関との信頼関係を築くとともに地域との交流を深める。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	巧技台遊びやフライングこいのぼり（制作）を実施した他、保護者向けの講座や地域ボランティアによる日頃の悩み相談などを行い、保護者同士の交流に寄与した。	
【小学生】	スポーツタイムでは、タスケやドッジボールなどで毎回30名前後が参加した。職員が見守る中で異学年交流に取り組んだ結果、皆が楽しく活動できる場を提供した。	
【中高生】	中高生タイムのフットサルやバドミントン等において、職員も参加し交流を深めた。地域行事では、行事への参加以外にボランティア活動ができる環境づくりに努めた。	
【成人】	体幹ストレッチやフラダンスは毎回20名前後が参加し成人の余暇の充実に寄与した。	
【高齢者】	「シネマ上映会」や「カラオケ」等は、参加継続率が90%を超え「ポールウォーキング教室」では関節疾患や運動機能低下の改善など高齢者の健康づくりに寄与した。	
【世代間交流】	「なないろの会」では、高齢者と小学生が作品づくりを行ったほか、多世代交流を兼ねた料理教室「みんなでクッキング」の実施等、幅広い世代間交流を促進した。	
【地域交流】	ハロウィンイベントや夏のワクワク教室等を実施し、地域交流の活性化に寄与した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			77
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	4	80%	4
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	4	80%	8
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計(A)				97

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				10
合計(A+B)				107
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、館内の整理整頓や清掃がされているほか、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業やイベントに対する満足度が高く適切に運営されているほか、職員の接遇に対する利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、職員の上級救命講習の受講率が高く、災害時の二次避難所開設訓練も実践訓練が適切に行われており、安全に対する取組が積極的に行われている。

総合的な利用者満足度

事業の満足度については、大変満足・満足と回答した合計が100%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が99.6%に達し、極めて良好な評価を得ている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

広報（事業やイベントの情報発信）の満足度について、大変満足・満足と回答した100%の内訳が大変満足50.2%、満足49.8%となっているため、利用者の満足度が更に向上するようにSNSでの情報発信などを求めていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	51,576,468	51,620,363	58,231,815	60,434,046
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	63,000	63,310	100,000	100,000
	計	51,639,468	51,683,673	58,331,815	60,534,046
支出	運営費	1,956,783	2,077,778	3,240,000	2,969,241
	管理費	15,702,783	15,748,445	17,182,470	19,719,057
	本部経費	1,695,083	1,934,661	1,934,661	2,591,970
	人件費	26,638,401	28,090,111	32,994,273	32,331,534
	修繕費	2,241,613	1,675,817	1,675,969	1,612,259
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,539,580	47,592,151	55,092,712	56,632,091
収支差額		5,099,888	4,091,522	3,239,103	3,901,955
区への返還額		597,125	609,812	0	792,722
精算後収支差額		4,502,763	3,481,710	3,239,103	3,109,233

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、主にイベント参加者の材料費等である。
- ・運営費については、事業で使用する材料等について、不用品の再利用や廃材等の利用を促進し、圧縮に努めた結果、当初計画より決算額が下回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費の収支差額については、当初計画を下回ったため、区への返還は発生していない。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差はあるが、電気料金の高騰など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	物品を丁寧に扱うなど修繕費の抑制が行われた。電気料金の高騰、換気の必要性、冷房による快適性などを考慮した経費の活用になっている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は優良、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正だったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人荒川区高齢者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、授乳室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 茶室、調理・会議室、屋上庭園、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 52,185名(事業参加者数 23,014名、貸室利用者数 29,171名) (事業参加者数の世代別内訳) 保護者:2,871名、乳幼児:2,911名、小学生:3,731名、 中学生:1,160名、高校生:322名、成人:2,727名、高齢者:9,292名</p> <p>【施設稼働率】 42.3%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	子どもが生活体験を広げ遊びの楽しさを通し、他の親子と交流が持てる事業運営を行う。親子が安心して楽しく遊び、子育ての悩みや喜びを共有できる場を提供する。	
【小学生】	子ども達の興味、関心に沿った事業を行い、健全な遊びを通じ心身の成長を図る。	
【中高生】	中高生が気軽に立ち寄れる居場所を提供し、自主的な活動を支援する。	
【成人】	スポーツや文化的趣味講座を開催することで、区民の生涯学習の機会、余暇の充実に寄与する。また、利用者が新たな活動に発展できるよう支援する。	
【高齢者】	レクリエーションの場を提供し、高齢者の健康の促進を図る。	
【世代間交流】	季節感ある行事や高齢者の経験などを活かした伝承遊びなど、多世代がふれあい、交流を楽しむことができるような場を提供する。	
【地域交流】	地域に親しまれるふれあい館を目指し、地域行事へ積極的に参加して交流を図る。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	乳幼児タイムでは、4年度から専門の講師による体や道具を使った運動遊びを行い、親子の仲を深めるとともに、保護者同士の交流を促した。	
【小学生】	茶室・桜花亭での「茶道教室」を継続して実施したほか、「子ども会議」の実行委員が「サマーフェスティバル」の企画と展示品の制作などを行った。開催期間中は多数の見学者があり、子ども達の自信につながった。	
【中高生】	バスケットボールなど思い切り体を動かせる場を提供したほか、事業にボランティアとして関わることで年下の子ども達と遊びを通じた交流ができた。	
【成人】	「アクセサリーとビーズ教室」「ヨガ教室」など人気の高い事業を実施し、参加者の生涯学習の機会を提供した。	
【高齢者】	「カローリング」「ポッチャ」「ORIORI教室(折り紙制作)」などを行った。参加者は笑顔で来館し意欲的に事業に取り組むなど、継続的な活動につながった。	
【世代間交流】	8月に開催した「水と遊ぼう&昔遊び」では高齢者のボランティアが参加者に昔遊びを伝承した。年少の参加者にとっては新鮮な遊びを楽しむことができた傍ら、ボランティアにとってもやりがいある充実した時間となった。	
【地域交流】	屋上庭園を近隣住民に開放し、春はチューリップ鑑賞を楽しんでもらったほか、花や球根を配布した。夏は育てた野菜の収穫体験を行い、館に親しんでもらった。	

基本評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
施設の維持管理	20			18	
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	4	80%	4	
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	4	80%	4	
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10	
区民サービス	80			75	
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	4	80%	16	
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25	
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	4	80%	4	
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10	
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20	
合計(A)				93	
その他の評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2	
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2	
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	4	80%	1.6	
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4	
合計(B)				9.6	
合計(A+B)				102.6	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S	
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、危機管理を徹底し、適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、区民雇用を積極的に行っているほか、職員の上級救命講習の受講率が高く、災害時の二次避難所開設訓練も実践訓練が適切に行われており、安全に対する取組が積極的に行われている。</p>					
総合的な利用者満足度					
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が99.3%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が98.4%に達するなど、良好な評価を得ている。</p>					
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等					
<p>広報(事業やイベントの情報発信)の満足度について、大変満足が37.3%、満足が59.0%となっているため、利用者の満足度がさらに向上するようにSNSでの情報発信などを求めていく。</p>					

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	54,560,572	55,202,364	56,174,784	57,063,507
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	39,496	1,500	105,000	19,500
	計	54,600,068	55,203,864	56,279,784	57,083,007
支出	運営費	1,699,732	1,916,152	2,557,000	2,230,922
	管理費	15,558,574	14,725,478	17,068,418	18,210,022
	本部経費	1,617,034	1,696,141	1,900,000	2,117,907
	人件費	31,080,959	31,106,306	32,038,725	31,204,535
	修繕費	1,165,795	952,380	1,859,286	1,059,300
	その他支出	0	0	0	0
	計	49,505,060	48,700,316	53,523,429	52,704,779
収支差額		5,095,008	6,503,548	2,756,355	4,378,228
区への返還額		776,163	2,493,379	0	1,717,595
精算後収支差額		4,318,845	4,010,169	2,756,355	2,660,633

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、主にイベント参加者の材料費等である。
- ・管理費については、担当職員の退職に伴い夜間受付業務委託料が増加したため、管理費は当初計画より決算額がやや上回った。
- ・人件費については、非常勤職員4名を雇用したが、年度当初の想定より勤務実績が伸びなかったため、当初計画より決算額が下回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費の収支差額については、当初計画を下回ったため、区への返還は発生していない。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差はあるものの、電気料金の高騰、人件費から委託料への変更など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	車のリースを解約するなど、不必要な支出をおさえ、経費を効果的に活用されている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性、安定性、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な材料は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、窯室、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 46,406名（事業参加者数 40,858名、貸室利用者数 5,548名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：11,035名、乳幼児：10,647名、小学生：11,096名、 中学生：1,150名、高校生：88名、成人：3,329名、高齢者：3,513名 【施設稼働率】 62.2%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	乳幼児の保護者が集中して講座が受けられるように母子分離の講座を実施する。また、おもちゃの貸し出し・お持ち帰り工作キットを充実させ、子育ての応援をする。	
【小学生】	館内にミニゲームコーナーを設けるほか、近隣の公園などに出向き「出前ふれあい館」を開催するなど、ふれあい館が楽しい場所であることをアピールする。	
【中高生】	ボランティア活動を積極的に行い、地域の信頼関係を構築していく。	
【成人・高齢者】	成人のニーズを積極的に把握し、事業への参加を促すとともに、趣味を実現できるような講座等の事業を実施する。	
【世代間交流】	コロナ禍で中止していたイベントを実施し、全世代が交流できる場を提供する。	
【地域交流】	コロナ禍で中止していたイベントを実施し、地域との積極的な交流を図る。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	保護者からのニーズに応じて定期的に手作りキットを配付した。また、「託児付きママヨガ」を実施し、親子のサポートを行った。	
【小学生】	近隣公園で「出前ふれあい館」を実施したことにより、ふれあい館への来館に繋がることができ、地域の居場所としての存在をアピールすることができた。	
【中高生】	中高生スポーツ大会を開催した。大会を通して、異学年と交流できる機会を提供することができた。	
【成人・高齢者】	ワクチン接種会場となったことから、運動事業に影響があったが、募集方法を変えたり、規模を縮小するなど工夫して実施したことで、余暇の充実に寄与した。	
【世代間交流】	「手芸タイム」では、地域の高齢者と小学生が同じ趣味で交流できる場となり、世代間交流を図った。	
【地域交流】	全世帯の地域の方々を対象として「乳幼児運動会」を実施し、地域との交流を図った。	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			80
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計				100
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				10
合計(A+B)				110
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が高く、適切に運営されているほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、区民雇用が積極的に行われているほか、職員の上級救命講習の受講率が高く、安全に対する取組が積極的に行われている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が100%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が100%に達するなど、良好な評価を得ている。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>広報の方法に関する評価は大変満足52.5%、満足47.5%と高いものの、さらに積極的かつ効果的な情報発信に努めるよう求めていく。</p>				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	56,023,003	57,632,966	58,034,322	60,501,281
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	95,210	123,133	220,000	268,461
	計	56,118,213	57,756,099	58,254,322	60,769,742
支出	運営費	2,200,453	2,785,324	3,200,000	3,215,933
	管理費	10,540,844	15,620,397	15,375,533	17,261,432
	本部経費	1,488,533	1,630,319	1,591,550	1,461,080
	人件費	35,511,183	34,068,526	35,800,000	35,663,275
	修繕費	836,000	1,687,180	2,108,489	2,102,870
	その他支出	0	0	0	0
	計	49,088,480	54,161,427	56,484,022	58,243,510
収支差額		7,029,733	3,594,672	1,770,300	2,526,232
区への返還額		3,666,132	1,950,574	0	455,974
精算後収支差額		3,363,601	1,644,098	1,770,300	2,070,258

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項に関する記載>

- ・その他収入については、主にイベント参加者の材料費等である。
- ・管理費については、該当年度よりカーテンのクリーニングを半分ずつ行うなど管理費の圧縮に努めたが、光熱水費の価格高騰や陶芸教室等の事業再開により、管理費の決算額が当初計画より上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、人件費の収支差はなく、管理運営費の収支差はあるものの、電気料金の高騰など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	陶芸教室の再開による釜の利用、電気料金の高騰を予測して、消耗品の節約を行うなど経費縮減が行われた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、契約締結日、申請期限など一部問題があったが、ほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は優良、活動性・健全性は良好であり、総合評価は良好であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財務力は有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区東尾久一丁目1番4号5階
施設開設年月日		平成16年10月26日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月26日
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、調理・会議室</p> <p>【総入館者数】 59,681名（事業参加者数 32,076名、貸室利用者数 27,605名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：2,858名、乳幼児：4,358名、小学生：11,962名、 中学生：2,347名、高校生：383名、成人：6,410名、高齢者：3,758名</p> <p>【施設稼働率】 45.1%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	幼児と保護者が遊びを通じてふれあいや交流を促進する場となるよう各事業の実施に努め、子育てに不安を持つ保護者に対する子育て支援の充実を図る。	
【小学生】	子ども達の自主的な身体活動と創作活動を通じて、個性や可能性及び能力を伸ばし健康な心と体を持ってたくましく生きる力を育めるよう支援していく。	
【中高生】	中高生との信頼関係や気軽に立ち寄れる環境作りを行う。また、利用者の意見や要望については、可能な限り実現するよう努める。	
【成人】	新規事業として男性ストレッチと手工創作を実施するほか、ビーチボール等17種以上の事業を展開して自主的かつ主体的な活動につながるよう支援を行う。	
【高齢者】	新規事業として歌謡舞踊教室を実施するほか、高齢者の自立した生活の継続、社会的孤立の予防、要介護に至らないための予防支援を行う。	
【世代間交流】	テコンドー教室のほか、長期休みを利用して、未就学児から中高生たちが館の成人・高齢者事業に参加することで、新たな興味を生み出していく場を提供する。	
【地域交流】	農園活動や町屋こどもまつりなどの行事に参加するほか、職業体験の受け入れを行うなど地域との交流を図る。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	新規事業の「寝相アート」が好評を得たほか、各乳幼児タイムイベントについては遠足、クリスマス会、お別れ会などを計画通り実施し、利用者との交流を深めた。	
【小学生】	プログラミング教室は、利用者の要望を受け事業内容を充実させたほか、クリスマス会では多くの児童がボランティアで活躍しドッジボール大会でも好成績を残した。	
【中高生】	貸室団体が多目的室を使用しない時間帯を活用し「中高生タイム」を実施した。多くの中高生がスポーツを楽しむなど、中高生の居場所作りに寄与した。	
【成人】	当初の予定どおり2つの新規事業を実施したほか、ビーチボール教室では2月開催のオープン大会で好成績を残すなど成人世代の余暇の充実に寄与した。	
【高齢者】	新規事業の歌謡舞踊のほか、ソーシャルダンスを年2回開催した。また、高齢者向けのスマートフォン講座を実施するなど、様々な活動の場を提供できた。	
【世代間交流】	当初の予定どおり、テコンドー教室を実施したほか、成人・高齢者事業のビーチボール教室や日本舞踊教室に児童が参加するなど、幅広い世代での交流を促進した。	
【地域交流】	町屋こどもまつりに参加し、一輪車等のステージ発表を行うなど地域交流を図った。	

基本評価項目					
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)	
		レベル	乗率		
施設の維持管理	20			18	
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	4	80%	4	
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	4	80%	4	
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10	
区民サービス	80			75	
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	4	80%	16	
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25	
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	4	80%	4	
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10	
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20	
合計(A)				93	
その他の評価項目					
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)	
		レベル	乗率		
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2	
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2	
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2	
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4	
合計(B)				10	
合計(A+B)				103	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S	
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、館内の整理整頓や清掃がされているほか、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業やイベントに対する満足度が高く適切に運営されているほか、事業の月次計画を基に計画的に実施されている。職員の接遇に対する利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、職員の上級救命講習の受講率が高く、災害時の二次避難所開設訓練も実践訓練が適切に行われており、安全に対する取組が積極的に行われている。</p>					
総合的な利用者満足度					
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が99.6%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が98.6%となり、良好な評価を得ている。</p>					
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等					
<p>施設の維持管理（館内の整理整頓や清掃、安全・安心に過ごすための配慮）について、大変満足・満足と回答した割合は、大変満足38.4%、満足60.2%、は、大変満足47.7%、満足50.5%となっているため、利用者の満足度が更に向上するような対応を求めていく。</p>					

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,042,103	56,132,251	56,449,645	56,715,677
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	447,320	660	30,000	7,196
	計	48,489,423	56,132,911	56,479,645	56,722,873
支出	運営費	1,550,500	2,058,086	3,547,598	3,202,573
	管理費	12,916,676	13,401,249	14,590,000	14,336,403
	本部経費	20,000	5,000	60,000	15,000
	人件費	30,886,165	29,807,542	33,980,000	32,404,581
	修繕費	1,145,628	1,111,012	1,152,227	1,147,973
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,498,969	46,377,889	53,269,825	51,091,530
収支差額		1,990,454	9,755,022	3,209,820	5,631,343
区への返還額		436,699	7,498,768	0	2,079,368
精算後収支差額		1,553,755	2,256,254	3,209,820	3,551,975

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、イベント参加者の保険料、材料費等である。
- ・運営費については、創作室の制作活動の材料は廃材等を有効活用したほか、教材等を購入する際は価格を比較して購入するなど経費の圧縮に努めた結果、当初計画より決算額が下回った。
- ・人件費については、常勤職員1名、非常勤職員1名が退職したため、当初計画より決算額が下回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、各証憑書類等を確認した結果、証憑書類の整理、各資料の作成などは良好であった。収入明細書に関する指摘事項について、速やかに改善の計画が示された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年度の決算等を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	消耗品や廃材等の有効活用により消耗品費、運営費に経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、就業規則、36協定等を確認した結果、職員の休憩時間に関する指摘事項について、速やかに改善した。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は良好、活動性・健全性は良好であり、総合評価は良好であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正だったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東尾久本町通りふれあい館
	所在地	荒川区東尾久二丁目37番14号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋ISPタマビル
施設開設年月日		令和4年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和4年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、いこい室、創作室、授乳室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 サロン、音楽室・調理・会議室、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 58,121名（事業参加者数 32,315名、貸室利用者数 25,806名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：7,616名、乳幼児：7,972名、小学生：7,811名、 中学生：1,221名、高校生：70名、成人：1,879名、高齢者：5,746名</p> <p>【施設稼働率】63.0%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	0歳から2歳の月齢別タイムでは、発達段階に応じたプログラムを展開するほか隣接公園を活用したプログラムを取り入れた事業の充実を図る。	
【小学生】	子どもたちの関心が高い種目をスポーツタイムに取り入れ、利用の定着を図るほか、自然の物を活用し、自然に触れることに重点を置いた創作活動を行う。	
【中高生】	居場所として認識してもらえ環境づくりと日頃の職員との関わりから中高生の意見を取り入れた事業運営を行う。	
【成人】	子育て世代や勤労者向けに文化・教養に関する事業を実施し、自己啓発や学びの機会を設ける。	
【高齢者】	高齢者が集いたくなる場（特に男性利用者の定着に重点を置く）を目指し、健康増進・体力づくり事業や、認知症・フレイル予防につながる事業を行う。	
【世代間交流】	菜園事業や館まつりなどの各種イベントを通して、多世代交流の場を提供する。	
【地域交流】	児童事業で行う地域探検を通し、商店街を中心とする地域資源を活用した事業を実施するほか、地域まつりや町会行事等に参加し、地域との交流を深める。	
令和4年度の実績		
【乳幼児】	月齢別のタイムでは、延べ1,100組以上の参加があった。また、身長体重測定や自由工作等を定期的に行ったほか、隣接公園でシャボン玉遊び等を実施した。	
【小学生】	スポーツタイムでは、ドッジボールやバドミントン等で約700名の参加があったほかハロウィンリースなどの創作では、自然に触れる機会を提供できた。	
【中高生】	レンタルスペースでは、ダーツ、ダンス、学習などそれぞれの目的での利用を支援したほか、中高生の意見を取り入れお泊り会を実施し居場所づくりに寄与した。	
【成人】	「おうちでできるかんたんマジック講座」や「バルーンアート体験」を実施したほか、成人向けのからだづくり事業として、ボディバランス事業を行った。	
【高齢者】	館主催の落語講座やダーツ、輪投げ等の健康増進につながる事業や体力づくり事業として、からだづくり体操等を行い、高齢者の健康づくりに寄与した。	
【世代間交流】	菜園事業のほか、ハロウィンスタンプラリーなどイベントでの各世代の交流やサロンでのコンサートを2回実施するなど、幅広い世代が交流できる場を提供した。	
【地域交流】	地域探検では、児童が近隣のおもちゃ屋などを訪問したほか、近隣町会のおまつりでゲームコーナーを担当するなど地域の方々との交流を図った。	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	4	80%	8
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計(A)				94
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				10
合計(A+B)				104
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、館内の整理整頓や清掃がされているほか、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業やイベントに対する満足度が高く適切に運営されているほか、職員の接遇に対する利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、職員の上級救命講習の受講率が高く、災害時の二次避難所開設訓練も実践訓練が適切に行われており、安全に対する取組が積極的に行われている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>施設の快適度については、大いに感じる・感じると回答した割合が98.5%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が97.5%となり、良好な評価を得ている</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>事業の満足度について、大変満足・満足と回答した97.0%の内訳が、大変満足55.0%、満足42.0%となっているため、利用者の満足度が更に向上するような事業の実施を求めていく。</p>				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	0	0	62,672,537	64,517,435
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	250,000	11,000
	計	0	0	62,922,537	64,528,435
支出	運営費	0	0	3,000,000	4,258,465
	管理費	0	0	20,050,134	19,396,657
	本部経費	0	0	3,405,617	2,591,970
	人件費	0	0	34,203,472	34,177,877
	修繕費	0	0	442,731	441,980
	その他支出	0	0	0	0
	計	0	0	57,696,337	58,274,979
収支差額		0	0	5,226,200	6,253,456
区への返還額				0	528,080
精算後収支差額		0	0	5,226,200	5,725,376

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、イベント参加者の材料費等である。
- ・運営費については、開館初年度ということで事業の充実を図るため、教材等を新たに購入する必要があり、当初計画より決算額が上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費、人件費の収支差は少なく、電気料金の高騰など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	運営法人内で消耗品を有効活用したり、人材採用広告を法人から館主体に変更するなど経費縮減が行われた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は優良、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正だったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋ISPタマビル
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 調理実習室、レクホール、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 66,191名（事業参加者数 34,456名、貸室利用者数 31,735名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：5,601名、乳幼児：6,053名、小学生：6,408名、中学生：1,309名、高校生：225名、成人：2,499名、高齢者：12,361名</p> <p>【施設稼働率】 48.2%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	幼児音楽遊びでは、幼児の豊かな情操を養う機会を提供する。また、保護者の育児の不安が解消できる環境を整え、支援の充実を図る。	
【小学生】	e-スポーツ事業やドローンを取り入れた事業を実施するほか、音楽タイムでは、楽器に触れたり、演奏を通じて子ども同士が交流しやすい環境を提供する。	
【中高生】	e-スポーツ事業の内容強化を行う。また、事業を通して館内だけの関わりだけでなく、他地域との交流機会を提供することにより中高生の社会性を育む。	
【成人】	利用率の伸びが高いフラワーアレンジメント教室の回数を増やすほか、子育て世代の保護者がリフレッシュできる機会を提供する。	
【高齢者】	スマホ活用教室や認知症予防につながる体操・運動と脳トレゲームなどの単発教室を充実させるほか、子どもたちと一緒に遊べる交流の場を提供する。	
【世代間交流】	菜園事業「おぐっこガーデン」の活動やe-スポーツなどを通して世代間交流のイベント実施を目指す。	
【地域交流】	子どもたちの遊び場「プレーパーク」を町会との相互協力で実施するほか、防災をテーマにしたワークショップを実施するなど地域との交流を図る。	
令和4年度の実績		
【乳幼児】	幼児音楽遊びを月1回実施したほか、子育て応援プログラムとして、座談会形式で歯みがきに関する事業を実施するなど、保護者同士の交流に寄与した。	
【小学生】	e-スポーツ事業を強化し、昨年度より大会数を増やしたことや音楽タイム、お化け屋敷などの事業を実施したことにより、小学生の利用者数が増加した。	
【中高生】	スポーツや勉強での利用以外に年間を通して力を入れていたe-スポーツ事業が浸透するなど、中高生の居場所作りに寄与した。	
【成人】	フラワーアレンジメント教室は、内容変更等で予想を上回る参加者があった。9月から保護者のリフレッシュを目的に「ママとつくるう」を月1回実施した。	
【高齢者】	単発教室の開催に力を入れ、水墨画教室、大人の木工教室などを実施したほか、秋の遠足やスマホ教室を実施するなど、様々な活動の場を提供できた。	
【世代間交流】	おぐっこガーデンは、登録者へ活動予定表のメール配信サービスを始めたところ参加率がアップした。また、小学生と高齢者でモルック交流会を開催した。	
【地域交流】	プレーパークや毎年恒例のハロウィンウォーク等を実施し地域との交流を図った。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			76
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	3	60%	6
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計(A)				96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				10
合計(A+B)				106
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、館内の整理整頓や清掃がされているほか、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。

「区民サービス」については、利用者の事業やイベントに対する満足度が高く適切に運営されているほか、職員の接遇に対する利用者からの評価も高い。また、広報（事業やイベントの情報発信）の満足度が高い。

「その他の評価項目」については、職員の上級救命講習の受講率が高く、災害時の二次避難所開設訓練も実践訓練が適切に行われており、安全に対する取組が積極的に行われている。

総合的な利用者満足度

事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が99.6%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した合計が100%に達し、極めて良好な評価を得ている。また、広報（事業やイベントの情報発信）の満足度も高い。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

事業の実施率が89.9%となっているため、計画的な事業遂行を求めていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	61,064,433	61,370,836	62,122,065	64,804,297
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	382,300	930,892	1,362,000	1,653,710
	計	61,446,733	62,301,728	63,484,065	66,458,007
支出	運営費	2,665,011	4,090,214	4,535,464	5,599,840
	管理費	16,992,355	17,820,806	17,922,723	20,233,414
	本部経費	1,922,181	1,897,153	1,900,000	1,902,470
	人件費	37,964,746	37,339,932	37,003,607	38,403,247
	修繕費	1,343,810	1,353,296	1,995,871	1,998,972
	その他支出	0	0	0	0
	計	58,965,922	60,604,248	61,457,665	66,235,473
収支差額		2,480,811	1,697,480	2,026,400	222,534
区への返還額		712,740	3,924	0	0
精算後収支差額		1,768,071	1,693,556	2,026,400	222,534

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、1,653,710円のうち、1,586,000円が館事業「フラワーアレンジメント教室」の参加者実費（@2,000円×793人）となっている。
- ・運営費は、コロナの影響や館がコロナワクチン接種会場になるなど、限られた施設環境下でも「フラワーアレンジメント教室」などの事業を積極的に実施した結果、当初計画より決算額が上回った。
- ・人件費は、同法人が運営する東尾久本町通りふれあい館の開館に伴い、人事異動で職員が大幅に入れ替わったため、常勤職員の時間外勤務の増加など、当初計画より決算額が上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。
- ・修繕費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費の収支差額については、当初計画を下回ったため、区への返還は発生していない。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差はあるものの、電気料金の高騰、求人広告費の抑制など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	電気料金の高騰に加え、多目的室がワクチン接種会場になるなど費用増になったが、職員の増減が少ないため求人広告費の抑制が行われた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は良好、安定性は優良、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正だったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、バリアフリートイレ 学童クラブ併設</p> <p>【特徴ある施設】 ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 50,622名（事業参加者数 32,270名、貸室利用者数 18,352名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：8,033名、乳幼児：9,350名、小学生：6,828名、 中学生：291名、高校生：234名、成人：2,669名、高齢者：4,865名</p> <p>【施設稼働率】 51.6%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	子育て支援事業として、親子の良好な関係性を育む事業を実施する。また、季節感のある行事を通して地域や多世代との交流する場を提供する。	
【小学生】	ダンス、スポーツ、ミニコミ誌の制作等性質の異なるサークルを設定するなど、個性に応じた柔軟な事業展開を図る。また、様々な活動を通して仲間と協力し合い、責任感や達成感を味わうことができるよう支援する。	
【中高生】	スポーツなどを通して中高生が利用しやすく、楽しい居場所づくりを図る。	
【成人】	バレエ、ヨガ、コーラス、囲碁・将棋など多様な事業を展開し、ふれあい館に親しみをもってもらえることにより、継続的な活動となる場を提供する。	
【高齢者】	健康で充実した毎日を過ごせるよう、各事業の充実を目指すとともに、コロナ禍で休止していた交流大会の開催など発表の機会の拡大を図る。	
【世代間交流】	既存の事業のほか、新たなイベントを企画し、多世代交流の機会の増加を図る。	
【地域交流】	地域の町会と連携し、大型イベントを開催する。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	母親のリフレッシュを目的とした「ママカフェリーナ」、乳幼児と一緒に音楽に合わせて体を動かす「親子リトミック」や「ベビーダンス」は親同士の交流の場にもなった。	
【小学生】	3年ぶりに開催した「デイキャンプ」は多くの参加が見込めたため、同じ行程を3回に分けるなど感染症対策を施しつつ希望者が参加できるよう配慮して実施した。	
【中高生】	「中高生タイム」として多目的室が優先的に使用できる時間を設定したことにより、中高生が思い切り体を動かして遊ぶことができた。	
【成人】	参加者が活動内容を提案して実施する「エンジョイサークル」や「バレエストレッチ」「ヨガ講座」など子育て中のママを対象とした事業のほか、「囲碁・将棋」では小学生と対局するなど世代間の交流もあった。	
【高齢者】	「手話歌」「健康ヨガ」「詩吟」「レクダンス」など実施するとともに、事業終了後に「青竹ピクス」を実施し、高齢者の健康増進に寄与した。	
【世代間交流】	小学生ボランティアが幼児に絵本の読み聞かせなどで交流したほか、縁日やお正月遊びなど地域の高齢者が幼児親子と一緒に制作や催しを行った。	
【地域交流】	小学生サークル「ミニコミキッズ」では、近隣の店舗などを取材し制作したコミュニティ誌をふれあい館や学校へ掲示した。取材をすることによって地域を知るきっかけとなり、地域への愛着を深める活動となった。	

基本評価項目					
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)	
		レベル	乗率		
施設の維持管理	20			18	
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	4	80%	4	
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	4	80%	4	
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10	
区民サービス	80			71	
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	4	80%	16	
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25	
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	4	80%	4	
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	3	60%	6	
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20	
合計(A)				89	
その他の評価項目					
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)	
		レベル	乗率		
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2	
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2	
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2	
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	4	80%	3.2	
合計(B)				9.2	
合計(A+B)				98.2	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A	
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、危機管理を徹底し、適正に管理されている。 「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。 「その他の評価項目」については、地域と連携した事業展開を行っているほか、施設全体における評価が高い。</p>					
総合的な利用者満足度					
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が97.3%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が99.4%に達するなど、良好な評価を得ている。</p>					
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等					
<p>安全に対する積極的な取組について、常勤職員の上級救命講習未受講者に受講を求めていくとともに、区民サービス(事業の満足度、広報、計画的な事業遂行)について、大変満足・満足と回答した割合が は、大変満足49.5%、満足47.8%、 は、大変満足45.0%、満足50.9%となっており、の事業実施率は88.3%となっているため、事業実施率及び利用者の満足度が更に向上するような対応を求めていく。</p>					

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	50,502,449	55,326,423	55,365,563	55,547,607
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	10,200	13,600	71,500	67,520
	計	50,512,649	55,340,023	55,437,063	55,615,127
支出	運営費	2,781,094	3,462,333	3,350,000	3,347,769
	管理費	13,265,277	12,779,919	14,463,658	14,229,049
	本部経費	1,175,000	1,102,784	1,102,000	1,083,182
	人件費	32,410,988	28,416,901	30,878,240	31,525,016
	修繕費	2,296,360	1,119,800	1,127,323	1,126,290
	その他支出	0	0	0	0
	計	50,753,719	45,778,953	49,819,221	50,228,124
収支差額		-241,070	9,561,070	5,617,842	5,387,003
区への返還額		144,363	4,406,363	0	208,485
精算後収支差額		-385,433	5,154,707	5,617,842	5,178,518

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、主にイベント参加者の材料費等である。
- ・人件費については、令和4年度末に常勤職員3名の退職予定があったことから、常勤職員1名を前倒して採用したことにより、当初計画より決算額が上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。
- ・修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差は少なく、事業再開による電話代の増加など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	電気使用量に注意し光熱水費の増加を抑えた。館内美化に努め清掃委託料を適正範囲内で収めた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性、安定性、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な材料は有している。	優良

総合評価

サービス面は良好、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、バリアフリートイレ 学童クラブ併設</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室</p> <p>【総入館者数】 26,563名(事業参加者数 12,858名、貸室利用者数 13,705名) (事業参加者数の世代別内訳) 保護者：3,425名、乳幼児：3,823名、小学生：1,802名、 中学生：82名、高校生：7名、成人：874名、高齢者：2,845名</p> <p>【施設稼働率】 47.5%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	安心してのびのびと日常的に利用できる施設として環境・活動の充実を図る。	
【小学生】	日々の活動の中で児童がのびのび遊べるように環境設定するとともに児童の興味関心に寄り添うとともに館行事に主体的に参加できる事業展開を実施する。	
【中高生】	館の行事の中で、中高生のボランティアを積極的に受け入れ主体的に事業に参加できる環境を整える。	
【成人】	成人世代もふれあい館に来館しやすくなるようニーズを捉え、目的を持った幅広い年齢層に対応した事業を展開する。	
【高齢者】	高齢者の生活や教養の質の向上を目指し、事業を通して「仲間作り」や「生き甲斐」創出を支援する。また、利用者同士の交流を兼ねて、他のふれあい館と合同行事(館外活動を含む)の企画・実施を図る。	
【地域交流】	館が立地する地域やその住民、各関係機関に目を向けて興味・関心を持ち、協力・連携し交流事業を推進する。	
令和4年度の実績		
【乳幼児】	幼児タイムを中心にあらゆる年齢、月齢の子が安心して利用出来るよう努めた。親子ふれあいひろばも部屋のレイアウトや玩具の種類などの利用内容を吟味しながら対応し、幼稚園帰りの幼児の利用増加に繋げていった。	
【小学生】	主な利用は館内学童の利用児童であったが、利用内容や方法等を見直す中で、徐々に学童クラブ以外の児童が利用する姿がみられるようになった。ダンスサークルや制作活動の予定を確認しながら継続して利用する児童(親子)もいた。	
【中高生】	中学生の利用は多目的室のみで、小学生と一緒に遊んでいた。高校生の来館は少数ながら、職員を懐かしんで訪ねに来てくれることがある。	
【成人】	コロナ禍でも出来る限り通常通りの活動が出来るように努めた。また、様々な目的で来館する利用者への挨拶・会話・案内は、丁寧に接するように心掛けた。	
【高齢者】	健康・精神の両面でふれあい館の必要性を感じてもらえるように努めてきた。利用者自身も感染対策を徹底した上で活動の継続に努め事業運営に取り組んだ。	
【地域交流】	粋活サロン等の実施にあたり、各関係機関(高齢者みまもりステーションや包括支援センター等)との連携を強化し、地域の中での貴重な交流の場とした。	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	3	60%	3
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計				92
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				9.2
合計(A+B)				101.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<p>施設の維持管理については、利用者の快適さと安全・安心が、概ね適正に管理されている。 「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価が高いほか、感染症対策が適切になされている。 「その他の評価項目」については、地域と連携した事業展開を行っているほか、職員の上級救命講習の受講率が高く、安全に対する取組が積極的に行われている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が99.5%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が100%に達するなど、良好な評価を得ている。</p>				
施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>広報（事業やイベントの情報発信）の満足度について、大変満足・満足と回答した内訳が大変満足27.5%、満足72.0%となっているため、利用者の満足度が更に向上するようにSNSでの情報発信などを求めていく。</p>				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	53,373,621	53,391,213	56,918,723	57,830,529
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	53,373,621	53,391,213	56,918,723	57,830,529
支出	運営費	1,448,160	1,936,242	2,200,000	2,429,748
	管理費	11,288,922	10,962,292	12,617,633	13,113,329
	本部経費	767,027	1,158,013	1,200,000	890,268
	人件費	35,016,565	34,801,591	39,154,550	39,130,233
	修繕費	1,108,064	1,084,996	1,115,672	911,900
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,861,711	48,785,121	55,087,855	55,585,210
収支差額		4,511,910	4,606,092	1,830,868	2,245,319
区への返還額		3,967,756	3,694,791	0	322,485
精算後収支差額		544,154	911,301	1,830,868	1,922,834

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・運営費については、新型コロナウイルス感染症の影響軽減により、大型事業を再開したため、当初計画より決算額が上回った。
- ・管理費については、求人広告費の節約に努めたが、光熱水費の高騰により、決算額を上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、各証憑書類等を確認した結果、給与集計表・決算書の指摘事項について速やかに改善され、修正した資料が提出された。本部経費の広告宣伝費の根拠資料には今後の検証が望ましいものもあった。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年度の決算等を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費のうち、電気にかかる費用が増大した。これは基本料金、単価上昇によるものであり、使用量の抑制は行われている。光熱水費を除く管理費には「経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、36協定や賃金台帳等に関する指摘事項について、速やかに改善し、又は計画が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は優良、安定性は優良、活動性・健全性は良好であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 レクリエーションホール、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 68,598名（事業参加者数 30,841名、貸室利用者数 37,757名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：5,855名、乳幼児：6,209名、小学生：10,181名、 中学生：786名、高校生：72名、成人：1,076名、高齢者：6,662名</p> <p>【施設稼働率】 41.9%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	重点事業として、乳幼児タイム年齢別4クラスの運営に加え、ファミリーフェスタ、ハロウィンイベントなどの合同行事実施。	
【小学生】	集まれ一年生、夏休みスペシャルデイズ（実験、手芸、工作、体験など）、デイキャンプ、ハロウィンイベント、地域事業及びふれあい館交流事業への参画（にっぽり青空こどもまつり、交流ドッジボール大会、交流フェスタ）を実施。	
【中高生】	多目的室開放（ドッジボール、タスケ（ボール遊び）、ポッチャ（新規）、キンボール、卓球、ミニテニス、switchゲーム大会（新規））等の事業を実施。	
【成人・高齢者】	重点事業として、地域行事、プレミアム行事地域合同演芸会、大人のための文化講座（オペレッタコンサート）を実施する。	
【世代間交流】	七夕行事、なつまつり、にっぽり夕やけ文化祭（日暮里地区ふれあい・ひろば館合同行事）東日暮里ふれあいまつり等実施予定。	
【地域交流】	地域の団体・グループ活動支援と交流拠点となる開かれた施設運営を実施する。	
令和4年度の実績		
【乳幼児】	ひぐらしふれあい館開館により影響が見込まれたが、タイムが堅調であったこと合同行事への参加が伸びたことなど、利用人数への影響は限定的であった。	
【小学生】	日暮里公園工事の影響とドッジボール大会への出場、優勝に刺激を受け、小中学生の入館が60%超と大幅に伸びた。多目的室、レクホールでは、サークル、チーム活動のほか卓球、ポッチャ、ゲーム（任天堂スイッチ）等を行った。	
【中高生】	多目タイム、キンボールクラブ、ドッジボールチーム強化プログラム、諏訪台中学生勤労留学受け入れ、デイキャンプ、ファミリーフェスタ、はるまつり実施。	
【成人・高齢者】	高齢者演芸会には64名の参加者があった。事業では「輪投げ」「ダーツ」「フラダンス」「卓球」の参加者が多かった。	
【世代間交流】	「しめ縄づくり」や「ひなかざり」では、乳幼児から高齢者までの幅広い参加者が協力して制作に励んでいた。	
【地域交流】	「クリスマスファンタジー」のイルミネーション見学には、地域から200名の参加者があった。また3月の「はるまつり」も地域住民を招いて実施した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			80
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計				100

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				10
合計(A+B)				110
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理・苦情・事故等に適切に対応し、適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が高く、適切に運営されているほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、区民雇用が積極的に行われているほか、職員の上級救命講習の受講率が高く、安全に対する取組が積極的に行われている。

総合的な利用者満足度

事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が99.2%、職員の接遇については、大変満足・満足と回答した割合が98.7%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

今回、極めて良好な評価となったことから、引き続き良好なサービスを維持しつつ、さらなるサービス向上に努めていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	59,233,090	59,020,924	58,746,590	59,528,732
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	27,196	34,014	300,000	65,095
	計	59,260,286	59,054,938	59,046,590	59,593,827
支出	運営費	1,601,270	1,924,359	4,287,000	2,425,018
	管理費	8,208,790	8,693,088	11,230,500	10,358,666
	本部経費	0	0	0	0
	人件費	37,813,395	38,222,365	39,178,761	38,378,367
	修繕費	2,228,710	1,829,498	988,458	969,796
	その他支出	0	0	0	0
	計	49,852,165	50,669,310	55,684,719	52,131,847
収支差額		9,408,121	8,385,628	3,361,871	7,461,980
区への返還額		3,775,450	3,062,876	0	2,499,602
精算後収支差額		5,632,671	5,322,752	3,361,871	4,962,378

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・その他収入については、事業参加者用の教材費(実費相当額)である。
- ・運営費については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していた、多くの大型事業の計画・実施を見送ったため、運営費は当初計画より決算額が下回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、管理運営費の収支差はあるものの、電気料金の高騰、事業の中止・縮小など要因分析が行われており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	事業の中止や縮小があったため、消耗品や運営費が抑制されている。清掃業務委託業者との交渉で費用増を抑えるなど経費縮減を行った。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、申請日時などほとんどの項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性は良好、安定性、活動性・健全性は優良であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	ひぐらしふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里六丁目28番15号
指定管理者	名称	株式会社マミー・インターナショナル
	所在地	神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地グランビュービル5階
施設開設年月日		令和4年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和4年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、音楽室、調理・会議室</p> <p>【特徴ある施設】 サロン、レクホール、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 83,836名（事業参加者数 52,662名、貸室利用者数 31,174名） （事業参加者数の世代別内訳） 保護者：13,124名、乳幼児：14,427名、小学生：13,192名、 中学生：1,697名、高校生：130名、成人：1,027名、高齢者：9,065名</p> <p>【施設稼働率】 73.0%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	乳幼児の発達段階や年齢等を十分に考慮し、参加者同士で交流できる場を設け、子育ての交流促進に繋がる事業を実施する。	
【小学生】	日暮里地域の児童の拠点・コミュニティの場とするために、子どもの声を運営に取り入れる。	
【中高生】	気軽に立ち寄れる場を提供するとともに、中高生のやりたい気持ちを尊重し、実現できるよう支援する。	
【成人・高齢者】	職員から積極的に声をかけ関係を築き、利用者のニーズの把握と事業への参加を促していく。	
【世代間交流】	全世代が協力して事業を実施することで、館全体での一体感を利用者が持てる取組を行う。	
【地域交流】	荒川区、日暮里地域を盛り上げていくという思いを基に町会と連携する。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	乳幼児タイムは参加率が高く、通年性にしたことで保護者同士のコミュニティが深まり、お互いの子どもの成長を喜ぶ様子が窺えた。	
【小学生】	創作室では、週替わりで作成物が変わることで工作を目当てとして来館する固定児童が増えた。また、「ドッジボール」では、毎回学年を問わず多くの児童が異学年との交流を積極的に取り組むことができた。	
【中高生】	多目的室をフリータイムとして開放していたが、利用者と利用種目が増えたため利用時間の延長や利用学年・利用種目を定めて平日全てをティーンズタイムとし円滑に遊べる場を提供した。	
【成人・高齢者】	朝の体操では、月曜日から土曜日にてラジオ体操、ストレッチ、軽運動を実施。現在、平均20名ほどの参加があるが、新たに参加される方が目立つようになっている。	
【世代間交流】	直接的な交流では、中学生の職場体験にて、成人・高齢者事業や乳幼児事業への体験やお手伝いを実施した。また間接的な交流では、互いに作成物をプレゼントすることで、お互いの存在意識を持つことができた。	
【地域交流】	地域町会も活動を自粛していたため、連携を取り事業を実施することが難しかったが、町会が会合する際、貸室利用の協力や町会長との繋がりに力を入れた。	

基本評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
施設の維持管理	20			20	
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5	
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5	
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10	
区民サービス	80			80	
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20	
職員の待遇がきちんとなされている【職員の待遇】	25	5	100%	25	
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5	
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10	
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20	
合計(A)				100	
その他の評価項目					
評価項目	配点	評価		得点	
		レベル	乗率	(配点×乗率)	
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2	
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	5	100%	2	
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2	
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	2	40%	1.6	
合計(B)				7.6	
				合計(A+B)	107.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S	
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、利用者が施設を快適に利用でき、安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、事業の月次計画を基に計画的に実施されているほか、職員の待遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、積極的な区民雇用が行われている。</p>					
総合的な利用者満足度					
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が100%となり、職員の待遇については、大変満足・満足と回答した割合が100%となった。利用者に対し丁寧に接したことによるもので、良好な評価を得ている。</p>					
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等					
<p>安全に対する積極的な取組について、常勤職員の上級救命講習受講率が50%のため、未受講者に対し受講を求めていくとともに、二次避難所開設の実践訓練の実施を求めていく。</p>					

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	0	0	65,579,741	65,993,519
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	0	0	65,579,741	65,993,519
支出	運営費	0	0	2,000,000	2,269,748
	管理費	0	0	21,501,800	19,402,661
	本部経費	0	0	1,924,000	1,876,000
	人件費	0	0	39,070,200	34,611,677
	修繕費	0	0	648,045	208,780
	その他支出	0	0	0	0
	計	0	0	63,220,045	56,492,866
収支差額		0	0	2,359,696	9,500,653
区への返還額		0	0	0	6,242,298
精算後収支差額		0	0	2,359,696	3,258,355

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・管理費については、新設1年目で物品修繕がなかったことや複写機借料の印刷費用の経費発生が少なかったため、当初計画より決算額が下回った。
- ・人件費については、賞与対象外の職員がいたため、当初計画より決算額が下回った。
- ・家屋等修繕費については、新設1年目で修繕必要箇所が少なかったため、当初計画より決算額が下回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、総勘定元帳に関する指摘事項について、速やかに改善の計画が示された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	人件費、家屋等修繕費に経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、36協定や賃金台帳等に関する指摘事項について、速やかに改善し、又は計画が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は優良、収益性は良好、安定性は良好、活動性・健全性は良好であり、総合評価は良好であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財務力は有している。	良好
総合評価			
サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。			

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		令和2年4月1日～令和7年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、バリアフリートイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、ミニ備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 50,973名(事業参加者数 23,363名、貸室利用者数 27,610名) (事業参加者数の世代別内訳) 保護者：5,310名、乳幼児：5,796名、小学生：4,348名、 中学生：1,613名、高校生：55名、成人：1,945名、高齢者：4,296名</p> <p>【施設稼働率】 47.7%</p>	
令和4年度の事業計画		
【乳幼児】	親と子の関りを深め、安全・安心に配慮して利用出来る事業運営を心掛ける。	
【小学生】	遊びを通して心身の成長を促すよう、児童の意欲を引き出し、興味・関心に沿った計画をする。また、児童と向き合う姿勢を大切にする。	
【中高生】	中高生世代のニーズに合わせたイベント・行事・ボランティアの考案をしていくと共に、新規の利用者を獲得していく。	
【成人】	利用者の意見を大切に、事業の充実に繋げていくとともに心地よく利用出来るような環境の整備に努めていく。	
【高齢者】	地域の中の身近な施設として、高齢者の生活や教養の質の向上を目指し、各種事業を通して、「仲間作り」や「生き甲斐」創出を支援する。	
【地域交流】	地域内での合同で出来る事業を積極的に取り入れ、地域との関わりを深めながら利用者に満足頂けるように努める。	
令和4年度の事業実績		
【乳幼児】	乳幼児タイムは定員数を超える利用があった。部屋の角にマットを置き、より安全面の配慮を行いながら活動していった。また、飲食の緩和に伴い、飲食の場の提供(パクパクタイム)も実施した。	
【小学生】	多目的室では、ドッジボールを中心にバスケやバドミントンなどのスポーツ活動が目立った。今年度はドッジボール大会に参加することで、ドッジボールメインで過ごすことが多かった。	
【中高生】	中学生の利用者が増加した。バスケ利用が中心であり、多目的室以外の居場所作りや企画の検討に努めた。	
【成人】	ヨガを中心に根強い人気がある。コロナ禍で、人数制限がされているが、どの成人事業も登録数は定員数の半数以上になっている。継続利用が多いが、新規の参加者も増えてきた。	
【高齢者】	和室で行っている事業の中で「竹ふみ」を導入。カラオケの順番待ちなど合間の時間に青竹を足で踏み、怪我対策や健康維持に取り組んだ。利用者には好評で、積極的に参加していた。	
【地域交流】	商店街の協力のもと、ハロウィンパレードを実施することで、近隣住民との交流の機会を得た。	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている【施設の快適度】	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている【安全・安心度】	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理や対策を徹底している【危機管理等】	10	5	100%	10
区民サービス	80			80
利用者の事業に対する満足度が高い【事業の満足度】	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている【職員の接遇】	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している【広報】	5	5	100%	5
計画した事業を状況に応じ適切に実施している【計画的な事業遂行】	10	5	100%	10
新型コロナウイルス感染症対応がなされている【感染症対応】	20	5	100%	20
合計				100
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域と連携した事業展開を行っている【事業展開】	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている【区民雇用率】	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い【施設全体評価】	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている【安全への取組】	4	5	100%	4
合計(B)				9.6
合計(A+B)				109.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、危機管理・苦情・事故等に適切に対応し、適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が高く、適切に運営されているほか、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。</p> <p>「その他の評価項目」については、地域と連携した事業展開を行っているほか、職員の上級救命講習の受講率が高く、安全に対する取組が積極的に行われている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>事業の満足度については、大変満足・満足と回答した割合が100%、職員の接遇についても大変満足・満足と回答した割合が100%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>より積極的な区民雇用の促進を求めていく。</p>				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	57,484,334	58,595,025	58,466,520	59,744,524
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	57,484,334	58,595,025	58,466,520	59,744,524
支出	運営費	1,208,748	2,079,061	2,200,000	2,182,412
	管理費	11,399,009	12,872,164	13,725,000	14,564,182
	本部経費	813,939	1,068,880	900,000	932,386
	人件費	34,381,188	38,555,105	39,170,000	40,325,153
	修繕費	1,101,070	2,140,761	2,071,520	1,890,479
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,090,015	55,647,091	57,166,520	58,962,226
収支差額		9,394,319	2,947,934	1,300,000	782,298
区への返還額		6,728,483	1,217,791	0	409,246
精算後収支差額		2,665,836	1,730,143	1,300,000	373,052

(施設決算状況の説明)

<決算の特徴的事項について>

- ・人件費については、当初計画より人員を多く配置したため、決算額が上回った。

<精算に関する記載>

- ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。
- ・修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

<本部経費に関する記載>

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、各証憑書類等を確認した結果、証票書類の保管整備状況は良好であった。人件費関係の書類に軽微な修正はあったが、特に問題となるものはなかった。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年度の決算等を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費のうち、電気にかかる費用が増大した。これは基本料金、単価上昇によるものであり、使用量の抑制は行われている。運営費には経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、36協定や賃金台帳等に関する指摘事項について、速やかに改善し、又は計画が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は良好、収益性は優良、安定性は優良、活動性・健全性は良好であり、総合評価は優良であり、施設の安定的・継続的な運営に必要な財力は有している。	優良

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川一丁目1番1号
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
	所在地	千代田区神田小川町一丁目2番地
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 4 施設等の利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 5 施設等の維持管理に関する業務 6 前5号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> 大ホール 収容人員975席 面積1,162㎡ 小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡ 集会室 第1（洋室）定員50名 面積78㎡ 第2（洋室）定員50名 面積73㎡ 第3（洋室）定員50名 面積85㎡ 第2・3は通し使用可能 第4（和室）定員40名 面積90㎡ 第5（洋室）定員50名 面積92㎡ 第6（洋室）定員50名 面積99㎡ 第5・6は通し使用可能 第7（洋室）定員100名 面積184㎡
令和4年度の事業計画		
1 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書、統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等 2 研修 コンプライアンス研修、個人情報保護研修、マナー研修、手話研修、設備に係る講習等		
令和4年度の事業実績		
1 上記管理運営事務の実施 2 新型コロナウイルス感染症による利用制限 ・リバウンド警戒期間に伴う利用制限実施（大声の場合は定員50%）（4月1日～5月22日） ・リバウンド警戒期間終了に伴う制限緩和（大声の場合も定員100%）（5月23日～7月20日） ・オミクロン株急拡大に伴う利用制限実施（大声の場合は定員50%）（7月21日～9月13日） ・都の対応を踏まえた制限緩和（大声なしのエリアは定員100%）（9月14日～1月30日） ・感染者減少に伴う制限撤廃（定員制限を全て解除）（1月31日～3月31日） 3 利用料金収入 97,260,773円 4 稼働率 大ホール80.9% 小ホール65.3% 集会室55.9% 5 利用者数 大ホール91,958人 小ホール28,593人 集会室89,397人		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	60			57
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	5	100%	15
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス	40			37
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	5	100%	15
利用者の意見を入れ、改善につなげている	10	5	100%	10
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計	100			94
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
区内事業者を活用している	5	3	60%	3
周知活動に努めている	5	5	100%	5
合計(B)	10			8
合計(A+B)				102
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

・「施設の維持管理」については、計画表に基づき設備管理を行い、不具合が生じている箇所等について、速やかに修繕等の対応を図っているほか、館内は清潔に保たれ、気持ちよく使える環境が維持されている。また、文化施設に相応しい季節ごとの手作りの館内装飾をはじめ、ピクトグラムを用いた見やすい館内表示の設置等、利用者目線を常に意識した施設管理を行っている。

・「区民サービス」については、丁寧なヒアリングにより主催者の要望に合わせた提案をできるよう努め、また、専門的な技術等に対する相談に親身に乗る等、利用者の満足度向上に努めた。自主事業については、感染防止対策の徹底を図りながら様々な事業を計画・実施し、参加型の手話人形劇など新たな分野にも挑戦する等、コロナ禍においても地域の方が芸術・文化に親しむことができる場の提供に努めてきたことは特に高く評価できる。

・「その他の評価項目」については、ホールの新規利用者の獲得・定着を図るため、ガイドブックを作成する等の工夫をし、大ホールの稼働率は特に大きく上昇した。

総合的な利用者満足度

利用者一人一人に寄り添った丁寧な対応から、求めるサービス以上のサポートが得られるという声もある等、満足度が高く、リピーターが多い。アンケートでは、主に施設の「清潔度」「快適性」「備品」と職員の対応状況について回答を求めているが、「大変満足」及び「満足」が88%と利用者満足度は高いものとなっている。また、アンケートの結果を詳細に分析し、改善の取組を迅速に行う等、利用者意見の反映・満足度向上に努めた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

・利用者の声を真摯に受けとめ改善を重ね、サービス向上を図ってきている。引き続き、利用者の意見をより良い施設運営及び柔軟なサービス提供へ繋げていく。

・保守点検結果に基づく修繕対応のほか、耐用年数を踏まえた設備の更新等を順次行っていく必要があるため、引き続き、計画的に実施し、施設の適切な保全に努める。

・引き続き、指定管理者のノウハウを生かした自主事業を積極的に展開するとともに、ラウンジ・ギャラリーのさらなる利用促進を図り、区民が芸術文化に触れる機会や賑わい創出を図っていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	162,908,000	187,715,161	161,539,787	172,575,028
	利用料金収入	76,745,767	84,352,006	67,092,613	97,260,773
	その他収入	3,008,374	1,590,191	1,230,000	1,972,888
	計	242,662,141	273,657,358	229,862,400	271,808,689
支出	運営費	752,784	579,498	1,019,000	766,768
	管理費	148,622,084	167,859,943	175,513,400	187,219,832
	本部経費	14,832,000	14,832,000	14,838,000	14,780,046
	人件費	36,117,320	36,551,844	39,144,000	32,591,980
	修繕費	9,101,462	9,644,764	9,944,000	9,901,557
	その他支出	0	0	0	0
	計	194,593,650	214,636,049	225,620,400	230,480,137
収支差額		48,068,491	59,021,309	4,242,000	41,328,552
区への返還額		33,410,066	41,583,498	0	22,317,302
精算後収支差額		14,658,425	17,437,811	4,242,000	19,011,250

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・ 利用料金の減収を見込み、指定管理料を増額した。
- ・ 職員の退職・異動等により、人件費は当初計画より決算額が下回った。
- ・ 光熱水費の高騰等により、管理費は当初計画より決算額が上回った。
- ・ 大ホール・集会室の稼働率が上がり、利用料金収入は当初計画より決算額が上回った。

< 指定管理料の精算について >

- ・ 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・ 管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・ 管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、利用料金収入の減収を見込み増額した指定管理料分を全額返還し、それでもなお上回った金額について、1/2を区に返還した。

< 本部経費の考え方 >

- ・ 本部経費は検証可能なものに限ることとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものについて、計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、本部経費の積算根拠も確認できた。会計手続きは適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	利用料金収入や消耗品費など、予算と実績の間に乖離が見られる経費科目は見受けられるが、稼働率増や経費縮減など明確な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費の高騰により管理費は予算を超過したが、人件費、運営費、修繕費は予算の範囲内で遂行された。利用料金収入の増加により、収支差額は予算を大幅に上回り、前期前々期に引き続き良好な決算となった。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守、時間外労働に際しての割増賃金の支払など、労働環境の確認を行った。最低賃金改訂の際に不備が確認されたが、改善結果が確認できた。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安全性、活動性・健全性は「優良」、収益性、成長性は「良好」であり、安定的・継続的な運営に当たって極めて適正な財務力を有している。コロナ禍において一時的な減収となった以外は、三期を通じて、各評価値は優れている。	優良

総合評価

サービス面、財務・労務ともに評価が高く、指定管理業務は適切であったと評価できる。利用者の声への丁寧な対応や接遇の向上のほか、季節ごとの館内装飾の工夫など、利用者目線を意識した運営が行われている。また、指定管理者のノウハウを活かし、積極的に自主事業を企画・実施し、区民が文化に親しむことができる機会の提供に努めた点は高く評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	株式会社コングレ
	所在地	中央区日本橋三丁目10番5号 オンワードパークビルディング
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 5 施設等の維持管理に関する業務 6 前5号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要> 多目的ホール 収容人員500名（フラット時）/面積404㎡ コンサートサロン 収容人員100名（フラット時）/面積113㎡ 会議室 第1会議室 収容人員24名（面積57㎡） 第2会議室 収容人員12名（面積25㎡） 第3会議室 収容人員12名（面積28㎡） 第2,3会議室は通し使用可能</p>	
令和4年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書、統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等 2 研修 個人情報保護・情報セキュリティ・環境研修、自衛消防訓練等 		
令和4年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 新型コロナウイルス感染症による利用制限 <ul style="list-style-type: none"> ・リバウンド警戒期間に伴う利用制限実施（大声の場合は定員50%）（4月1日～5月22日） ・リバウンド警戒期間終了に伴う制限緩和（大声の場合も定員100%）（5月23日～7月20日） ・オミクロン株急拡大に伴う利用制限実施（大声の場合は定員50%）（7月21日～9月13日） ・都の対応を踏まえた制限緩和（大声なしのエリアは定員100%）（9月14日～1月30日） ・感染者減少に伴う制限撤廃（定員制限を全て解除）（1月31日～3月31日） 3 利用料金収入 46,653,050円 4 稼働率 ホール51.9% コンサートサロン71.2% 会議室44.7% 5 利用者数 ホール35,013人 コンサートサロン19,305人 会議室8,736人 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	60			45
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	3	60%	9
区民サービス	40			29
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	3	60%	9
利用者の意見を入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計	100			74
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
区内事業者を活用している	5	3	60%	3
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10			7
合計(A+B)				81
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>・「施設の維持管理」については施設管理年間スケジュールに基づき実施している。担当者による日常点検や保守点検によって不具合箇所等があれば速やかに修繕等の対応を図っており、音響機器修繕やピアノ部品交換修繕等の専門的な機器の修繕のほか、トイレやスチールドアの部品交換修繕等、多くの利用者の目に留まる箇所の修繕も迅速に対応し、施設全体の維持管理を行っている。また、専門性のある職員を十分に配置し、受付を含めた案内はスムーズかつ確実に実施されている。</p> <p>・「区民サービス」については、芸術文化コンシェルジュを配置し、利用者に相談しやすい環境を整え、専門的な提案や助言等を行い、利用者の要望に沿ったサービスの提供をしている。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、自主事業の実施を見送った点については今後の課題とする。</p> <p>・「その他の項目」については、事務室前ロビーへの情報コーナーの設置や、情報誌「にぼまち」の発行、ホームページで公演情報や施設利用に関する情報の発信など、区民が芸術文化情報にアクセスしやすいようにし、利用者獲得に努めている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>・アンケート結果においては、受付対応について「満足」及び「やや満足」の回答が87.5%となっている。施設の設備面への改善要望があり、全スタッフで情報共有し、舞台・音響設備や会議室内の環境を見直し、今後の運用を検討する等、アンケートを基に改善に努めている。また、新規利用者やリピーターから、スタッフの対応に関しての感謝の声が多く寄せられた。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より実施されなかった自主事業については、地域の賑わいの創出及び新規利用者獲得のため、計画的な企画立案・実施取組を積極的に行う必要がある。</p> <p>・施設全体の老朽化を考慮し、計画的な点検・修繕の実施、また、照明のLED化等、継続して施設の適切な維持・保全に努めていく。</p> <p>・スタッフ間の情報共有等を強化し、より安定した対応・利用者に合わせて丁寧なサービス提供に努めていく。</p>				

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	45,553,000	85,875,919	69,648,541	69,648,541
	利用料金収入	28,997,150	33,112,250	30,404,459	46,653,050
	その他収入	24,039,272	60,798	150,000	76,602
	計	98,589,422	119,048,967	100,203,000	116,378,193
支出	運営費	0	0	510,000	0
	管理費	42,859,360	40,475,895	50,665,000	47,629,432
	本部経費	5,804,000	7,283,000	4,250,000	7,543,000
	人件費	59,382,457	53,292,737	45,126,000	46,401,199
	修繕費	2,322,650	2,293,940	2,289,000	1,816,045
	その他支出	0	0	0	0
	計	104,564,467	96,062,572	98,590,000	95,846,676
収支差額		-5,975,045	22,986,395	1,613,000	20,531,517
区への返還額		12,303,000	29,545,072	0	20,193,716
精算後収支差額		-18,278,045	-6,558,677	1,613,000	337,801
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入の減少を見込んで、指定管理料を増額した。 ・人件費については、円滑な業務遂行のため、職員を想定よりも多く配置したことにより、決算額が当初計画を上回った。 ・ホール・サロン・会議室の稼働率が上がり、利用料金収入は決算額が当初計画を上回った。 ・運営費については、コロナの影響を考慮し、自主事業の実施を見送ったため、決算額が当初計画を下回った。 ・管理費については、決算額が当初計画を下回っており、ラングウッド分担金の決算額が当初計画を下回ったことや消耗品の再利用・節減に努めたことが主な要因である。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。 ・修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。 ・管理運営費の収支差額が、当初計画における収支差額を上回る場合、利用料金減収相当分として増額した指定管理料まで全額返還することとしているため、区へ返還した。 <p>< 本部経費の考え方 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部経費は検証可能なものに限ることとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたもの計上している。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、本部経費の積算根拠も確認できた。会計手続きは適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	利用料金収入や本部経費など、予算と実績の間に乖離が見られる経費科目は見受けられるが、稼働率増や本部変動費の増加など明確な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	効率的な人員配置により、人件費はほぼ予算通りの支出で事業が運営された。利用料金収入の増加により、過年度に比べ良好な決算となった。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守、時間外労働に際しての割増賃金の支払など、労働環境の確認を行った。指摘事項は無く、労働環境が適正であることが確認できた。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安全性は「優良」、収益性、成長性、活動性・健全性は「良好」であり、安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。直近期は営業黒字に転換し、コロナ禍前の水準に回復傾向であることが確認できる。	良好
総合評価			
<p>サービス面、財務・労務ともに評価が高く、指定管理業務は適切であったと評価できる。施設の維持管理も適切に行われており、また、専門性のあるスタッフによる質の高いサービスの提供に努め、利用者満足度が高い点についても高く評価できる。今後も引き続き、地域の賑わい創出及び利用者獲得のため、自主事業等の積極的な企画・実施を期待する。</p>			

担当所管部	
部	地域文化スポーツ
課	文化交流推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	株式会社コングレ
	所在地	中央区日本橋三丁目10番5号 オンワードパークビルディング
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 4 施設等の利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 5 施設等の維持管理に関する業務 6 前5号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> 多目的ホール 収容人員296席 / 面積343㎡ 会議室A（ハイビジョンルーム） 収容人員70席 / 面積59㎡ 会議室B（ミニギャラリー） 収容人員28名 / 面積70㎡ スタジオ 収容人員10名程度 / 面積51㎡ 企画展示コーナー オープンスペース / 面積145㎡ （ギャラリー）（4階全施設を使用する場合185㎡）	
令和4年度の事業計画		
1 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書、統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等 2 研修 個人情報保護・情報セキュリティ・環境研修、自衛消防訓練等		
令和4年度の事業実績		
1 上記管理運営事務の実施 2 新型コロナウイルス感染症による利用制限 ・リバウンド警戒期間に伴う利用制限実施（大声の場合は定員50%）（4月1日～5月22日） ・リバウンド警戒期間終了に伴う制限緩和（大声の場合も定員100%）（5月23日～7月20日） ・オミクロン株急拡大に伴う利用制限実施（大声の場合は定員50%）（7月21日～9月13日） ・都の対応を踏まえた制限緩和（大声なしのエリアは定員100%）（9月14日～1月30日） ・感染者減少に伴う制限撤廃（定員制限を全て解除）（1月31日～3月31日） 3 利用料金収入 23,855,800円 4 稼働率 ムーブホール 57.4% 会議室A 33.1% 会議室B 49.6% スタジオ 45.7% 企画展示コーナー（ギャラリー）19.6% 5 利用者数 ムーブホール 28,591人 会議室A 5,467人 会議室B 5,168人 スタジオ 1,818人 企画展示コーナー（ギャラリー）6,134人		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	60			45
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	3	60%	9
区民サービス	40			29
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	3	60%	9
利用者の意見を入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計	100			74
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
区内事業者を活用している	5	3	60%	3
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10			7
合計(A+B)				81
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>・「施設の維持管理」については施設管理年間スケジュールに基づき実施している。担当者による日常点検や保守点検によって不具合箇所等があれば速やかに修繕等の対応を図っており、音響設備の修繕や誘導灯等の消防設備修繕のほか、屋外案内板の修繕やクロス張替等、景観も含めた施設全体の維持管理に努めている。また、専門性のある職員を十分に配置し、受付を含めた案内はスムーズかつ的確に実施されている。</p> <p>・「区民サービス」については、芸術文化コンシェルジュを配置し、利用者に相談しやすい環境を整え、専門的な提案や助言等を行い、利用者の要望に沿ったサービスの提供をしている。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、自主事業の実施を見送った点については今後の課題とする。</p> <p>・「その他の項目」については、事務室前ロビーへの情報コーナーの設置や周辺施設の案内の掲示、情報誌「にぼまち」の発行、ホームページで公演情報や施設利用に関する情報の発信など、区民が芸術文化情報にアクセスしやすいようにし、利用者獲得に努めている。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>・アンケート結果においては、受付対応について「満足」及び「やや満足」の回答が96%となっている。施設の設備への改善要望があり、全スタッフで情報共有し、備品の管理方法やスタジオ・会議室内の環境を見直し、今後の運用を検討する等、アンケートを基に改善に努めている。また、利用者からスタッフへのトラブル時の迅速な対応についての感謝の声などが多く寄せられた。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より実施されなかった自主事業については、地域の賑わいの創出及び新規利用者獲得のため、計画的な企画立案・実施取組を積極的に行う必要がある。</p> <p>・施設面については、老朽化を考慮し、計画的な点検・修繕を実施することで、継続して施設の適切な維持・保全に努めていく。</p> <p>・令和5年度に実施する町屋区民事務所移転にあわせ、利用者のニーズを踏まえた設備の充実を検討するとともに、立地を活かした施設のPRに努めていく。</p>				

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	34,643,000	57,350,428	50,059,080	50,059,080
	利用料金収入	13,569,150	19,373,550	15,083,920	23,855,800
	その他収入	6,205,325	277,320	150,000	253,963
	計	54,417,475	77,001,298	65,293,000	74,168,843
支出	運営費	0	0	510,000	0
	管理費	19,828,475	21,852,957	25,590,000	26,177,015
	本部経費	3,774,000	4,716,000	2,802,000	4,806,000
	人件費	36,153,568	40,186,142	31,878,000	38,336,842
	修繕費	2,711,335	2,665,905	2,711,000	1,896,730
	その他支出	0	0	0	0
	計	58,693,378	64,705,004	60,689,000	66,410,587
収支差額		-4,275,903	12,296,294	4,604,000	7,758,256
区への返還額		0	16,000,436	0	9,613,098
精算後収支差額		-4,275,903	-3,704,142	4,604,000	-1,854,842
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金の減収を見込んで、指定管理料を増額した。 ・人件費については、円滑な業務遂行のため、職員を想定よりも多く配置したことにより、決算額が当初計画を上回った。 ・運営費については、コロナの影響を考慮し、自主事業の実施を見送ったため、決算額が当初計画を下回った。 ・ホールの稼働率が上がり、利用料金収入は決算額が当初計画を上回った。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担である。 ・修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。 ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしており、決算額が当初計画を下回ったため、差額について区へ返還した。 ・管理運営費の収支差額が、当初計画における収支差額を上回る場合、利用料金減収相当分として増額した指定管理料まで全額返還することとしているため、区へ返還した。 <p>< 本部経費の考え方 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部経費は検証可能なものに限ることとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたもの計上している。 					

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、本部経費の積算根拠も確認できた。会計手続きは適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	利用料金収入、人件費や本部経費など、予算と実績の間に乖離が見られる経費科目は見受けられるが、稼働率増や常勤給与の増加など明確な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加などにより、支出総額は予算超過となった。利用料金収入増などにより収支は改善傾向であるが、精算後収支差額はマイナスが継続している。	課題有
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守、時間外労働に際しての割増賃金の支払など、労働環境の確認を行った。指摘事項は無く、労働環境が適正であることが確認できた。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安全性は「優良」、収益性、成長性、活動性・健全性は「良好」であり、安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。直近期は営業黒字に転換し、コロナ禍前の水準に回復傾向であることが確認できる。	良好

総合評価

施設の維持管理は適切に行われており、また、専門性のあるスタッフによる質の高いサービスの提供に努め、利用者満足度が高い点については高く評価できる。
 財政面については一部改善が必要と思われる面もあるが、サービス面、労務ともに評価は高く、指定管理業務は適切であったと評価できる。
 今後も引き続き、地域の賑わい創出及び利用者獲得のため、自主事業等の積極的な企画・実施を期待する。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川七丁目20番1号
指定管理者	名称	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川七丁目20番1号
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日まで
業務内容	<p>生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。</p> <p>【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場</p>	
令和4年度の事業計画		
<p>区民の学習・文化活動や情報収集の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 カルチャー講座は、次の事業者が決定するまで、講師や生徒から継続希望のあった講座を指定管理者が暫定的に運営する。 自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。 年2回のアンケートのほか、利用者懇談会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。 貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。</p>		
令和4年度の実績		
<p>1 管理運営業務の実施</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための対応等</p> <ul style="list-style-type: none"> 入館時の手指消毒の徹底、マスク着用の奨励、自動検温器の設置、ゴミ箱の撤去（10月以降順次設置） 事業実施の際の定員制限 <p>3 利用料金収入 10,817,900円</p> <p>4 稼働率 多目的ホール 69.3%、音楽練習室 50.1%、 第1会議室 54.8%、第2会議室 43.9%、第3会議室 35.7%、第4会議室 44.6%、 ふれあい広場 73.8%、プレイコーナー 75.4%</p> <p>5 利用者数 多目的ホール 16,355人、音楽練習室 7,316人、第1～4会議室 35,596人、 ふれあい広場 15,850人、プレイコーナー 11,455人</p> <p>6 事業実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> なないろひろば事業 11回実施 参加者数 延べ591人 カルチャー講座 230講座実施 受講者数 延べ1,544人 <p>7 その他 プレイコーナーやふれあい広場の空き時間を利用して、誰でも気軽にピアノを弾くことができる「街なかピアノ」事業を継続的に実施した。</p>		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	30			28
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	5	100%	10
区民サービス	70			56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100			84
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	5	100%	5
区内事業者の活用	5	3	60%	3
合計(B)	10			8
合計(A+B)				92
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、劣化度調査・特殊建築物定期調査を実施し、リニューアル改修の対象外のトイレ、空調、音響関係の修繕を実施したとともに、利用者から要望のあったピクチャレルの追加工事を行うなど、利用者が利用しやすい環境整備に努めた。</p> <p>「区民サービス」については、多くの利用者の意見を把握するため、利用者アンケートを年2回実施し、昨年度の倍の回収数を獲得することができた他、利用者懇談会を開催し、利用者からの意見・要望の把握に努めた。</p> <p>「その他の評価項目」については、「街なか避暑地」や「街なかほっとサロン」を実施した他、キッズスペースやワーキングスペースが設置されたことで、地域に開かれた施設として多世代の利用につながった。また、区内事業者の活用については、10の再委託業務のうち5業務について区内の業者に再委託した。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>利用者アンケートでは、施設利用については「利用しやすい」「やや利用しやすい」の合計が77%と、昨年度の約73%から改善した。施設のリニューアル等により利便性が向上した点が影響していると考えられる。</p> <p>職員の対応については「とても良い」「良い」の合計は約75%と、昨年度の約70%から改善した。また、「あまりよくない」が3件、「よくない」が0件で昨年度と同様の件数ではあるが、アンケート回答数が増えたため、全体に占める割合は0.4%と、昨年度の0.9%から改善した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>ハード面では、リニューアルの対象外であったトイレ、給湯室等の給排水衛生設備や空調等について、利用者から改修を希望する意見が多く出ている。イーストヒル町屋全体の大規模修繕工事に合わせて改修を実施できるよう、管理組合と連携して対応を図る必要がある。</p> <p>ソフト面では、カルチャー講座の実施事業者が決定し、令和5年度から既存の講座に加え、新規講座を開講することになったため、円滑なカルチャー講座の運営に向けて、協力していく必要がある。</p>				

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	30,819,209	35,537,412	31,022,100	32,009,168
	利用料金収入	6,955,350	8,996,500	11,483,000	10,817,900
	その他収入	133,214	169,929	233,000	88,699
	計	37,907,773	44,703,841	42,738,100	42,915,767
支出	運営費	485,727	401,068	1,345,332	409,524
	管理費	30,795,668	27,301,452	18,621,139	17,523,841
	本部経費	0	0	0	0
	人件費	3,840,974	10,430,357	20,395,425	20,090,692
	修繕費	2,179,342	2,353,329	2,376,204	2,374,195
	その他支出	0	0	0	0
	計	37,301,711	40,486,206	42,738,100	40,398,252
収支差額		606,062	4,217,635	0	2,517,515
区への返還額		606,062	3,995,020	0	2,517,515
精算後収支差額		0	222,615	0	0
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入の減少を見込んで、指定管理料を増額した。 ・カルチャー講座の実施事業者不在により、自主事業である一日文化体験フェアを中止したため、運営費は当初計画より決算額が下回った。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。 ・管理運営費のうち、光熱水費は、実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。 ・カルチャー講座の実施事業者不在により利用料金収入が減少したため、管理運営費収支差額の赤字額を追加支出した。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、会計手続きは適正である。	良好
	予算管理が適正である	運営費において予算と実績が乖離する科目が複数見受けられたが、イベント実施の有無などの理由が確認できた。その他の科目についても乖離が生じた合理的な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	収入は予算を下回ったが、運営費、管理費、人件費、修繕費全ての支出が予算の範囲内で事業運営され、決算は良好な結果となった。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守、時間外労働に際しての割増賃金の支払など、労働環境の確認を行った。改訂された最低賃金への対応など、労働環境が適正であることが確認できた。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安全性は「優良」、収益性、成長性、活動性・健全性は「良好」であり、安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。外部からの借入は無く、前期前々期ともにマイナスであった利益はプラスになった。	良好
総合評価			
<p>サービス面、財務面は良好、労務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 また、利用者アンケートではリニューアルした施設や施設職員の対応の評価も高いほか、利用者から寄せられた意見をもとに修繕を実施するなど、利用者が利用しやすい環境整備に努めたことも評価できる。</p>			

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川三丁目49番1号
指定管理者	名称	株式会社 読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄一丁目2番1号
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室（30人～80人）、音楽室（40人）、多目的室（60人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>
令和4年度の事業計画		
<p>・区民カレッジについては、これまで受講された参加者のアンケートから継続を望まれた講師陣などへ全10講座を依頼、企画している。また区民カレッジ特別講演会は全2回の講演を企画している。</p> <p>・IT講習会は前年度の講座を土台として、入門編から応用・実務編まで満遍なく計画する。入門編では、初心者向けの「キーボード入力入門」を新規に企画し、シニア層向けの講座を充実させる。</p> <p>・施設管理については、利用者が安全で快適に過ごせる施設を目指して、トイレや空調設備等について優先的に修繕を行う。受付業務については、積極的に挨拶・声掛けを行い、利用者の立場に立った対応に努める。</p>		
令和4年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務の実施 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための対応等 <ul style="list-style-type: none"> ・入館時の手指消毒の徹底、マスク着用の奨励、事業実施の際の検温や定員制限 等 3 利用料金収入 1,838,202円 4 稼働率 大会議室 45.2%、音楽室 91.3%、多目的室 73.7% 第1会議室 55.5%、第3会議室 37.2%、第4会議室 34.1%、第5会議室 42.0%、体育館 95.6%、多目的広場 58.7% 5 利用者数等 <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 117,253人 ・区民カレッジ 56回実施 参加者数 延べ2,440名 ・IT講習会 128回実施 参加者数 延べ1,691名 ・利用上の案内看板の更新（2か所）、北門門扉の修繕 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕...施設利用案内看板の取替え、空調機の更新、蛍光灯のLED化 ・研修...接遇に関する職場研修を実施 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	30			28
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	5	100%	10
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス	70			52
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	3	60%	12
合計(A)	100			80
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				88
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場、ピロティー等に設置している利用案内の看板を、イラスト付きで分かりやすいものに更新した。 ・今年度も教育センター、シルバー大学、ふらっと・フラットを含めた施設全体で防災訓練を実施した。避難誘導や消火器操作の他、荒川消防署員の指導のもとAEDの使用方法を学び、安全管理体制の強化を図った。 ・職員の接遇に関して、当日の業務対応要員等を除く10名の職員が接遇に関する研修を受講し、お客様対応や奉仕の心について学び、接遇スキルの向上に取り組んでいる。 ・令和4年度は区内業者活用のため、修繕工事の9割以上を区内業者に依頼した。 				
総合的な利用者満足度				
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは688枚回収し、利用者の声の把握に努めた。 ・受付対応については、「非常に良い」、「良い」が78.6%と昨年度より6.7%上がった。 ・電話対応については、「非常に良い」、「良い」が47.9%と昨年度より8.2%上がった。 ・トイレを温便座・ウォシュレット化してほしい、体育館のバレーボールアンテナの新調など、様々な要望があった。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の運営に向け、区民の生涯学習に資する講座企画や相談・情報提供機能の充実などを再構築する。 ・トイレの給排水設備が老朽化し、水詰まりを起こすことが多々あるため、給排水設備を改修する。 ・利用者の立場に立った接遇を心掛け、更なる接遇の向上を図る。 				

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	68,641,695	65,411,922	62,055,800	63,222,365
	利用料金収入	1,448,309	2,106,948	1,140,000	1,838,202
	その他収入	715,515	660,861	239,100	264,540
	計	70,805,519	68,179,731	63,434,900	65,325,107
支出	運営費	7,178,142	7,228,971	9,166,600	5,644,202
	管理費	30,442,636	29,308,351	28,526,390	29,302,653
	本部経費	2,810,000	3,477,000	3,413,000	4,623,000
	人件費	19,608,101	19,188,582	21,330,000	21,465,846
	修繕費	2,791,800	2,402,697	1,911,910	1,836,621
	その他支出	0	0	0	0
	計	60,020,679	58,128,601	60,934,900	58,249,322
収支差額		10,784,840	10,051,130	2,500,000	7,075,785
区への返還額		5,164,264	5,240,125	0	2,800,209
精算後収支差額		5,620,576	4,811,005	2,500,000	4,275,576
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入の減少を見込んで、指定管理料を増額した。 ・IT講習会の実施期間変更により事業数が減少したため、運営費は当初計画より決算額が下回った。 ・令和2・3年度は雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金によりその他収入が増加しているが、令和4年度は対象ではないことから減少している。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費及び修繕費は当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。 ・管理運営費のうち光熱水費は、実費精算とし、当初計画を超えて支出した額について、指定管理料を追加支出した。 ・管理運営費の収支差額は、当初計画の収支差額を上回ったため、利用料金減収相当分として増額した指定管理料を区に返還した。それでもなお、収支差額がプラスのため、差額の1/2の額を返還した。 <p>< 本部経費の考え方 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部経費は検証可能なものに限ることとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。 					

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、本部経費の積算根拠も確認できた。会計手続きは適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	利用料金収入、事業費や委託料など、予算と実績の間に乖離が見られる経費科目は見受けられるが、利用促進や経費縮減など明確な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	外部への委託業務を職員で行う等の取組により、支出実績は予算を下回り、収入増と併せて収支差額は予算を上回る結果となった。前期前々期に引き続き良好な決算となった。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守、時間外労働に際しての割増賃金の支払など、労働環境の確認を行った。改訂された最低賃金への対応など、労働環境が適正であることが確認できた。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、安全性、成長性、活動性・健全性すべて「良好」であり、安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。グループ企業の存在もあり、事業継続に際しての課題は見当たらない。	良好
総合評価			
サービス面、財務面は良好、労務面は優良であり、経費の削減努力や効果的活用も行われていることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、利用者アンケート等で広く利用者の声を把握し、苦情や要望に対して適切に対応しながら、施設運営が行えた点は評価できる。			

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	清里高原ロッジ・清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町3545番地5
指定管理者	名称	株式会社ニッコトラスト
	所在地	中央区日本橋堀留町二丁目4番3号
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和3年4月1日
指定期間		令和3年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室の利用者が、自然観察等を行えるように賄い業務や宿泊業務等のサービスの提供と利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 部屋数等： ロッジ 宿泊室12畳5室、9畳(ベッド)、研修室24.5畳1室、食堂、浴室 少年自然の家 宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室、 リーダー室10畳1室・8畳2室、食堂、浴室、体育館</p>
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の開設期間は4月29日(祝・金)から11月6日(日)までとする。 ・施設設備等の定期点検や修繕、日常清掃などを適切に実施し、施設的美観や安全性の維持に努める。 ・連泊者、リピーター割引等既存サービス及び地産野菜を使ったサラダの提供などを行い、利用者サービスの向上を図る。 ・飲料自動販売機の設置、フェア食の提供を行う。 		
令和4年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務の実施 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための対応等 <ul style="list-style-type: none"> ・入館時の手指消毒の徹底、マスク着用の奨励、食卓上の衝立の設置、自動検温器の設置 ・施設備品等の利用毎のアルコール消毒の徹底 3 利用者数等 <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数 7,677名 うち 一般利用者数 1,948名 学校利用者数 5,729名 4 利用者アンケートの結果 <ul style="list-style-type: none"> 職員対応 予約対応、チェックインチェックアウト対応、食堂対応のすべての項目で、「良い」の回答割合が95%以上 施設衛生 客室衛生、食堂衛生、浴室トイレ・洗面所衛生のすべての項目で、「良い」の回答割合が90%以上 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	30			26
快適に利用できるために施設の管理がなされている	10	5	100%	10
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス	70			62
施設利用者の満足度が高い	30	5	100%	30
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合計	100			88
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
地域との連携・協働	5	4	80%	4
自主事業への取り組み	5	3	60%	3
合計(B)	10			7
合計(A+B)				95
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>コロナ禍における安心・安全な利用環境を提供するため、少年自然の家の食堂にパーティションを継続設置している。</p> <p>非常勤職員(パートタイマー)の採用が困難であったため、常勤職員が業務を支援する等、臨機応変に対応し、支障なく業務を遂行したことは評価できる。</p> <p>地元観光協会へ加入して、月1回の清掃活動、年1回の定期総会への参加など、積極的に地域と交流するとともに、宿泊客の紹介・情報の共有といった施設利用者の増加及び施設PRへつなげる取組を行った。</p> <p>地場の野菜を使用した食事を提供することで、地産地消の取組を行った。</p>				
総合的な利用者満足度				
<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果では、「予約時の対応」「チェックイン・チェックアウト時の対応」「食堂での対応」といった職員対応について、「良い」と回答した利用者の割合が95%を超えている。 「とても快適でした」「居心地がよい」「また利用したい」といった多数の意見を頂いている。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>意見数は多くはないものの、高齢者や小さな子どもがいる家族から食事のボリュームが多い、風呂の温度が低いとありがたい、部屋に小さな虫が入ってきて気になる、浴室に高齢者用の椅子やアメニティがあると良いといった意見があった。対応が難しいものもあるが、利用者の声に寄り添った対応が望まれる。</p> <p>屋外排水枡、非常用発電設備、体育館天井塗装の剥落、電話交換機等老朽化している設備等について、区と連携して計画的な修繕を実施していく必要がある。</p>				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	58,989,536	74,661,000	67,562,402	77,323,430
	利用料金収入	1,206,260	6,470,784	20,437,000	20,167,003
	その他収入	131,600	286,480	800,000	681,572
	計	60,327,396	81,418,264	88,799,402	98,172,005
支出	運営費	109,059	256,551	933,000	847,749
	管理費	35,479,220	52,088,317	57,272,133	66,666,482
	本部経費	90,961	583,726	603,526	469,494
	人件費	22,037,488	24,907,375	22,558,879	23,555,601
	修繕費	3,875,831	3,944,111	3,930,000	3,936,089
	その他支出	0	0	0	0
	計	61,501,598	81,196,354	84,694,012	95,005,921
収支差額		-1,174,202	221,910	4,105,390	3,166,084
区への返還額		54,169	0	0	31,752
精算後収支差額		-1,228,371	221,910	4,105,390	3,134,332

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・非常勤職員の応募がなく現状の常勤職員で対応したため、人件費は当初計画より決算額が上回った。
- ・利用割引対象者が想定よりも少なかったため、運営費は当初計画より決算額が下回った。
- ・電気料金、重油価格等が大幅に上昇しているため、管理運営費内の光熱水費及び燃料費は、当初計画より決算額が大幅に上回った。

< 指定管理料の精算について >

- ・人件費及び修繕費については実費精算としており、当初計画を超える額は指定管理者が負担した。
- ・管理運営費のうち光熱水費及び燃料費は、実費精算とし、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。
- ・管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

< 本部経費の考え方 >

- ・本部経費は検証可能なものに限ることとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、本部経費の積算根拠も確認できた。会計手続きは適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	光熱水費や燃料費、消耗品費等、予算と実績に大幅な乖離がある科目を含め、乖離が生じた合理的な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費や燃料費の高騰により支出総額は予算を超過したが、コロナ禍収束による利用料金収入の改善などもあり、良好な決算となった。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守など、労働環境の確認を行った。従前から改訂後の最低賃金を上回る賃金を設定しているなど、労働環境が適正であることが確認できた。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、安全性、活動性・健全性は「良好」であり、安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。経費の縮減などにより前期前々期ともにマイナスであった利益はプラスになった。	良好

総合評価

サービス面、財務面は良好、労務面では優良であり、新型コロナウイルス感染症に対応した制限緩和に伴い利用者が戻り、利用料金収入はほぼ計画通りであった。施設職員対応の評価も高く、好意的な意見も多数寄せられており、適正な施設の維持管理がなされていることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要																											
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター																									
	所在地	荒川区南千住六丁目45番5号																									
指定管理者	名称	TM共同事業体（構成団体：代表企業 株式会社東京アスレティッククラブ、三菱電機ビルソリューションズ株式会社）																									
	所在地	中野区中野二丁目14番16号（代表企業所在地）																									
施設開設年月日		昭和60年6月2日																									
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日																									
指定期間		令和2年4月1日～令和7年3月31日																									
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・施設等の変更の承認に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他荒川区が必要と認める業務 																									
令和4年度の事業計画																											
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者までを対象としたスポーツ教室を開催するなど、ライフステージに応じたスポーツ活動の提供 ・パラスポーツ教室やスポーツイベント事業を実施するなど、パラスポーツの推進と多様なスポーツイベントの開催 ・荒川区内の団体、学校、企業等との連携・交流・協働した活動の実践 																											
令和4年度の事業実績																											
<p>1 利用料金収入 181,457,558円</p> <p>2 利用者数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">・団体利用者数</td> <td style="width: 25%;">247,303人</td> <td style="width: 25%;">・個人利用者数</td> <td style="width: 25%;">130,763人</td> </tr> <tr> <td>・利用料免除者</td> <td>59,865人</td> <td>・教室受講者数</td> <td>121,907人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>559,838人</td> </tr> </table> <p>3 教室・講習会</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">・スポーツ教室</td> <td style="width: 25%;">35種類・1,660回</td> <td style="width: 25%;">・水泳教室</td> <td style="width: 25%;">28種類・3,527回</td> </tr> <tr> <td>・スタジオ教室</td> <td>39種類・1,890回</td> <td>・キッズルーム教室</td> <td>15種類・1,222回</td> </tr> <tr> <td>・特別教室</td> <td>7種類・55回</td> <td>合計</td> <td>124種類・8,354回</td> </tr> </table>				・団体利用者数	247,303人	・個人利用者数	130,763人	・利用料免除者	59,865人	・教室受講者数	121,907人			合計	559,838人	・スポーツ教室	35種類・1,660回	・水泳教室	28種類・3,527回	・スタジオ教室	39種類・1,890回	・キッズルーム教室	15種類・1,222回	・特別教室	7種類・55回	合計	124種類・8,354回
・団体利用者数	247,303人	・個人利用者数	130,763人																								
・利用料免除者	59,865人	・教室受講者数	121,907人																								
		合計	559,838人																								
・スポーツ教室	35種類・1,660回	・水泳教室	28種類・3,527回																								
・スタジオ教室	39種類・1,890回	・キッズルーム教室	15種類・1,222回																								
・特別教室	7種類・55回	合計	124種類・8,354回																								

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	40			34
建物・設備・備品等が適切に管理されている	10	4	80%	8
利用者が快適に利用できるよう清掃されている	10	4	80%	8
プール施設の衛生管理が適切に実施されている	10	5	100%	10
業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
区民サービス	60			55
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	15	4	80%	12
区民の体力向上・健康増進に資する事業展開を行っている	15	5	100%	15
地域との連携、地域貢献を行っている	10	5	100%	10
事故や災害発生時の適切な対応体制が構築されている	10	5	100%	10
個人情報の保護に対する体制が構築されている	10	4	80%	8
合計	100			89
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
障がい者スポーツ推進の取組を実施している	5	5	100%	5
区内業者への発注を積極的に行っている	5	4	80%	4
合計(B)	10			9
合計(A+B)				98
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>・「施設の維持管理」については、設備に係る専門資格を持った職員を配置し、定期点検や保守点検等を適切に実施するとともに、随時施設を巡回し、建物・設備の状態を詳細に把握するなど、施設全体における設備・機能を適切に管理している。また、清掃については、専門事業者に委託し実施しているほか、業務終了後や夜間に指定管理者が自主的に清掃作業を実施するなど、施設内を清潔に保つよう努めている。</p> <p>・「区民サービス」については、新型コロナウイルス感染症が収束傾向となる中で、基本的感染予防対策を継続しつつ、利用者の安全に配慮した教室やイベントを開催するとともに、キャッシュレス決済や教室申込に係るWEB申請を導入するなど、区民が安心して、利用しやすいスポーツ環境を提供した。また、リバーサイドマラソン事業等への協力や区内小学校のスポーツ教室への指導員派遣など、地域との連携にも努めている。</p> <p>・「その他の項目」については、障がい者水泳教室のほか、パラリンピアンを招いての水泳教室・トークショー、ポッチャを体験する事業を企画・実施し、パラスポーツに親しむ機会を提供することでパラスポーツの推進に寄与している。</p>				
総合的な利用者満足度				
<p>・利用者の意見や動態調査結果等を踏まえ、随時運営の改善を図るなど、より利用しやすい施設となるよう努めており、動態調査においては感謝の意見も寄せられている。</p> <p>・動態調査報告書における当該施設の設備・サービスに対する総合的な満足度については、「非常に満足」及び「満足」を合わせた回答率が、前年度から2ポイント上昇し81%となるなど、利用者から高い評価を得ている。</p>				

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、来場者の増加に対応できるよう、改めて適切なスタッフの受け入れ体制を整えるとともに、一層の接遇の向上に努める必要がある。
- ・一部多くのキャンセル待ちが発生している教室について、より多くの方に受講いただけるよう運営方法を検討するとともに、自主事業も含め、新たな集客向上に繋がる魅力的なメニューの開発が引き続き求められる。
- ・パラスポーツについて、自主事業における体験会や教室を拡大するとともに、区で実施するパラスポーツ事業に協力する等、パラスポーツの推進役としての役割が一層望まれる。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	105,667,843	169,659,553	161,557,948	183,932,476
	利用料金収入	109,891,856	170,269,910	142,839,663	181,457,558
	その他収入	47,332,966	2,430,143	578,214	700,302
	計	262,983,861	342,359,606	304,975,825	366,090,336
支出	運営費	2,295,560	3,047,530	2,700,000	2,888,268
	管理費	111,664,805	129,766,006	125,709,530	151,387,713
	本部経費	860,633	666,944	1,040,000	1,145,795
	人件費	129,843,738	144,324,018	147,161,452	145,432,713
	修繕費	6,069,606	9,025,770	11,000,000	6,469,267
	その他支出	0	0	0	0
	計	249,873,709	286,163,324	286,570,982	306,177,961
収支差額		13,110,152	56,196,282	18,404,843	59,912,375
区への返還額		13,110,152	37,791,439	0	41,507,532
精算後収支差額		0	18,404,843	18,404,843	18,404,843

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・利用料金収入の減収を見込んで、指定管理料を増額した。
- ・雇用調整助成金の対象ではなかったため、その他収入について前年度より減少した。
- ・新型コロナウイルス感染症が収束傾向になったことに伴い、施設利用者数が回復し利用実績が上がったため、利用料金収入の決算額は当初計画を上回った。
- ・管理費は、消耗品や雑費等が一部減少したが、光熱水費の高騰等により、決算額が当初計画を上回った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ教室やイベント事業を再開させていくにあたり、前年度よりも業務量が増加し、新たに人材募集を行ったことにより、求人広告費が増加したため、本部経費の決算額が当初計画を上回った。

< 指定管理料の精算について >

- ・人件費及び修繕費は、当初計画の範囲内の実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち光熱水費は、実費精算とし、当初計画を超えた額を追加支出した。
- ・光熱水費を除く管理運営費の収支差額については、当初計画を上回ったため、当初計画を超えた額を区へ返還した(利用料金の減収見込に伴う指定管理料増額分の範囲内のため全額返還)。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表等の書類は適正に作成されている。不自然な経費計上は見当たらず、本部経費の積算根拠も確認できた。会計手続きは適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	利用料金収入や通勤交通費など、予算と実績の間に乖離が見られる経費科目は見受けられるが、団体利用の増加や、非常勤職員の社員登用など明確な理由が示されている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	原油価格の高騰により大幅な増加となった光熱水費以外の支出は、ほぼ予算の範囲内で事業が遂行された。利用料金収入の増加により、収支差額は予算を上回る結果となり、良好な決算となった。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断の受診記録等により、労働保険・社会保険の加入、最低賃金の遵守、時間外労働に際しての割増賃金の支払など、労働環境の確認を行った。健康診断の受診管理において不備が確認されたが、改善計画が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	共同事業体を構成する2法人の決算書に基づいて財務評価を行った。代表企業は、活動性・健全性に課題があるが、総合評価は「良好」。一方の企業は、安全性、活動性・健全性が優れており、総合評価は「優良」である。両社ともに適正な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス、財務・労務ともに、高い評価を獲得しており、指定管理者として適切に業務を実施している。

事業者の強みを活かし、スポーツ施設の運営・維持管理を確実に実施しているほか、利用者からの意見等を踏まえ、柔軟に運用改善を図った結果、利用者満足度が向上するなど、利用者が使いやすい施設となるよう創意工夫に努めている点は高く評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	スポーツ振興課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養 100名 短期入所生活介護（ショートステイ）10名</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】特養：93.0%、ショートステイ：85.0%</p> <p>2 安定した運営を図るため、年間総入院者数が少なくなるよう努める。入院要因の疾病について分析しつつ、具体的改善策を検討し、入院日数減を図る。</p> <p>3 サービス向上のため、前期を目途に特養全利用者に対しての新規加算取得を行う（個別機能訓練、褥瘡マネジメント、排せつ支援、科学的介護推進体制）。</p> <p>4 職員が専門的知識と技術を学べる研修体制を再構築し、ケアの質向上を図る。基礎介護研修をリーダー等に向けて実施するほか、研修予定を年間予定に組み込み、計画的に行う。</p> <p>5 事業安定を図るため、ショートステイ年間利用率85%を目標に運営する。月平均3人以上の新規利用者を確保する。新規顧客確保に向け、各居宅支援事業所との連携を促進する。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 特養：92.2%、ショートステイ：73.4% 平均介護度：4.1</p> <p>2 延べ入院者日数は下半期の入院者増の影響で目標達成には至らなかったが、前年度に比べて減らすことができた。</p> <p>3 概ね前期にて新規加算の算定開始となった。個別機能訓練加算については機能訓練指導員の育休復帰延期により8割程度の算定となったが、12月までには全利用算定開始となった。</p> <p>4 研修打合せや資料の準備が整い、9月からリーダー職以上に向けた研修を開始した。年度末までにリーダー職以上の全職員及び中堅職員の一部に研修を実施することができた。</p> <p>5 ショートステイの新規利用者は月平均2.2人、利用率は73.4%と目標を下回ったが、前年度比6.4%増となった。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、92.2%と良好である。 ・自主的な取組についてはコロナ禍で中止している状況であるが、施設の状況などをできるだけ知ってもらうためにホームページやSNSを活用して発信を続けている。また、町会役員会、交通安全運動及び町会防災訓練への参加をしていることが評価できる。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が95%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
利用率等は良好であるが、引き続き、維持・向上が必要である。			

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	470,016,827	462,334,499	472,950,000	470,013,093
	その他収入	1,525,960	1,914,580	4,787,000	2,011,078
	計	471,542,787	464,249,079	477,737,000	472,024,171
支出	運営費	69,310,265	64,014,522	70,677,000	68,462,254
	管理費	61,350,734	68,524,105	58,913,000	58,122,933
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	332,482,750	329,917,180	312,923,000	307,334,579
	修繕費	2,327,670	1,461,632	3,038,000	2,718,083
	その他支出	490,741	1,055,468	1,917,000	1,287,826
	計	465,962,160	464,972,907	447,468,000	437,925,675
収支差額		5,580,627	-723,828	30,269,000	34,098,496
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が下回った。 ・水道光熱費、給食費、消耗器具備品費等の減少により、運営費は当初計画より決算額が下回った。 ・手数料、福利厚生費、職員被服費等の減少により、管理費は当初計画より決算額が下回った。 ・職員給料、職員賞与、非常勤職員給与等の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・利用率の増加による収入の増加及び経費削減による支出の減少により、収支差額は大幅な黒字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比減であり、収支差額は改善されており、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性に課題があるが、安定性は優良、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	良好
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川 一丁目3 4 番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人奉優会
	所在地	世田谷区駒沢一丁目4番15号
施設開設年月日		昭和45年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和2年4月1日
指定期間		令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
業務内容		<p>(1) 事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ・その他区が必要と認める事業に関する業務 <p>(2) 施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 <p>(3) 区が実施する早期の介護予防、認知症予防事業に関する業務</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【介護予防の推進】介護予防事業や健康に関する講座を実施し、地域高齢者の介護予防や健康づくりを促進する。4種の介護予防事業、健康アップステーション、音楽体操講習会を継続する。関心の高い測定会（血管年齢等）を開催し、健康意識向上の契機とし、介護予防や健康づくりに繋げる。</p> <p>2 【オンライン事業・eスポーツ事業の推進】Zoom勉強会やスマホ・タブレットの講座を開催し、高齢者のデジタル機器利用を促進する。オンライン事業の講座として、英会話、体操講座など種類を増やす。eスポーツ事業でフレイル予防や区内から世界まであらゆる世代や地域との交流を目指す。</p> <p>3 【社会参加の支援】利用者にボランティア活動の場を提供し、社会参加の機会を作る。高齢者の自主グループ化を目指す講座を行う。館外活動を通して閉じこもり防止やコミュニケーションを促進する。地域と連携し、生きがい作りや地域活性化に繋がるファッションショーを開催する。</p> <p>4 【地域及び併設通所サービスとの連携】高齢者クラブ連合会、近隣町会等と連携する。保育園や学校との世代間交流や、警察署等による安心安全講座の開催、地域包括との情報共有及び支援を行う。併設通所施設との合同勉強会等や敬老祭、作品展の共催、ボランティア派遣を実施する。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 4種の介護予防事業、健康アップステーション、音楽体操講習会及び健康チェックイベントを実施した。健康チェックイベントでは、血管年齢、体組成、運動機能、歩行の測定会を行い、結果はその場で伝え、後日の相談会や看護師による健康相談により結果のフォローをした。</p> <p>2 Zoomの勉強会やオンラインと対面で同時に実施する講座、子どもと施設利用者のオンライン交流会を開催した。eスポーツ事業では、自由に参加できる開放日を設けた。夏休みや春休みには子どもの参加もあった。また、オンラインでの法人内他事業所との交流イベントも実施した。</p> <p>3 ボランティアサロンでは、センター便りの折り作業、館内装飾の作成、併設通所施設用のゴミ箱・ゴミ袋作り、ウエスの作成、事業準備等を実施した。また、ボランティア講師によるお琴演奏会、併設通所施設と共催でのファッションショーを開催した。</p> <p>4 作品展に保育園児の作品を出展した。荒川警察等と高齢者向け啓発講座を開催した。ゆいの森あらかわとブックリーダーズによる読み聞かせ会の開催や街なか図書館設置を行った。高齢者クラブ連合会との芸能大会実施、出張事業の開催をした。</p>		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている	○	
事業について		
生活相談、健康相談を行っている	○	
教養講座等を行っている	○	
老人クラブに対する援助等を行っている	○	
人員配置基準を満たしているか		
施設の長を配置している	○	
相談・指導を行う職員を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
来館者数		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、事業の一部中止により、一日の平均利用者数は55人となった（年間利用者総数16,266人、新規利用登録者541人）。
- ・自主的な取組については、地域交流として、三河島保育園、第六瑞光小学校、南千住第三保育園と継続した交流を行うことができている。また、高年者クラブ連合会の団体向けに出張講座を開催し、来館することが難しい年代の方にも事業を実施している。更に、eスポーツ事業では夏休み・春休みに子どもに施設を開放し、多世代との交流ができるようにしている点が評価できる。

総合的な利用者満足度

利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が88%であり、良好な評価を得ている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者満足度は良好であるが、引き続き、更なる満足度の向上に繋がるサービス提供が必要である。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	67,222,358	69,135,892	72,276,067	71,844,067
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	67,222,358	69,135,892	72,276,067	71,844,067
支出	運営費	6,726,501	9,233,856	12,919,960	10,677,649
	管理費	16,558,848	16,502,805	19,243,428	18,266,108
	本部経費	3,486,000	3,578,000	3,420,884	3,644,000
	人件費	26,970,405	32,278,053	37,607,148	33,630,900
	修繕費	973,872	1,104,435	1,105,531	1,048,943
	その他支出	0	0	0	0
	計	51,229,626	59,119,149	70,876,067	63,623,600
収支差額		15,992,732	10,016,743	1,400,000	8,220,467
区への返還額		12,680,567	6,973,467	0	5,652,945
精算後収支差額		3,312,165	3,043,276	1,400,000	2,567,522

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・新型コロナウイルスの影響により、人件費は当初計画より決算額が下回った。
- ・新型コロナウイルスの影響により、事業を一部中止していたため、運営費は当初計画より決算額が下回った。なお、使用しなかったことが明確な経費分の指定管理料を減額した。
- ・運営費のうち水道光熱費については、入浴事業の中止の影響により、当初計画より決算額が下回った。

< 指定管理料の精算について >

- ・人件費、修繕費及び水道光熱費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・水道光熱費を除く管理運営費収支差額については、当初計画(予定する収支差額)を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比増であり、収支差額は若干悪化しているが、乖離は少なく経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、安定性、活動性・健全性、成長性は優良、収益性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している、	優良

総合評価

老人福祉センターとして担うべき、生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務などを確実に履行している。法令基準等については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人カメラア会
	所在地	江東区亀戸三丁目36番13号
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成29年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養 59名 短期入所生活介護（ショートステイ）12名</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】特養：98.0%、ショートステイ：98.6%</p> <p>2 計画的な研修を実施し、職員一人一人が目的を持って業務できるよう、自主的な企画立案やフォローの仕組みを構築させ、介護サービスの質の向上に努める。</p> <p>3 季節感を感じるイベントとして納涼祭・敬老会・文化祭等を積極的に開催する。家族・地域住民・行政等にも参加を促し、開かれた施設として交流を深めるよう働きかける。</p> <p>4 通所、地域包括等と連携し、在宅高齢者からの相談と見守り、介護予防、要介護、看取りに対応する「サンハイム版の地域包括ケアシステム」で地域福祉に貢献する。</p> <p>5 アンケートにより要望や嗜好、サービス状況を把握して質の向上に努める。家族懇談会により意見・要望を直接伺い、安全で安心した暮らしが継続できる環境づくりを目指す。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 特養：96.5%、ショートステイ：91.2% 平均介護度：3.7</p> <p>2 オンライン機器用いて研修を行った。職員が自主的かつ主体的に取り組むよう起案～報告のシステムを構築し、WEB上でフォローをしてサービスの質を保った。</p> <p>3 オンライン面会やお看取り期での直接面会等を行った。また、窓越しではあるものの、保育園児との交流行事を実施し、利用者のQOLを高めることができた。</p> <p>4 コロナ禍において、在宅高齢者のケアはより密となり、連携を強化できた。入所は面会の制限もあるため、在宅介護と入所で葛藤が生じる方もおり、丁寧な相談援助をした。</p> <p>5 アンケートでは直接面会の要望が多く、オンラインでの面会の一部の家族の方の利用に留まった。それでも施設での様子を適宜連絡することで、不安が無いよう務めた。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果
			適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である
利用率（特養）		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
取組が行われていない、または取組が十分でない			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、96.5%と極めて良好である。 ・自主的な取組については、保育園交流を始め、来食サービスの実施、自宅引きこもり防止、フレイル予防の機会を設けている。また、法人やグループ間での勉強会や研修、他施設同職種の情報交換等の交流も行っていることが評価できる。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が74%に達するなど、良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
利用率等は良好であるが、引き続き、維持・向上が必要である。			

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	314,826,326	322,530,405	321,354,000	320,884,660
	その他収入	0	0	2,088,000	0
	計	314,826,326	322,530,405	323,442,000	320,884,660
支出	運営費	71,603,300	57,978,104	51,886,000	62,541,715
	管理費	19,820,923	49,603,640	50,481,000	48,246,795
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	199,358,613	196,529,446	184,086,000	196,558,016
	修繕費	475,167	1,504,223	840,000	1,373,795
	その他支出	13,260,277	13,291,361	14,184,000	13,498,326
	計	304,518,280	318,906,774	301,477,000	322,218,647
収支差額		10,308,046	3,623,631	21,965,000	-1,333,987
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスのクラスター発生に伴う入院者の増加や短期入所の稼働率低下により、介護保険事業収益は、当初計画より決算額が下回った。 ・水道光熱費、保健衛生費、賃借料等の増加により、運営費は当初計画より決算額が上回った。 ・福利厚生費、業務委託費、雑費等の減少により、管理費は当初計画より決算額が下回った。 ・非常勤職員給与の増加により、人件費は当初計画より決算額が上回った。 ・人件費と水道光熱費の増加に伴う支出の増加が大きく、収支差額は赤字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	支出は予算比増であり、予算対比収支の悪化を招いているが、予算との差額は許容範囲内であり、増加分は人件費と水道光熱費であることから、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比増であるが、概ね許容範囲内であり、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、安定性は優良、収益性、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	良好
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人奉優会
	所在地	世田谷区駒沢一丁目4番15号真井ビル5階
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和4年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名 短期入所生活介護（ショートステイ）6名</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】特養：98.0%、ショートステイ：98.0%</p> <p>2 空床日数短縮化のため、待機者確保、優先度の高い方の入居を進める。ショートステイの稼働率向上により福祉資源を活用する。併設施設と連携し、緊急ケースの受入れをする。</p> <p>3 多職種の協働により、サービス向上を図る。重度化が進む中でも体調が安定するよう支援する。看取り期では意向を尊重し、その方らしい最期を迎えられるよう医師と支援する。</p> <p>4 経験者、有資格者に対しても介護技術の向上や新しい取組について研修を行う。未経験者に対しては綿密な研修計画を作成し、安心して仕事ができるよう支援する。</p> <p>5 感染症対策をしながら、家族と入所者のかかわりを継続できるよう、面会支援、情報共有をする。感染症の状況を考慮しながら、地域とのつながりが継続できるようにする。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 特養：98.3%、ショートステイ：89.2% 平均介護度：4.1</p> <p>2 特養空床日数平均23日で入居調整を行えた。地域包括支援センターからの緊急ケースの受入れを行った。また、ショートステイの稼働を17.3%増加できた。</p> <p>3 退所者8名のうち5名は看取りでの退所となった。家族との連絡を密に取り、残された時間を家族と過ごしていただくことができた。重度化防止に努め、入院者を減らせた。</p> <p>4 新規職員には研修担当職員を付け、現場研修を行った。新たに導入した移乗用リフトについて全介護職員に研修を行った。認知症ケアプログラムの研修を職員3名が受講した。</p> <p>5 ガラス越し面会、ビデオ通話を活用し、家族との交流を図り、月間50件の面会ができた。やまびき会を3回開催し、福祉避難所開設訓練、施設の機能について情報提供をした。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、98.3%と極めて良好である。 ・自主的な取組については、近隣9町会とのやまぶき会の開催、東京都職場体験事業の受入れ、幼稚園に対し、避難訓練の際に敷地を貸し出ししていることなどが評価できる。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が85%に達するなど、良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
利用率等は良好であるが、引き続き、維持・向上が必要である。			

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	260,475,490	258,700,086	269,048,045	270,534,421
	その他収入	0	0	0	0
	計	260,475,490	258,700,086	269,048,045	270,534,421
支出	運営費	48,673,788	57,837,798	55,127,243	54,033,170
	管理費	8,993,680	10,104,273	12,931,430	13,646,457
	本部経費				
	人件費	194,016,974	197,063,305	172,557,950	164,241,475
	修繕費	10,657,373	5,918,900	3,206,615	4,783,064
	その他支出	413,464	567,748	1,456,857	1,585,254
	計	262,755,279	271,492,024	245,280,095	238,289,420
収支差額		-2,279,789	-12,791,938	23,767,950	32,245,001
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が上回った。 ・水道光熱費、消耗器具備品費、賃借料等の減少により、運営費は当初計画より決算額が下回った。 ・事務消耗品費、業務委託費、職員被服費等の増加により、管理費は当初計画より決算額が上回った。 ・賞与引当金繰入、法定福利費、職員賞与、職員給料等の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・利用率の向上による収入の増加により、収支差額は大幅な黒字となった。 ・令和3年度及び令和2年度の決算は、前指定管理者のものである。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比減であり、収支差額は改善されており、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した。指定管理者の変更により36協定の提出が遅れていたが、基本的に要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、安定性、活動性・健全性、成長性は優良、収益性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	優良
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 *介護予防含む</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：73.0%</p> <p>2 見学时、利用の意思が確認できた場合、必要な情報収集等を行い、速やかな利用開始に繋げる。施設広報誌等のリニューアルを行い、外部への広報活動を行う。</p> <p>3 月平均4～5名の新規顧客獲得により登録者数90名を目指す。利用者の活動意欲の促進や安心感ある環境づくりを行うとともに、利用者、家族、ケアマネとの信頼関係を醸成する。</p> <p>4 継続した研修機会を持ち、一貫した個別ケアの提供を図る。バラエティー豊かなレク・手工作等に磨きを掛けつつ、利用者ニーズに応じていく。</p> <p>5 利用中の様子や気づきをタイムリーに家族やケアマネと共有する。利用者の心身状態の変化に留意し、早期発見、対応に繋げる。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率56.4% 平均介護度2.3</p> <p>2 広報誌の改訂や外部広報を行い、契約から利用開始までの期間短縮に努めた。9月以降新規増加傾向にあったが、目標は下回った。12月末のクラスターによる利用控えも影響した。</p> <p>3 下半期の新規契約月平均は3名（前期は2.3名）と前期比増となったが、登録者数は75名と横ばいであった。登録者数と人件費の観点から11月より定員数を35名に引き下げた。</p> <p>4 スポーツ系レク・脳トレ系レク・選択レク（生け花）・手工作（個別・共同）など様々なレクを毎月重複しないよう実施した。今後も地道な顧客確保に努める。</p> <p>5 利用者の体調変化時・特変時には口頭・電話・手紙にて漏れなく家族・ケアマネに報告。心身状態の変化・発熱対応等も早期に行い、状態悪化予防に努めた。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、56.4%と良好である。 ・自主的な取組についてはコロナ禍で中止している状況であるが、施設の状況などをできるだけ知ってもらうためにホームページやSNSを活用して発信を続けている。また、町会役員会、交通安全運動及び町会防災訓練への参加をしていることが評価できる。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が98%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用率等は良好であるが、施設の安定的な運営のため、引き続き、収支の改善に向けた取組が必要である。 ・施設の大規模改修の時期に合わせ、デイサービスのスペースを特別養護老人ホームの増床に割り当てるなどの有効活用を検討する。 			

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	80,909,586	74,495,102	69,585,000	71,042,551
	その他収入	306,720	149,341	1,340,000	305,410
	計	81,216,306	74,644,443	70,925,000	71,347,961
支出	運営費	12,479,750	13,927,271	13,734,000	12,165,498
	管理費	8,064,470	8,606,957	8,939,000	8,335,524
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	71,964,836	74,751,156	74,498,000	73,775,185
	修繕費	320,043	715,907	1,821,000	1,967,602
	その他支出	85,842	217,566	839,000	1,535,100
	計	92,914,941	98,218,857	99,831,000	97,778,909
収支差額		-11,698,635	-23,574,414	-28,906,000	-26,430,948
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が上回った。 ・水道光熱費、車両費、給食費等の減少により、運営費は当初計画より決算額が下回った。 ・雑費、業務委託費、保守料等の減少により、管理費は当初計画より決算額が下回った。 ・職員賞与、退職給付費、法定福利費等の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・新型コロナウイルスの影響や同種の民間事業者との競合に伴う収入の減少により、収支差額は赤字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比減であり、収支差額は改善されており、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性に課題があるが、安定性は優良、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	良好
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人奉優会
	所在地	世田谷区駒沢一丁目4番15号真井ビル5階
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和4年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：66.0%</p> <p>2 送迎時の居室内介助やヘアカット・電球交換などの日常生活における介護保険外の困り事にも無償又は低額で、可能な範囲で対応し、在宅生活継続を支援する。</p> <p>3 タブレットやWi-FiなどのICTを活用し、従来のレクリエーションなどに掛け合わせることで、今までの「楽しみ」や「喜び」だけでなく、新たな「体験」を提案する。</p> <p>4 科学的介護(LIFE)を活用し、自立支援・重度化防止に繋げ、フィードバックにより利用者の状態やケア実績変化等を踏まえた改善を行い、PDCAサイクル・ケアの質の向上に繋げる。</p> <p>5 地域のボランティア、実習生等を積極的に受け入れていくことで、他者とのコミュニケーションの機会を増やし、地域の方々との交流する機会も増やしていく。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率47.5% 平均介護度2.2</p> <p>2 送迎時のちょっとした居室内介助や施錠確認、服薬管理が出来ない方の昼薬の預かりや車椅子の空気圧確認等を実施した。ヘアカットは毎月実施し、お困り事支援も行った。</p> <p>3 iPadやプロジェクターを活用することで、奉優会の体操・ころばん体操以外にも新しい体操やゲーム・脳トレなど今までとは違った「楽しみ」や「体験」等を提供した。</p> <p>4 科学的介護(LIFE)へのデータ提出を実施、計画書更新の際には、フィードバックデータを参考に更新を実施した。</p> <p>5 コロナ禍のため、ボランティアの受入れは出来なかったが、職場体験の受入れを実施し、他者とのコミュニケーションの機会を増やした。</p>		

法令基準等への適合状況				
確認項目			適合判断	
運営基準を満たしているか				
	運営規程を定めており、適切に守られている		○	
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○	
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○	
人員配置基準を満たしているか				
	管理者を配置している		○	
	看護職員、介護職員等を配置している		○	
設備基準を満たしているか				
	サービス提供に必要な設備を備えている		○	
			結果 適合	
その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、47.5%と十分ではなく課題がある。利用回数の多い方の中止や新型コロナウイルスのクラスター発生もあり、利用率が上がらなかったことが要因である。 ・自主的な取組については、近隣9町会とのやまぶき会の開催、東京都職場体験事業の受入れ、幼稚園に避難訓練の際に敷地を貸し出ししていることなどが評価できる。 				
総合的な利用者満足度				
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が93%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
利用率には課題があり、改善に向けた取組が必要である。				

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	69,304,493	68,923,048	48,521,882	49,045,794
	その他収入	0	0	7,100	0
	計	69,304,493	68,923,048	48,528,982	49,045,794
支出	運営費	12,896,834	14,944,574	13,514,653	13,566,713
	管理費	2,718,879	3,210,972	3,035,825	3,243,325
	本部経費				
	人件費	46,795,536	51,482,539	39,750,392	42,891,357
	修繕費	3,985,993	22,724,360	21,815	25,203
	その他支出	202,654	342,354	221,335	212,407
	計	65,999,896	92,704,799	56,544,020	59,939,005
収支差額		3,304,597	-23,781,751	-8,015,038	-10,893,211
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が上回った。 ・給食費、水道光熱費、教養娯楽費の増加により、運営費は当初計画より決算額が上回った。 ・全体的な各費用の増加により、管理費は当初計画より決算額が上回った。 ・賞与引当金繰入、退職給付費、職員給料等の増加により、人件費は当初計画より決算額が上回った。 ・新型コロナウイルスの影響や同種の民間事業者との競合に伴う収入の減少により、収支差額は赤字となった。 ・令和3年度及び令和2年度の決算は、前指定管理者のものである。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	支出増により、予算対比収支の悪化を招いているが、予算との差額は許容範囲内であり、増加分は人件費であることから、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比増であるが、概ね許容範囲内であり、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した。基本的に要件を満たしており、労働環境は適正であるが、指定管理者の変更により36協定の提出が遅れていた。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、安定性、活動性・健全性、成長性は優良、収益性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	優良
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋七丁目2番15号
指定管理者	名称	社会福祉法人聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成5年3月23日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成5年3月23日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：70.0%</p> <p>2 利用者を顧客として正しく認識し、顧客から選択される施設を目指す。サービスマナー基礎研修、ロールプレイ研修、人事考課面接による振り返りとフィードバック等を行う。</p> <p>3 個別ニーズに即したサービス提供をする。3割以上を占める中重度利用者へのサービス充実を図る。安定した職員体制を確立し、個別機能訓練の充実を図る（加算・の取得）。</p> <p>4 安定した経営基盤を構築する。居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者増につなげる。HPの掲載内容の工夫とさくら新聞の継続的な発行など広報活動の充実を図る。</p> <p>5 地域の社会資源として常に地域とのかかわりを意識し、事業運営を行う。家族介護者教室の実施、実習生・ボランティアの受入れを行う。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率58.0% 平均介護度2.3</p> <p>2 職員への研修をより身近なテーマにしたことで、現場での体験における気付きを醸成できた。「言葉遣い」については、現場での気づきで改まっていく様子が見られた。</p> <p>3 個別機能訓練加算は、職員配置が十分でなく断念したが、機能訓練の要望にはできる限り対応し、看護師の付き添いによる歩行訓練や立ち上がり、階段昇降などを行った。</p> <p>4 新規利用者獲得のため、ケアマネ事業所へ営業を行い、施設の特徴を説明した。新規利用者数以上に入院や体調不良による欠席があり、利用率は年平均で58%に留まった。</p> <p>5 新型コロナウイルス感染予防のため、家族介護者教室、実習生・ボランティアの受入れは実施しなかったが、リモートで保育園と交流会を行った。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、58.0%と良好である。 ・自主的な取組についてはコロナ禍で中止している状況である。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が84%に達するなど、良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
本施設は、利用状況、収支状況等に鑑み、令和5年度末をもって廃止する予定である。			

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	85,821,688	83,509,035	80,836,000	78,892,883
	その他収入	7,090,956	5,009,110	6,253,000	5,060,217
	計	92,912,644	88,518,145	87,089,000	83,953,100
支出	運営費	14,554,978	18,524,981	13,984,000	13,488,182
	管理費	16,170,470	13,946,628	14,455,000	14,141,233
	本部経費				
	人件費	67,721,412	68,750,256	69,939,000	68,637,880
	修繕費	3,534,814	2,995,644	25,646,000	4,727,288
	その他支出	1,446,526	1,087,571	756,000	865,629
	計	103,428,200	105,305,080	124,780,000	101,860,212
収支差額		-10,515,556	-16,786,935	-37,691,000	-17,907,112
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の入院による利用中止等により、介護保険事業収益は、当初計画より決算額が下回った。 ・ 全体的な費用の減少により、運営費は当初計画より決算額が下回った。 ・ 全体的な費用の減少により、管理費は当初計画より決算額が下回った。 ・ 職員賞与、法定福利費、非常勤職員給与等の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・ 新型コロナウイルスの影響や同種の民間事業者との競合に伴う収入の減少により、収支差額は赤字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入は予算比減であるが、経費の削減により収支は改善しており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比減であり、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性に課題があるが、安定性は優良、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の赤字が続いており、施設の財務状況が悪いため、改善が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住四丁目9番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人カメラア会
	所在地	江東区亀戸三丁目36番13号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成31年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）45名 *介護予防含む。</p> <p>なお、区立在宅高齢者通所サービスセンター再編に伴いサンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター及び南千住中部在宅高齢者通所サービスセンターを統合し、平成31年4月から定員25名を45名に変更した。</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：57.4%</p> <p>2 お客様アンケート・ヒアリングを継続して実施し、お客様のニーズの把握に努める。また、ISO9001認証取得のための準備・取組みを行なっていく。</p> <p>3 マシントレーニング機器を活用し、個々のお客様に合った機能訓練の提供を行う。集団体操等、身体を動かす機会を多く設け、ADL低下防止・心身機能の維持と向上を目指す。</p> <p>4 季節感を感じられる行事を開催し、日々のレクリエーションにおいては、お客様の趣味や嗜好に合わせて個別又は少人数で実施できるものの充実を図る。</p> <p>5 施設内の消毒・清掃等の環境整備を徹底し、お客様・職員共に定期的な検温と体調確認をして、異常の早期発見に努める。継続してお客様への注意喚起と必要な情報提供を行う。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率55.4% 平均介護度2.0</p> <p>2 各種アンケートを実施し、ニーズの把握・吸い上げを行なうとともに、「こやまケア」によるサービスの提供を目指した。なお、ISO認証の取得はできなかった。</p> <p>3 マシントレーニングを個別に実施し、集団体操の時間も設けた。フロア座席も歩行可能な距離にして、日常動作でも運動機会を持ち、ADL低下防止・心身機能の維持に繋がった。</p> <p>4 引き続き、行事やレクリエーションを感染対策をしながら行った。少人数のリハビリゲームや個人で行なう手工作等を中心にレクリエーションを提供した。</p> <p>5 施設内の消毒・清掃、加湿・換気の徹底を継続した。お客様・職員共に定期的な検温・体調確認を実施することで体調変化の早期発見に繋がっており、感染症の発症を防げた。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、55.4%と良好である。 ・自主的な取組については、例年、保育園交流、インターンの受入れを行っているが、昨年度同様、コロナ禍のため中止した。法人グループ間でのオンライン勉強会、研修、法人での内部監査を実施していることが評価できる。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が77%に達するなど、良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
利用率等は良好であるが、引き続き、維持・向上が必要である。			

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	62,086,705	68,810,920	71,686,000	72,281,200
	その他収入	0	0	233,000	0
	計	62,086,705	68,810,920	71,919,000	72,281,200
支出	運営費	12,387,077	11,077,141	13,265,000	13,042,237
	管理費	5,426,711	6,968,965	7,304,000	7,241,886
	本部経費				
	人件費	43,263,214	48,480,590	48,154,000	47,044,558
	修繕費	40,065	25,509	52,000	12,100
	その他支出	1,880,316	4,083,785	4,208,000	4,224,246
	計	62,997,383	70,635,990	72,983,000	71,565,027
収支差額		-910,678	-1,825,070	-1,064,000	716,173
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が上回った。 ・水道光熱費、給食費、介護用品費等の減少により、運営費は当初計画より決算額が下回った。 ・全体的な各費用の減少により、管理費は当初計画より決算額が下回った。 ・職員給料、非常勤職員給与等の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・新型コロナウイルスの影響や同種の民間事業者との競合に伴う収入の減少がある中で、経費削減による支出の減少により、収支差額は黒字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書などを確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比減であり、収支差額は改善されており、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、安定性は優良、収益性、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	良好
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里三丁目8番16号
指定管理者	名称	社会福祉法人東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ)40名 認知症対応型通所介護(認知デイ)12名 * 各々介護予防含む</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：70.0%、認知デイ：67.0%</p> <p>2 高齢者福祉施設として関係法令を遵守し、生活相談員・介護士・看護師等の連携によってサービスの提供に努める。荒川区が推進する様々な介護予防事業にも積極的に取り組む。</p> <p>3 自立性の尊重と人権擁護を念頭に利用者の持つ身体の残存能力の維持と活用を図る。特に食事、入浴、トイレの介助等、個に応じた日常生活の改善、心身機能の維持向上を図る。</p> <p>4 利用者への適切なサービス提供と家族への情報提供を根幹として、信頼関係の構築に努める。利用者や家族からの相談や要望には迅速かつ適切な対応に努める。</p> <p>5 職員が高齢者福祉の従事者として研さんを積み重ね、サービスの一層向上に努める。全職員が連携し、事故を予防し、利用者が安全・安心なサービスを受けられるよう努める。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率69.1% 平均介護度1.9、認知デイ：利用率48.7% 平均介護度3.3</p> <p>2 全職員が連携し、介護関係法令に則り、利用者に適正かつ適切な介護サービスの提供した。また、荒川区の食・動クラブ事業を行い、介護予防事業にも積極的に取り組んだ。</p> <p>3 多職種連携により、体操・レクリエーションなどの活動支援や食事・トイレの介助を通して、利用者個々に応じた日常生活の改善や心身機能の維持向上に努めた。</p> <p>4 利用者の様子と家族からの連絡・相談を連絡帳で情報交換し、必要に応じて生活相談員が家族やケアマネージャーに情報提供や相談を行い、信頼関係を築いてきた。</p> <p>5 職場内研修、オンライン研修等を通して、介護福祉士の資格取得や認知症介護支援に取り組む施設認定などによりサービス向上に努めた。また、全職員で施設内事故を防止した。</p>		

法令基準等への適合状況				
確認項目			適合判断	
運営基準を満たしているか				
	運営規程を定めており、適切に守られている		○	
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○	
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○	
人員配置基準を満たしているか				
	管理者を配置している		○	
	看護職員、介護職員等を配置している		○	
設備基準を満たしているか				
	サービス提供に必要な設備を備えている		○	
			結果 適合	
その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、一般デイの利用率は69.1%、認知デイは48.7%であり、良好である。 ・自主的な取組については、勤労留学生の受入れを再開し、2名を受け入れた。また、ケアマネ、町会関係者等を招き、昼食試食会・マッサージや体操の体験のほか、落語などを提供する地域まつりを実施していることが評価できる。 				
総合的な利用者満足度				
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
利用率等は良好であるが、施設の安定的な運営のため、引き続き、収支の改善に向けた取組が必要である。				

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	100,556,085	101,656,679	111,769,000	113,515,799
	その他収入	3,152,732	3,152,778	4,213,000	2,924,759
	計	103,708,817	104,809,457	115,982,000	116,440,558
支出	運営費	8,109,704	8,612,329	8,985,000	9,245,151
	管理費	13,990,978	14,218,525	16,278,000	16,262,904
	本部経費				
	人件費	95,335,084	100,472,465	102,570,000	102,878,516
	修繕費	632,494	904,977	1,019,000	848,669
	その他支出	0	0	744,000	0
	計	118,068,260	124,208,296	129,596,000	129,235,240
収支差額		-14,359,443	-19,398,839	-13,614,000	-12,794,682
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が上回った。 ・給食費、消耗品器具備品費、教育指導費等の増加により、運営費は当初計画より決算額が上回った。 ・水道光熱費、研修研究費、職員被服費等の減少により、管理費は当初計画より決算額が下回った。 ・退職給付費等の増加により、人件費は当初計画より決算額が上回った。 ・新型コロナウイルスの影響や同種の民間事業者との競合に伴う収入の減少により、収支差額は赤字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は予算比減であり、収支差額は改善されており、経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性に課題があるが、安定性は優良、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	良好
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の赤字が続いており、施設の財務状況が悪いため、改善が必要である。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人奉優会
	所在地	世田谷区駒沢一丁目4番15号真井ビル5階
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		令和2年4月1日
指定期間		令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）38名 *介護予防含む</p>
令和4年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：67.6%</p> <p>2 オンラインプログラム等や設備を活用することで、多種多様なプログラム展開を図るとともに、機能訓練アプリを活用し、身体状況を可視化し、情報提供の幅を広げる。</p> <p>3 日常生活の困りごと（安否確認やゴミ出し等）に対応し、在宅生活継続の支援をする。地域住民にも支援を広げ、公共機関等のサービスに繋がる支援ができるよう努める。</p> <p>4 看護体制の充実を図り、在宅でも医療処置が必要な方、認知症の方の受入れを行い、家族の負担軽減と、利用者が希望する在宅生活を少しでも継続できるよう支援する。</p> <p>5 ネット環境やオンライン設備の活用により、老人センター、外部ボランティア、保育園児、体験学習の実習生等の多くの方と交流を図り、地域の方々との繋がりを深める。</p>		
令和4年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率54.6% 平均介護度2.2</p> <p>2 オンラインプログラムの活用、iPad、モニターを使用した体操、脳トレに加え、トルト（AI歩行分析）の活用により歩行状態を可視化し、日時生活の参考となる情報提供も行った。</p> <p>3 衣類の洗濯、利用日外を含めた夕食弁当の提供、居室内介助、ヘアカット、車椅子貸出しなど年間合計1,152件の支援を実施した。近隣住民への車椅子の貸出しも実施した。</p> <p>4 看護師配置を厚くして、医療依存度の高いバルーン1名、胃ろう4名、寝たきり4名、痰吸引2名、褥瘡1名、インスリン2名、ストマ1名、要介護4～5の方16名に利用いただけた。</p> <p>5 ボランティアさんによる「読み聞かせ」や老人センターとのオンライン連携など、幅広いプログラムを提供できた。地域交流を図り、園児から敬老会メッセージも頂いた。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用率については、54.6%と良好である。 ・自主的な取組については、お困り事支援、介護等体験事業、洗濯ボランティア受入れ、老人センター連携プログラム等を実施している。勤労留学生の受入れは新型コロナウイルス感染症予防のため実施されなかったが、サマーボランティアとして、オンラインで子どもにダンスなどの交流会を実施していることが評価できる。 			
総合的な利用者満足度			
利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が83%に達するなど、良好な評価を得ている。			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
利用率等は良好であるが、引き続き、維持・向上が必要である。			

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	85,938,799	75,290,303	70,206,532	71,633,681
	その他収入	0	0	255,250	0
	計	85,938,799	75,290,303	70,461,782	71,633,681
支出	運営費	12,237,313	12,210,529	12,998,914	13,242,431
	管理費	11,041,449	10,327,024	10,110,833	10,625,632
	本部経費				
	人件費	60,004,643	53,353,280	46,881,229	46,630,469
	修繕費	2,092,928	2,465,725	953,700	2,699,520
	その他支出	179,160	1,076,290	271,069	1,080,243
	計	85,555,493	79,432,848	71,215,745	74,278,295
収支差額		383,306	-4,142,545	-753,963	-2,644,614
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業収益は、当初計画より決算額が上回った。 ・水道光熱費、給食費等の増加により、運営費は当初計画より決算額が上回った。 ・保守料、事務消耗品費等の増加により、管理費は当初計画より決算額が上回った。 ・法定福利費の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・新型コロナウイルスの影響や同種の民間事業者との競合に伴う収入の減少により、収支差額は赤字となった。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書等を確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出共に予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出は増加するも許容範囲内であるが、予算対比収支の若干の悪化を招いている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認したが、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、安定性、活動性・健全性、成長性は優良、収益性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している。	優良
総合評価			
<p>介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>			

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川授産場
	所在地	荒川区東尾久四丁目3番7号
指定管理者	名称	公益社団法人荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久四丁目3番7号
施設開設年月日		昭和55年3月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
業務内容		荒川区立授産場条例の規定に基づく業務 (1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関する業務 イ：作業の相談及び指導に関する業務 (2) 施設の維持管理に関する業務 ア：設備及び付属設備の保守点検に関する業務 イ：設備の清掃に関する業務 ウ：備品の管理に関する業務 エ：その他の維持管理に関する業務 (3) その他区長が特に必要と認める業務
令和4年度の事業計画		
(1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを生かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生き甲斐づくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。 (2) 利用者の安定的な工賃確保のため、受注量の安定化に努める。 (3) 利用者の健康維持のために医師による健康診断を月に2回実施するとともに、作業の安全と健康増進に努める。 (4) 利用者等の個人情報については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。		
令和4年度の事業実績		
令和4年度末の利用者は9名(3年度末利用者：14名)であった。 受注については4社(3年度実績は7社)、受注額は2,941,481円(3年度受注額は3,351,858円)で約12.2%減であった。 1人あたりの月別平均工賃は28,011円(3年度：19,045円)、最高月は12月の53,822円(3年度最高月：12月34,351円)であった。 会議室の登録団体数：9団体(高齢者団体：9団体、一般団体：0団体)。利用は延べ83団体、2,376人の利用があった。 毎月2回(第2・4火曜日)、嘱託医による問診、血圧測定を行った。		

法令基準等への適合状況		適合判断
確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
荒川区立授産場指定管理者業務仕様書に則して適切に運営されている		○
苦情を受け付けるための窓口を設置している		○
非常災害対策を行っている		○
健康管理を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
施設長を配置している		○
作業指導員を配置している		○
設置基準を満たしているか		
作業室、作業設備など基準を満たした設備を設けている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
安定した工賃確保に努めている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用者の工賃確保のため効果的な受注に努めているものの、受注額は前年度比で約12.2%の減少となった。一人当たりの月別平均工賃は利用者の減少に伴い、前年度比で約32%の増加となった。
- ・自主的な取組については、節電への対応として、室内照明器具のLED化や間引き、自動販売機の照明の停止及び適切な空調温度の設定、昼休みの消灯等を徹底した。また、作業に伴う材料残渣は、極力発注者へ戻し、ごみの量を減らすことにより、排出費用を縮減した。

総合的な利用者満足度

- ・利用者アンケート結果では、「授産場の作業をこれからも続けていきたいですか」の問いに対し、「はい」が100%となっており、良好な評価を得ている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者の適正な工賃を確保するため、新たな発注先企業の開拓に努める必要がある。
- ・利用者数が減少傾向にあるため、新規利用者の確保に向けたPR活動を行う必要がある。

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	18,284,465	18,291,899	19,088,302	19,108,203
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	18,284,465	18,291,899	19,088,302	19,108,203
支出	運営費	338,400	406,080	419,328	406,080
	管理費	14,622,700	14,335,138	15,580,924	15,002,951
	本部経費	1,461,884	1,469,318	1,597,298	1,597,298
	人件費	1,401,159	1,401,159	2,052,868	1,896,917
	修繕費	553,388	563,904	1,035,182	897,490
	その他支出	0	0	0	0
	計	16,915,647	16,706,281	19,088,302	18,203,438
収支差額		1,368,818	1,585,618	0	904,765
区への返還額		925,306	1,028,448	0	599,204
精算後収支差額		443,512	557,170	0	305,561
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員給料、職員賞与、法定福利費等の減少により、人件費は当初計画より決算額が下回った。 ・管理費のうち、授産指導費はコロナの影響により受注件数が減少したことに伴い、指導員の出勤日数を減らしたため、経費の縮減ができた。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。 ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。 ・光熱水費を除く管理運営費収支差額については、当初計画（予定する収支差額）を上回ったため、超過した金額の1/2の額を区に返還した。 <p>< 本部経費の考え方について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。 					

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、勘定科目明細書などを確認し、会計手続が適正に行われていることを確認した。	良好
	予算管理が適正である	支出の予算との差額は許容範囲内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	管理運営費は予算対比微減であり、効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断、受診記録など確認したが、健康診断の受診義務が徹底しておらず未受診の事例があった。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性に課題があるが、安定性は優良、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営にあたり適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・施設及び付属設備の保全については、シルバー人材センターの会員による館内日常清掃及び植木剪定をはじめ各種設備保守を効果的、効率的に行い、適切な維持管理に努めている。
- ・法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	高齢者福祉課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの「生活介護」を実施する。 ・生活介護とは、常に介護を必要とする方に、日中において、排せつ、食事の介助等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する場である。
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心して快適に過ごせる環境の提供を行う。 ・日常的に運動やウォーキングなど、体を動かすメニューを取り入れ、健康維持に取り組む。 ・利用者が豊かな経験ができるプログラムを組む。 ・利用者の個別支援計画の充実を図る。 ・利用者の自己実現や障がい者理解・共生社会の推進を図る。 		
令和4年度の事業実績		
<p>【利用者】44名（定員47名） 令和5年3月末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの活動により、利用者に対する細かい配慮の実施が可能となり、落ち着いて過ごす方が増えた。 ・ウォーキングの機会を提供するとともに、理学療法士によるリハビリテーション等の個別訓練を行い、健康維持に取り組んだ。 ・プログラムの実施に当たっては、利用者から希望を募り、アロマやアート活動等を行った。 ・感染症対策として宿泊訓練を中止したが、代替イベントとしてバスハイクを実施した。 ・自治会を中心とした利用者の発意から、ペットボトルキャップの回収やランドセルのリユース活動を開始した。 ・記録ソフトを導入し利用者支援や健康に関する情報の一元管理を行うことで、職員間で利用者に関する情報を密に共有し、個別支援の充実につなげた。 ・施設公開や区役所本庁舎、ゆいの森でのアート展示等により活動の周知及び地域との交流を行った。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている	○	
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している	○	
看護職員及び生活支援員等を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小したイベントもあるが、バスハイク等の代替事業を実施している。
- ・施設公開や区役所本庁舎、ゆいの森でのアート展示等により活動の周知を行っている。
- ・園庭での大豆栽培を通じた有志住民との協働や、サマーボランティアの受け入れ等、地域との交流を積極的に行っている。
- ・災害対応として定期的に福祉避難所開設訓練や避難訓練を実施するとともに、備蓄品の整備や補充を行っている。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、ワクチン巡回接種、マスク着用、検温・手指消毒の実施のほか、オンラインを活用したプログラムを実施する等、引き続き適切に取り組んでいる。

総合的な利用者満足度

利用者アンケートでは、38名中25名（66%）が満足、3名（8%）がやや満足と回答している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・引き続き、災害時の避難行動の見直しや近隣との協力体制強化等の災害時対応を適切に実施するとともに、感染症対策を継続しながらの活動・行事メニューの更なる充実を図る必要がある。
- ・利用者における障がいの重度化や高齢化に伴う身体機能の低下等に対応するプログラムや支援を実施していく必要がある。

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	314,399,468	315,635,710	310,302,847	307,973,287
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	1,110,000	0	0	0
	計	315,509,468	315,635,710	310,302,847	307,973,287
支出	運営費	10,213,662	9,222,875	13,168,414	8,658,456
	管理費	64,685,534	62,527,199	74,463,367	70,076,772
	本部経費	2,539,279	2,575,025	2,960,427	2,215,385
	人件費	209,544,031	212,056,524	215,133,626	200,803,951
	修繕費	4,345,718	2,864,887	2,672,560	2,549,041
	その他支出	0	0	0	0
	計	288,788,945	286,671,485	305,437,967	282,088,220
収支差額		26,720,523	28,964,225	4,864,880	25,885,067
区への返還額		26,720,523	28,964,225	0	18,907,944
精算後収支差額		0	0	4,864,880	6,977,123
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収支当初計画及び決算額は、荒川生活実習所・荒川福祉作業所の合計である。 ・ 運営費は感染対策により、予定どおり実施できなかった事業があったため、当初計画より決算額が下回った。なお、感染症の影響で未使用となったことが明確な経費分の指定管理料は減額した。 ・ 管理費について物価高騰等の影響がある中、安価なものの購入や無料及びオンライン開催の研修を積極的に活用するなど節約の取組もあり、管理費は当初計画より決算額が下回った。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度より新たな協定書を締結し、経費区分ごとの精算を行っている。 ・ 人件費及び修繕費は当初計画の範囲内の実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。 ・ 管理運営費のうち光熱水費は実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。 ・ 光熱水費を除く管理運営費の収支差額については、当初計画を上回ったため、超過した金額の2分1を区へ返還した。 <p>< 本部経費の考え方について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。 					

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳書等を審査した結果、会計処理は適正に行われていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	支出において予算と乖離があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等、合理的な理由が示されており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事業の中止等により縮減された費用がある一方で、経費削減の取組も実施されており、効果的な活用がされている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、概ね全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、安全性は良好、成長性、活動性・健全性は優良である。安定的・継続的な運営にあたって適正な財務力を有している。	優良
総合評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流及び災害時対策については極めて良好に対応していること、また、感染症対策により予定どおり実施できなかった事業があったが、代替事業を実施する等サービス向上を図っており、適切な施設管理、運営に取り組んでいる。 ・加えて財務面については優良、労務面については良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 			

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの「就労継続支援B型」、「就労移行支援」を実施する。 ・就労継続支援B型とは、一般企業等での就労が困難な方に、雇用契約を結ばずに働く場を提供するとともに、知識及び能力向上のために必要な訓練を行う場である。 ・就労移行支援とは、一般企業等への就労を希望する方に一定期間にわたり就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行う場である。
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型については、工賃収入増を図るほか、作業以外にも、高齢化への対応から生活能力の維持にも配慮し、体操等を取り入れたプログラムを提供する ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・家庭及び関係機関との連携並びに地域との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
令和4年度の事業実績		
<p>【利用者】就労継続支援B型 40名（定員48名）、就労移行支援1名（定員7名） 令和5年3月末</p> <p>【就労継続支援B型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内企業の新規取引先や共同受注の開拓などにより、受注作業の確保に努め、平均支給工賃月額は当初目標の8,000円を上回り、10,327円であった。 ・高齢化対策の一環として、定期的にはばん座位体操とウォーキングを実施した。 ・感染症対策として宿泊訓練を中止したが、代替イベントとしてサンパール荒川にてフォークデュオによる出張コンサートを観覧した。 ・施設公開や、あらかわマルシェ等の他作業所との連携によるイベントへの出店などにより、施設活動の周知及び地域との交流を行った。 <p>【就労移行支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して企業見学を3件、企業実習を1件実施し、就労に向けた経験を積むことが出来た。 ・就労継続支援B型の利用を希望する特別支援学校卒業生に向けて、就労アセスメントを10件実施した。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている	○	
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している	○	
看護職員及び生活支援員等を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小したイベントもあるが、出張コンサートの観覧等の代替イベントを実施している。
- ・施設公開や福祉関連イベントに積極的に参加し自主生産品の販売等を行うことで、賃金向上だけでなく活動の周知や地域との交流も行っている。
- ・就労移行支援サービス利用者に対して企業見学を3件、企業実習を1件実施し、就労に向けた経験を提供している。
- ・企業の新規取引先を開拓する等受注作業の確保に努め、平均支給工賃月額も当初目標を上回った。
- ・災害対応として定期的に福祉避難所開設訓練や避難訓練を実施するとともに、備蓄品の整備や補充を行っている。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、ワクチン巡回接種、マスク着用、検温・手指消毒の実施のほか、感染症予防対策講座を利用者に対して実施する等、適切に取り組んでいる。

総合的な利用者満足度

作業所に通うのが好きかというアンケートでは、回答数33人中28人（約85%）が「好き」と回答している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・目標工賃達成指導員の新規配置や区内作業所との連携による地域での常設販売等により、販路開拓を進め、更なる賃金向上に取り組む必要がある。
- ・利用者の高齢化、障がいの重度化が進んでいるため、対応するプログラムや支援を実施していく必要がある。

施設決算状況					
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	314,399,468	315,635,710	310,302,847	307,973,287
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	1,110,000	0	0	0
	計	315,509,468	315,635,710	310,302,847	307,973,287
支出	運営費	10,213,662	9,222,875	13,168,414	8,658,456
	管理費	64,685,534	62,527,199	74,463,367	70,076,772
	本部経費	2,539,279	2,575,025	2,960,427	2,215,385
	人件費	209,544,031	212,056,524	215,133,626	200,803,951
	修繕費	4,345,718	2,864,887	2,672,560	2,549,041
	その他支出	0	0	0	0
	計	288,788,945	286,671,485	305,437,967	282,088,220
収支差額		26,720,523	28,964,225	4,864,880	25,885,067
区への返還額		26,720,523	28,964,225	0	18,907,944
精算後収支差額		0	0	4,864,880	6,977,123
(施設決算状況の説明)					
<p>< 決算の特徴的事項について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収支当初計画及び決算額は、荒川生活実習所・荒川福祉作業所の合計である。 ・ 運営費は感染対策により、予定どおり実施できなかった事業があったため、当初計画より決算額が下回った。なお、感染症の影響で未使用となったことが明確な経費分の指定管理料は減額した。 ・ 管理費について物価高騰等の影響がある中、安価なものの購入や無料及びオンライン開催の研修を積極的に活用するなど節約の取組もあり、管理費は当初計画より決算額が下回った。 <p>< 指定管理料の精算について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度より新たな協定書を締結し、経費区分ごとの精算を行っている。 ・ 人件費及び修繕費は当初計画の範囲内の実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。 ・ 管理運営費のうち光熱水費は実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。 ・ 光熱水費を除く管理運営費の収支差額については、当初計画を上回ったため、超過した金額の2分1を区へ返還した。 <p>< 本部経費の考え方について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。 					

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳書等を審査した結果、会計処理は適正に行われていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	支出において予算と乖離があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等、合理的な理由が示されており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事業の中止等により縮減された費用がある一方で、経費削減の取組も実施されており、効果的な活用がされている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、概ね全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、安全性は良好、成長性、活動性・健全性は優良である。安定的・継続的な運営にあたって適正な財務力を有している。	優良

総合評価

- ・利用者満足度、地域交流や災害時対応のいずれも極めて良好に対応していること、また、工賃向上に向けた新規取引先の開拓や、販売機会の創出に努めており、適切な施設管理、運営に取り組んでいる。
- ・加えて財務面については優良、労務面については良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久六丁目17番3号 / 荒川区西尾久四丁目6番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日 / 平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの「生活介護」を実施する。 ・生活介護とは、常に介護を必要とする方に、日中において、排せつ、食事の介助等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する場である。
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上に向けた研修及び勉強会等を実施し、障がい特性の理解や支援方法等のスキルアップを図る。 ・職員が連携し利用者一人一人の健康状態に即した支援を行うことにより能力の維持向上を目指す。 ・感染症対策として中止する事業については代替事業を実施し利用者の意欲や向上に努める。 ・利用者アンケート、保護者会等を実施し、利用者、保護者の意見を聞き取り運営に活かす。 ・地域の方々との交流や日常生活、行事へのボランティアの受入を通じて地域での豊かな生活に繋げるとともに、地域の方々の障がいへの理解を促進する。 ・危機管理として感染症対策や地震、火災等を想定した各種訓練を行う。 		
令和4年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は本所56名（定員58名）/分場18名（定員19名） 令和5年3月末 ・職員のスキルアップを目的とした外部研修（30回、37名）への参加、内部研修（7回、153名）を開催した。 ・個別支援においては施設内の状況だけでなく、利用者の24時間の生活を意識した支援計画を作成した。 ・感染症の影響による施設活動の制限に対して、宿泊訓練の代替としてグループ単位での外出活動等取り組み可能な範囲で代替事業を実施した。 ・保護者会や家族面談等を実施し、利用者や保護者とのコミュニケーションを図り連携を密にした。 ・施設公開やボランティアの受入等を通じた地域交流を実施した。 ・区役所本庁舎や近隣店舗等への作品展示を通じた施設紹介や障がい者の理解促進を行った。 ・感染症対策として施設内の消毒や職員及び利用者の検温、利用者へのワクチン接種を実施した。 ・災害対策として月1回の防災訓練及び避難訓練等の実施、台風や大雨予報の際には、土嚢や吸水具を設置し、浸水対策等を実施した。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている	○	
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している	○	
看護職員及び生活支援員等を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部中止等、施設活動の制限を行ったが、外部講師の代わりに支援員主体で事業を実施するなど利用者のニーズに合わせた支援を行った。
- ・施設公開や区役所本庁舎、ゆいの森あらかわ等の区内施設や近隣店舗での作品展示等、利用者の活動の周知や障がい者理解促進を実施した。
- ・サマーボランティアスクールにおけるボランティアの受入や地域住民参加型の避難訓練を通じて消防署の方や町会、関係機関の職員と、消火器訓練やAED訓練等を実施し、地域交流を実施した。
- ・災害時の対策として毎月1回は地震、家事、台風等を想定した防災訓練及び避難訓練を実施したことや福祉避難所の開設準備として、発電機、投光器等の設置訓練等を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、ワクチン巡回接種、マスク着用、検温・手指消毒の実施等、適切に取り組んでいる。

総合的な利用者満足度

- ・利用者を対象とした満足度アンケートでは、施設でのサービス全般について回答数66人中、49人（74%）がとても満足（21人）、ほぼ満足（28人）と回答をしている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者アンケートの満足度は良好ではあるが更なる満足度向上に繋がる施設運営が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により制限を受けている事業について、実施方法及び内容の工夫等を行い利用者の満足度向上に繋がる施設運営を行う。
- ・引き続き、防災訓練や作品展示等の災害対策や地域交流を継続して行い、障がい福祉の理解促進を図っていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	339,272,960	358,174,381	371,300,085	372,828,173
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	757,000	0	0	0
	計	340,029,960	358,174,381	371,300,085	372,828,173
支出	運営費	7,058,840	8,374,238	11,475,195	8,574,257
	管理費	79,222,498	81,846,168	87,103,545	89,574,776
	本部経費	3,073,863	3,203,079	3,774,544	3,465,090
	人件費	215,530,378	233,276,485	265,151,214	252,285,380
	修繕費	5,521,278	3,026,631	2,591,751	1,193,528
	その他支出	0	0	0	0
	計	307,332,994	326,523,522	366,321,705	351,627,941
収支差額		32,696,966	31,650,859	4,978,380	21,200,232
区への返還額		22,546,629	24,978,002	0	15,242,954
精算後収支差額		10,150,337	6,672,857	4,978,380	5,957,278

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・運営費は、感染対策により予定どおり実施できなかった事業があったため、当初計画より決算額が下回った。なお、感染症の影響で未使用となったことが明確な経費の指定管理料は減額した。
- ・管理費については、光熱水費の価格高騰の影響もあり、当初計画より決算額が上回った。うち、光熱水費を除く管理費については、安価なものの購入をはじめ、無料やオンライン開催の研修を積極的に活用するなど節約の取組もあり、当初計画より決算額が下回った。

< 指定管理料の精算について >

- ・人件費及び修繕費は当初計画の範囲内の実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。
- ・管理運営費のうち光熱水費は実費精算とし、当初計画を超えて支出した額は指定管理料を追加支出した。
- ・光熱水費を除く管理運営費の収支差額については、当初計画を上回ったため、超過した金額の2分1を区へ返還した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳書等を審査した結果、会計処理は適正に行われていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	支出において予算と乖離があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等、合理的な理由が示されており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事業の中止等により縮減された費用がある一方で、経費削減の取組も実施されており、効果的な活用がされている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、安全性は良好、成長性、活動性・健全性は優良である。安定的・継続的な運営にあたって適正な財務力を有している。	優良

総合評価

- ・利用者満足度は良好で、地域交流及び災害時対応については極めて良好に対応していること、また、感染症対策により予定どおり実施できなかった事業があったが、代替事業を実施する等サービス向上を図っており、適切な施設管理、運営に取り組んでいる。
- ・加えて財務面・労務面については優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	障害者福祉会館(アクロスあらかわ)
	所在地	荒川区荒川二丁目57番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成9年8月22日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成26年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		障がい者が地域の中で豊かに暮らしていくことを目指し、障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場を提供するとともに、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会などの各種事業を実施する。

令和4年度の事業計画

- ・障がいのある方や団体の活動と交流の場を提供し、障がい者や地域住民の親睦と相互理解を図る。
- ・障がい者の生活向上に資する情報を収集・提供していくことで、障がい者の自立生活の質を向上させる。
- ・避難訓練や防災訓練を通して、災害発生時の対応や福祉避難所の開設について学ぶ機会を提供する。
- ・特定相談事業において、障がい当事者や家族、関係機関との調整等や、公的な制度やサービスだけでなく、民間の支援団体などが行うインフォーマルなサービスや社会資源等につなげることで、障がい者の地域での生活を支えていく。

令和4年度の事業実績

- ・施設利用者総数35,604人(令和3年度21,823人)
- ・貸室利用件数(貸出率)：多目的ホール 1,766件(84.6%)
：第一・第二会議室 1,198件(57.4%)
：第三会議室 302件(28.9%)
- ・特定相談支援事業(計画作成及びモニタリング) 1,101件
- ・文化・教養講座事業(リズム体操教室)
- ・IT講習会事業(障がい者向けパソコン入門講座)
- ・ふれあい交流事業(交流講座、登録団体交流会等)
- ・アクロス・連合会まつり、障害者週間関連事業パネル展示会等の実施
- ・近隣町会との防災合同訓練実施
- ・街なか避暑地・街なかほっとサロンの開設

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
障がい者が利用しやすい施設の運営、情報収集及び提供ができています	○	
個人情報などの管理が適正である	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している（特定相談支援事業）	○	
運営や利用サービスのために必要な職員数を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
運営に必要な設備及び備品等を備えている	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・地域交流では、交流講座やステージ発表会、福祉教育講座等を通じて障がいのある方とない方の交流を図っている。また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会館の利用制限や人数制限を遵守した形でアクロスまつりを3年ぶりに開催しており、地域住民との交流を図っている。
- ・災害時対応では、地震及び水害の防災マニュアルを整備しているほか、町会との合同による防災訓練を実施する等、災害発生時にも地域の協力が得られる環境を整えている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスク着用や施設入館時の検温と消毒を徹底している。また、施設の貸出しや事業・行事等にて利用制限や人数制限を設けており、適切な対策を講じている。

総合的な利用者満足度

利用者調査では、総合的な評価で回答数170人中123人（72%）が「大変良い（48人）」、「良い（75人）」と回答をしている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

新型コロナウイルス感染症に対する社会的な対応が緩和傾向となっているが、引き続き、感染拡大防止に努めるとともに、利用者のニーズに沿った事業を展開し、利用者主体の会館運営を行うことで利用拡大を図っていく。また、エネルギー価格高騰の影響を受けていることから、使用していない部屋の消灯や、天気や時間帯により廊下やロビーの照明を消灯し、経費の削減に努めていく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	81,150,214	78,294,273	84,987,718	84,944,271
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	81,150,214	78,294,273	84,987,718	84,944,271
支出	運営費	18,802,151	17,838,056	26,707,779	18,748,004
	管理費	21,686,540	24,347,309	27,707,588	27,048,282
	本部経費	400,939	376,833	444,064	340,829
	人件費	27,023,553	27,110,956	28,709,135	28,567,899
	修繕費	3,167,230	1,264,382	1,436,136	738,730
	その他支出	0	0	0	0
	計	70,679,474	70,560,703	84,560,638	75,102,915
収支差額		10,470,740	7,733,570	427,080	9,841,356
区への返還額		8,175,093	5,522,883	0	8,799,773
精算後収支差額		2,295,647	2,210,687	427,080	1,041,583

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・ 原材料や人件費高騰の影響を受け、光熱水費や施設管理に係る委託費の支出が増加し、管理費の決算額が令和3年度と比較すると増加している。
- ・ 運営費は特定相談支援事業の実績が少なかったことにより当初計画より決算額が下回った。なお、特定相談支援事業に係る経費は実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で未使用となったことが明確な経費の指定管理料は減額した。

< 指定管理料の精算について >

- ・ 人件費及び修繕費は当初計画の範囲内の実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。
- ・ 管理運営費のうち光熱水費は実費精算とし、当初計画を超えて支出した額は指定管理料を追加支出した。
- ・ 光熱水費を除く管理運営費の収支差額については、当初計画を上回ったため、超過した金額の2分1を区へ返還した。

< 本部経費の考え方について >

- ・ 本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳書等を審査した結果、会計処理は適正に行われていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	支出において予算と乖離があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等、合理的な理由が示されており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事業の中止等により縮減された費用がある一方で、経費削減の取組も実施されており、効果的な活用がされている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、安全性は良好、成長性、活動性・健全性は優良である。安定的・継続的な運営にあたって適正な財務力を有している。	優良

総合評価

- ・利用者満足度は良好で、地域交流及び災害時対策については極めて良好に対応していること、また、感染症対策により会館の利用制限や人数制限を行いながらもアクロスまつりの実施等、様々な事業継続に努めており、適切な施設管理、運営に取り組んでいる。
- ・加えて財務面・労務面については優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	精神障害者地域生活支援センター(アゼリア)
	所在地	荒川区東尾久五丁目45番11号
指定管理者	名称	社会福祉法人トラムあらかわ
	所在地	荒川区東尾久三丁目20番10号 ベルメゾンエス2階
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成15年1月
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、相談を行い、精神障がい者の社会復帰と自立、社会参加を促進するため、憩いや地域交流ができる場を提供し、精神ボランティア活動等の拠点とする。

令和4年度の事業計画

精神障がい者が地域社会で生活しやすい環境づくりに努めることを基本方針とし、以下の取組を行う。

- ・障がい者の地域活動支援として、グループ活動や各種講座、利用者ミーティング等を実施する。
- ・地域交流活動として、社会福祉協議会や中高生ホットステーション等と連携して、利用者の地域交流の機会を創出する。
- ・相談支援として、電話や面接による相談のほか、特定相談支援事業として、福祉サービス等利用計画の作成を実施する。

令和4年度の事業実績

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飲食や発声を伴うプログラムを休止せざるを得なかったが、人数制限については、徐々に緩和する方向に転換することができた。

プログラム参加者2,618人

【実施プログラム内容等】

- ・創作的・レクリエーション的活動プログラム(レクリエーション・デイケア 等)
 - ・自主活動的プログラム(家族会の活動等)
 - ・地域交流プログラム(ボランティア活動、公園清掃等)
- デイケアとは、生活のしずらさを抱えている方が、同じ立場の人たちと一緒に様々な活動を通して、生活の自立や暮らし方等について一緒に考える場

【その他の活動】

- ・相談支援事業 相談件数 25,370件
- ・特定相談支援事業件数 395件

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている	○	
個人情報などの管理が適正である	○	
人員配置基準を満たしているか		
施設長を配置している	○	
指導員を2名以上配置している	○	
設備基準を満たしているか		
創作活動の機会の提供に必要な設備及び備品等を備えている	○	
社会との交流促進等に必要な設備及び備品等を備えている	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・地域交流では、利用者ミーティング等を通じて、ニーズに沿った事業の見直しを図り、利用者が利用しやすいプログラム活動や各種講座を実施した。
- ・年2回の防災訓練を実施するとともに、BCP（事業継続計画）や洪水時の避難確保計画の策定・更新を行った。福祉避難所用・アゼリア用それぞれ防災備品を確認し、適宜買い替えを行った。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、換気・マスクの着用・消毒の徹底を引き続き行った。利用者がPCを利用する際に職員と接触せずに手続きできるように工夫した。

総合的な利用者満足度

- ・利用者アンケートの総合評価では、回答数43人中18人（41.8%）が「満足」、15人（34.9%）が「どちらかといえば満足」と回答している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、イベントやプログラムの再開に伴い、来館者数の増加が見込まれる。利用者が安心して施設を利用できるよう、引き続き、感染症対策を行う。
- ・利用者からの意見に傾聴するとともに、利用者ミーティングや利用者アンケートを活用し、満足度の高い事業の実施、施設運営に取り組んでいく。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	65,819,341	68,922,559	68,812,399	69,256,747
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	65,819,341	68,922,559	68,812,399	69,256,747
支出	運営費	8,242,700	9,225,844	9,577,999	8,929,708
	管理費	10,336,655	11,871,988	12,077,222	12,069,301
	本部経費	3,140,413	3,811,890	3,870,284	3,870,284
	人件費	40,422,132	40,138,865	43,587,415	42,925,781
	修繕費	133,760	227,700	275,000	604,692
	その他支出	0	0	0	0
	計	59,135,247	61,464,397	65,517,636	64,529,482
収支差額		6,684,094	7,458,162	3,294,763	4,727,265
区への返還額		2,487,236	3,948,371	0	1,349,487
精算後収支差額		4,196,858	3,509,791	3,294,763	3,377,778

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・運営費は特定相談支援事業の実績が少なかったことにより当初計画より決算額が下がった。
なお、特定相談支援事業に係る経費は実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。
- ・修繕費は予定外の工事(網戸の設置)を実施したことにより、当初計画を上回った。

< 指定管理料の精算について >

- ・人件費は当初計画の範囲内の実費精算とし、余剰額は全額区へ返還した。
- ・管理運営費のうち光熱水費は実費精算とし、当初計画を超えて支出した額は指定管理料を追加支出した。
- ・光熱水費を除く管理運営費の収支差額については、当初計画を上回ったため、超過した金額の2分1を区へ返還した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳書等を審査した結果、会計処理は適正に行われていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	支出において予算と乖離があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等、合理的な理由が示されており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事業の中止等により縮減された費用がある一方で、経費削減の取り組みも実施されており、効果的な活用がされている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性は良好、安全性、活動性・健全性は優良である。安定的・継続的な運営にあたって適正な財務力を有している。	優良

総合評価

- ・利用者満足度はおおむね良好であり、地域交流、災害時対応についても極めて良好に対応している。また、イベントやプログラムを通じて、利用者や家族、地域等との関係づくりにも力をいれるなど、適切な施設管理・運営に取り組んでいる。
- ・加えて、財務面、労務面ともに優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久八丁目10番12号
指定管理者	名称	社会福祉法人上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員100名)</p> <p>0歳：11 1歳：15 2歳：18 3歳：18 4歳以上：38 計100名</p>
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階をふまえ、養護と教育を一体的に行い、家庭と緊密な連絡を取りながら、心身ともに健全で調和の取れた人格を形成する。 ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。また、園舎、園庭、遊具等の危険箇所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に、研修後は報告レポートにより、職員全員の共有に努める。 ・乳幼児が初めての集団生活で「食事・睡眠・排泄」ができ、物事に対する善悪の判断や人に対するやさしさ、命の尊さを大切に、地域の中で子どもがいきいきと健やかに育つよう、質の向上の評価プロセスまた保護者満足度を把握し、魅力ある保育を目指す。 ・事故発生時には、法人医療機関で迅速に対応する。苦情に対して迅速かつ適切に対応するためマニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し改善策を園内に掲示する等、積極的な対応を行う。 ・毎月避難訓練を行うほか、年2回、尾久消防署の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を取り、適切な管理を行う。 		
令和4年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針に則り、心身ともに健全で調和のとれた人格の形成に積極的に取り組んだ。 ・設備の補修や園舎・遊具等の危険箇所の点検を行い、適切に施設の維持管理を行った。 ・区の配置基準に基づき適切に職員を配置し、研修後はレポートにより職員全員が共有することで有効活用に努めた。 ・善悪の判断や人に対する優しさ、命の尊さを大切に、地域の中で育つ子どもが健やかに育つよう、保育の質の向上に努め保護者の満足度を把握した。 ・苦情解決マニュアルの作成や苦情箱の設置をし、迅速かつ適切に対応した。 ・毎月避難訓練を実施し、消防署の来訪指導を受けた。また非常用備蓄品の計画的な購入や、個人情報の管理等、適切に危機管理を行った。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わり合いに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・子どもが見守られ、安心できる環境の中で主体的に行動し、達成できたことで自信が持てるよう、興味・関心に寄り添う対応を心がけている。
- ・遊具の遊び方や想定されるアクシデントや予防策等について、職員間で情報を共有し事故防止の意識を高めている。
- ・クラスだよりに写真を掲載するほか、一人ひとりの成長記録で子どもの様子を保護者へ詳しく伝え、保護者からのコメントを受けることで共通理解に努めている。
- ・利用者満足度は87.8%（令和3年度第三者評価）と、高い評価を得ている。

総合的な利用者満足度

親子遠足により交流の機会ができたことに喜びの声が多数見られた。また、運動会やお遊戯会等の行事に関して、感染防止対策など開催に向けた園の工夫に高い評価が寄せられた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

子どもたちが自分達で収穫した野菜を調理することで喜びや食べ物大切さを知り、興味関心を深めているとともに、保護者に対してもおたよりをとおして情報の共有に努めている。引き続き園での活動を踏まえた家庭との連携を図る取組を継続してもらいたい。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	233,699,680	224,834,790	228,928,000	228,985,990
	その他収入	1,466,100	1,545,800	1,456,000	1,456,015
	計	235,165,780	226,380,590	230,384,000	230,442,005
支出	運営費	17,261,065	17,547,476	19,875,000	19,832,468
	管理費	4,820,639	5,403,902	7,746,000	7,774,122
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	164,585,772	170,460,635	178,395,000	178,274,389
	修繕費	1,059,282	11,463,543	900,000	896,753
	その他支出	1,251,486	1,382,177	1,600,000	1,600,064
	計	188,978,244	206,257,733	208,516,000	208,377,796
収支差額		46,187,536	20,122,857	21,868,000	22,064,209

(施設決算状況の説明)

- ・指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。
- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産（人件費・修繕費等）に積み立てている。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は1%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	園児の増加により収入が増加したため、職員増加による人件費、給食費、保育教材費が増加したが、概ね当初予算計画とほぼ等しく、経費の効果的活用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症によるクラスの休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性が良好であるが、安定性、活動性・健全性が優良であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好
総合評価			
サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住四丁目9番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員110名)</p> <p>0歳：12 1歳：18 2歳：20 3歳：20 4歳以上：40 計110名</p>
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育にあたって児童の最善の幸福を考慮し、恵まれた環境の中家庭や地域社会と連携をもち、心身ともに健康で調和のとれた発達を目指す。 ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。また園舎、園庭、遊具等の危険箇所の点検を行い、安全性向上に心がける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。仕事を通じての研修を中心に取組み、研修後は報告レポートにより、職員全員が共有できるように努める。 ・家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力のもと、子どもが健康かつ安全に生活を送れる環境を用意する。地域に根ざした保育運営を充実し、保護者満足度も把握した魅力ある保育を目指す。 ・事故発生時に、法人関連の医療機関で迅速に対応する。苦情に対しては苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し改善策を園内に掲示するなど積極的な対応を行う。 ・年間計画を立て毎月避難訓練を行うほか、年2回、消防署の来訪指導を受ける。法人全体として個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を取り、適切な管理を行う。 		
令和4年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の基本方針にのっとり、心身ともに健康で調和のとれた発達に向けて積極的に取り組んだ。 ・設備の補修・点検をきめ細やかに実施し、適切に施設の維持管理を行った。 ・区の配置基準に基づき適切に職員を配置したほか、仕事を通じた研修に取り組むとともに職員間で共有し、有効活用に努めた。 ・家庭や地域社会、保護者との連携を図り、子どもが健康かつ安全に生活を送れる環境を用意するよう努め、地域に根ざした保育運営を適切に実施した。 ・事故や苦情等に対し、迅速かつ適切に対応した。 ・毎月の避難訓練を欠かさず行い、個人情報に関する危機管理も適切に行った。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わり合いに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・「やりたい」「やりたくない」「できた」など、子ども一人ひとりの要求や内面の動きをくみ取り、主体的な保育の実践に取り組んでいる。
- ・安全配慮チェックリストを作成して日常点検に活かし、危険箇所の早期発見に努めているほか、職員間でヒヤリハット報告を行い全クラスで情報共有し共通認識を深めることで事故防止に努めている。
- ・一人ひとりの子どもが喜んで取り組んでいるものを保護者へ伝えるよう、連絡帳や個別成長記録を活用する等、情報共有を積極的に行っている。
- ・利用者満足度は85.7%（令和3年度第三者評価）と、高い評価を得ている。

総合的な利用者満足度

保育参加で子どもの普段の様子を見ることができ、質の高い保育が提供されていることに安心の声と高い評価が寄せられた。また、運動会等の行事で子どもの成長が感じられたという声が多数見られた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

異年齢交流の機会を活発につくり、低年齢の子どもに対しての優しい気持ちを育む等、子どもたち同士の交流を大切にしている。引き続き同様の取組を継続するとともに、区内事業者の活用や区民雇用率を上げる工夫も行ってもらいたい。

施設決算状況

年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	223,237,030	222,524,526	195,710,000	195,691,185	
	その他収入	1,489,500	1,621,650	1,330,000	1,333,750	
	計	224,726,530	224,146,176	197,040,000	197,024,935	
支出	運営費	18,984,619	20,433,938	19,605,000	19,545,147	
	管理費	4,817,833	4,166,235	5,448,000	5,474,715	
	本部経費	-	-	-	-	
	人件費	155,815,256	167,309,084	166,087,000	166,031,568	
	修繕費	12,355,636	1,945,561	1,000,000	957,208	
	その他支出	1,536,662	1,415,250	1,785,000	1,783,707	
	計	193,510,006	195,270,068	193,925,000	193,792,345	
収支差額	31,216,524	28,876,108	3,115,000	3,232,590		

(施設決算状況の説明)

- ・指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。
- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産（人件費・修繕費等）に積み立てている。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適切に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は1%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	園児の減少により収入が減少、それに伴い人件費も減少したが、消耗器具備品の見直しを行ったほか、福利厚生費を増加させるなど経費の効果的活用はされている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症によるクラス休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性が良好であるが、安定性、活動性・健全性が優れているので、安定的・継続的な運営を行う財務力を有している。	良好
総合評価			
サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目3番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員110名)</p> <p>0歳：15 1歳：19 2歳：20 3歳：20 4歳以上：36 計110名</p>
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの最善の利益を考慮し、個性をのばして、豊かな人間性が育つよう援助する。また、地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、地域で子どもを育てる環境づくりに努める。 ・園庭整備をし、安全で安らぎのある場として整える。また、保育室やその他の備品を使いやすいよう工夫し、子どもが安心して生活できるよう、環境を整える。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、職員それぞれの段階に応じて必要な専門知識や技術を身に付けられるよう努め、研修結果の報告・共有を図る。 ・子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合い、愛おしい存在として認められる中で様々な心の動きを体験し、互いに育ち合える保育の援助を行う。また、保護者との信頼の絆をしっかりと結ぶことを心がけるほか、地域に根ざした保育園を目指す。 ・アンケートの実施や意見箱の設置により、利用者意見をくみ取るよう努め、苦情に対しては対応マニュアルの整備等により、適切に対応する。 ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施する。また、事故未然防止策、ヒヤリハットを職員間で共有し、事故や怪我を未然に防ぐよう努める。 		
令和4年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針に則り、一人ひとりの子どもの個性をのばすため、地域の人々との交流を再開するなど地域で子どもを育てる環境づくりに努めた。 ・子どもが安心して生活できるよう、適切に施設の維持管理を行った。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置した。研修については、それぞれの段階、年数に応じて必要な専門知識や技術を身に付けられるよう工夫し、研修成果の報告・共有を図った。 ・子どもたち一人ひとりをいとおしい存在として受け止め、自信・満足感・意欲を持ち互いに育ち合える保育を実施した。また、保護者との信頼を築けるよう心がけた。 ・アンケートの実施やご意見箱の設置により、利用者の意見を汲み取り、苦情に対しては、対応マニュアルの整備により、適切に対応している。 ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施するとともに法人全体の個人情報保護規定を会議にて読み合わせをしたり、それに基づいた職員研修を実施し、危機管理を徹底した。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・子どもの「やってみたい」という思いを実現させるよう、子どもが好きな玩具を自由に出して主体的に遊ぶことができる環境を整えている。
- ・自由保育の中でも子どもの安全を守れるよう、職員同士の声掛けや情報交換を行い、どの職員でも対応できる環境を整えている。
- ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施することで危機管理を徹底したほか、個人情報保護についても読み合わせや職員研修を行う等職員の能力向上に努めている。
- ・利用者満足度は81.0%（令和3年度第三者評価）と、高い評価を得ている。

総合的な利用者満足度

親子で参加できる遠足等の行事に、友だちとの様子を見ることができたという喜びの声が多く寄せられた。また保育の様子のZOOM配信等、様々な園の工夫に対し高い評価を得ている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

ろう学校の子どもや敬老会との交流を行う等、様々な人とのかかわりを持ち理解を深めている。引き続き地域に根差した交流を大切にする取組を行ってほしい。

施設決算状況

年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	231,203,980	215,382,490	236,672,000	235,743,251	
	その他収入	2,748,867	2,739,642	2,998,000	3,040,369	
	計	233,952,847	218,122,132	239,670,000	238,783,620	
支出	運営費	18,942,535	18,808,023	19,710,000	19,919,004	
	管理費	12,749,848	12,844,720	11,695,000	11,529,273	
		本部経費	—	—	—	—
	人件費	188,185,636	175,511,132	187,268,000	187,520,855	
	修繕費	790,592	764,770	800,000	761,484	
	その他支出	2,526,650	3,341,495	2,876,000	2,889,200	
	計	223,195,261	211,270,140	222,349,000	222,619,816	
収支差額	10,757,586	6,851,992	17,321,000	16,163,804		

(施設決算状況の説明)

- ・指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。
- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産（人件費・修繕費等）に積み立てている。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算と実績差異は3%以内であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年より園児が増加したので、園児に対応した適正人員を配置するとともに、コロナで中止していた行事も再開しており、経費の効果的活用は行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たして労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症によるクラス休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の過去3期の法人決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性に課題があるが、安定性は優良、活動性・健全性、成長性は良好である。安定的・継続的な運営に当たり適正な財務力を有している、	良好
総合評価			
サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目5番5号
指定管理者	名称	株式会社こどもの森
	所在地	国分寺市光町二丁目5番1号
施設開設年月日		平成18年1月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年1月1日
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 119名)</p> <p>0歳：9 1歳：18 2歳：18 3歳：24 4歳以上：50 計119名</p>

令和4年度の事業計画

- ・子ども・保護者・行政すべてが幸せな状況を築けるよう、3つの方針のもとに取り組む。質のよい保育の実施、使い易い保育サービスの提供、財政負担の軽減
- ・職員一人ひとりが当事者意識を持って、積極的に環境整備に取り組み、保育中の事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努めるほか、職員の環境整備に対する意識向上のため、専門講師による研修を定期的実施する。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。グループ力を活かした他園見学や経験別研修を実施し、保育技術等の専門的な講習や救命講習等の参加についても積極的に働きかける。また研修で学んだことを職員会議等で情報共有し、日々の保育に活用する。
- ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に、生きる力を育て「輪・和の保育」を創造することを理念として保育を実施する。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、父親の子育てに対する意識喚起、在宅育児支援など積極的に行う。専門家による英語、音楽、体操指導等を通して、子どもが多く体験ができ、就学準備も見据えた機会を設ける。
- ・定期的にアンケート調査を行い、保護者が意見を言いやすい環境になるよう努め、苦情に対しては迅速な対応を心がけ、保護者にはアンケートの結果を公表し、園のより良い運営を行う。
- ・全職員に対する危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守の徹底を図るほか、他園の怪我ヒヤリハット事例等情報を共有することで、事故等の防止に役立てる。また、事故・災害発生時に法人本部、地域の関連機関と連携する体制を強化する。毎月の避難訓練の実施や水害への備えも訓練等に取り組むことで万全にし、有事の際の保護者への情報伝達として災害伝言掲示板等活用する。

令和4年度の事業実績

- ・基本方針に則り質のよい保育の提供を目指し、経験年数に合わせた研修、歳児別の研修、個人に合わせた研修等、様々な分野の研修に参加し職員会議等で報告する場を作り、園全体で取り組んだ。
- ・職員全員が積極的に環境整備に取り組み、事故等を防止するため施設の適切な維持管理に努めた。
- ・区の配置基準に基づき適切に職員を配置したほか、他園見学、経験別研修をはじめ、専門的な内容の研修を積極的に実施した。
- ・食育について、野菜の栽培・収穫・クッキング保育等をおし、楽しく食べること、豊かな人間性を育てることを実施するほか、地域に開かれた保育園として園庭開放や育児相談・フォトレッスンを実施する等、積極的に在宅育児支援に取り組んだ。
- ・利用者からの意見や苦情について、定期的にアンケートを実施し、内容を必ずフィードバックし、誠意をもって迅速に対応した。
- ・全職員に対する危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守の徹底を図る等、適切な危機管理を行った。

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わり合いに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・園内環境では、整理整頓・清潔面だけでなく、家庭的な環境づくりに力を入れている。
- ・絵カードを使って歌を歌う等、子どもたちが主体的に楽しんで活動できるように工夫している。
- ・毎日のマラソンや体操を実施し、子どもたちの体力増進に努めている。
- ・行事ごとに保護者へのアンケート調査を行う、ご意見箱を設置する等、保護者が意見を言しやすい環境になるよう努めている。
- ・利用者満足度は81.9%（令和2年度第三者評価）と、高い評価を得ている。

総合的な利用者満足度

遊び・活動など保育内容が子どもの発達に合っている、室内遊びと外遊びのバランスがとれている、食事内容、職員の子ども・保護者に対する接遇等について、高い評価が寄せられた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

体操・音楽等、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる独自の取組を行っている。今後も同様の取組を継続するとともに、区内事業者の活用や区民雇用率を上げる工夫も行ってもらいたい。

施設決算状況

年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	192,367,947	171,764,879	164,500,000	165,018,280	
	その他収入	1,254,757	1,758,907	1,050,000	1,657,451	
	計	193,622,704	173,523,786	165,550,000	166,675,731	
支出	運営費	12,273,381	11,192,017	15,250,000	10,634,578	
	管理費	51,464,263	47,979,954	50,930,000	43,856,689	
	本部経費	—	—	—	—	
	人件費	101,913,709	88,027,676	87,500,000	81,848,315	
	修繕費	251,168	236,572	400,000	38,911	
	その他支出	1,194,750	1,159,500	0	1,081,750	
	計	167,097,271	148,595,719	154,080,000	137,460,243	
収支差額	26,525,433	24,928,067	11,470,000	29,215,488		

(施設決算状況の説明)

- ・指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。
- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産（人件費・修繕費等）に積み立てている。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績差異が10%以上であり、予算管理面でやや改善の余地がある。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べ園児が減少し収入が大幅に減少しているため、人件費・運営費・管理費など経費を減少させている。人員配置・施設修理など経費の効果的活用を行っている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症によるクラス休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、活動性・健全性が良好であるが、収益性、成長性、安定性等が優れているため、安定した運営を行う財務力を有している。	優良
総合評価			
サービス面、労務面、法人の財務力は優良であり、財務面も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住保育園
	所在地	荒川区南千住六丁目35番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員159名)</p> <p>0歳：9 1歳：25 2歳：25 3歳：30 4歳以上：70 計159名</p>
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・人の幸せ、人を信じ、愛する心で地域の拠点を目指すことを理念とし、以下の考えで園の運営を行う。 一人ひとりの思いを大切に受け止める心の通った保育を心がける。一人ひとりの個性を大切に、認め合いながら豊かな人間性の育成を目指す。地域と共に育ち支え合う保育園として、子育てを支援し、すべての子どもの健やかな成長を応援する。 ・防錆、防腐などこまめにチェックし、補修メンテナンスを行う。電気設備・昇降機設備の点検の一括発注によるコスト削減や、照明・冷房スイッチのこまめな入切による光熱費の削減等、効率の良い維持管理に努める。また、園舎、園庭、遊具等の危険箇所の安全点検を実施する。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。新規採用職員には採用前に基本研修を実施するほか、年間を通じて高い意識とビジョンを持ち、様々な研修を開催する。人事評価により、常にチャレンジ精神を持ち、互いに刺激し合い学び合う環境を作る。 ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として隣人愛に基づく保育を行い、笑顔で挨拶ができ、心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育む。保護者への支援や地域の子育て支援の拠点となり、保育の質の向上や保護者満足度の把握にも努め魅力ある保育を目指す。 ・より良い保育と信頼関係作りができるように、様々な配付物や面談、日々の挨拶等を通じて保護者とのコミュニケーションに努める。苦情や相談・要望については、誠意を持って対応し、苦情箱の設置や内容の公表に努め、運営内容の向上に生かす。 ・施設の危険防止対策についてマニュアルやチェックリストに基づき危険箇所を点検する。毎月訓練を実施し、事故の際に正しい応急処置ができるよう努める。 		
令和4年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針にのっとり、一人ひとりの思いや個性を大切に受け止める保育を心がけ、子育て支援や子どもの健やかな成長を応援することに積極的に努めた一方で、不適切な保育が行われていた事実が確認された。 ・コスト削減に努めながら補修や点検を行い、安全を心がけて適切に施設の維持管理を行った。 ・区の配置基準に基づき適切に職員を配置するとともに、新人職員研修や様々な研修を行い有効的に活用した。また、労務関係について知識と実践を共有した。 ・子どもの心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育むよう努めたほか、近隣の学校との交流や地域の子育て支援の拠点として園庭開放を行った。また、保護者の満足度を把握しよりよい運営につなげ、魅力ある保育を目指した。 ・保護者との信頼関係を築きよりよい保育ができるよう、苦情箱を設置したりプライバシーに配慮してご意見を掲示する、日々の活動を掲示する等、コミュニケーションに努めた。 ・マニュアル等に基づき施設の危険箇所の点検を行うほか、災害時のマニュアル整備や毎月の避難訓練も欠かさず実施し、適切な危機管理を行った。 		

法令基準等への適合状況		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わり合いに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・マットやパーテーション等を利用してコーナーを作り、自分の気に入った玩具で遊べるように工夫している。幼児クラスでは廃材等を使いやすいように配置し好きな時間に工作ができる環境を整え、子どもたちの感性が豊かになるように努めている。
- ・定期的にヒヤリハット報告を行いリスクを最小限にできるよう努め、年度末にはヒヤリハットを集計して新年度の保育に活かしている。
- ・学年ごとの週の活動予定を事前に掲示して知らせるほか、子どもの様子の写真を掲載したおたよりの配布や掲示等、こまめな保護者への連絡を心がけている。
- ・利用者満足度は83.5%（令和2年度第三者評価）と、高い評価を得ている。
- ・子どもの人権を尊重しない不適切な保育が実施されていることが確認された。

総合的な利用者満足度

運動会や発表会等の行事に関し、コロナ禍においても安全に実施できるよう内容の検討や感染状況を確認した上での日程調整等、開催に向けた工夫に対し高い評価が寄せられている。子どもだけでなく保護者も楽しむことができたという声が多数見られた。一方で、不適切な保育が行われていたことについて、今後の保育を心配する等の多数の苦情が保護者から寄せられている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

野菜栽培や調理体験、体育あそび、かがくタイムといった子どもが興味を持てる独自の取組を行っている。また、毎日の活動をホワイトボードに写真と共に掲示することで、保護者への周知を行っている。引き続き家庭との連携を図る取組を継続してもらいたい。また、同法人以外が主催する研修を受講する等して、他のすぐれた保育の実践を取り入れるとともに、園内の保育士同士がお互いの保育について意見交換できるような風通しの良い組織風土の醸成に努めてほしい。

施設決算状況

年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	262,978,620	254,012,960	241,660,000	241,626,450	
	その他収入	1,676,300	2,058,650	2,100,000	2,134,100	
	計	264,654,920	256,071,610	243,760,000	243,760,550	
支出	運営費	27,013,787	26,985,025	30,834,000	30,616,188	
	管理費	5,972,124	8,498,020	8,844,000	9,613,440	
		本部経費	-	-	-	-
	人件費	192,121,953	208,217,310	200,952,000	200,810,212	
	修繕費	1,518,796	2,495,838	4,900,000	4,855,993	
	その他支出	1,355,128	1,605,750	2,025,000	2,024,852	
	計	227,981,788	247,801,943	247,555,000	247,920,685	
収支差額	36,673,132	8,269,667	-3,795,000	-4,160,135		

(施設決算状況の説明)

- ・指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適切に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は1%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	公定価格単価の高い0歳児の減少が顕著であるため収入が大きく減少し、それに伴い人件費も減少している。経費は効果的に活用しているが、修繕箇所の増加や物価高騰に伴う給食費の増加等により、収支差が大きくなっている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症によるクラス休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性が良好であるが、安定性、活動性・健全性等が優良であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好
総合評価			
<p>労務面は優良であり、財務面・法人の財務力も良好である。サービス面については、不適切な保育が行われていた事実が発覚したが、すでに是正されていることを確認している。これを契機として園内・園外・法人外とも意見交換する等の機会を設け、新しい保育の視点を常に取り入れ、保育の停滞を起こさないよう努めてほしい。以上のことから指定管理業務は適正とするが、区としても今後の園の保育の実践を注視していく。</p>			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住七丁目20番13号
指定管理者	名称	社会福祉法人東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町一丁目347番地
施設開設年月日		平成24年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年7月1日
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 （認可定員151名 子育て交流サロン併設）</p> <p>0歳：12 1歳：15 2歳：24 3歳：30 4歳以上70 計151名</p>
令和4年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> 運営の基本方針「子どもの最善の利益」「利用者本位」に基づき、以下の方針のもとに保育に取り組む。 良質な保育の提供 保護者のニーズに誠実に応える 地域の子育て支援への寄与 荒川区保育行政や方針の理解 職員全体で積極的に環境整備に取り組むことや専門家による安全点検を行い、施設の適正な維持管理に努める。 職員配置については、区の配置基準に基づき配置し、また、法人において経験に応じた充実した研修体系を整備し、園において積極的に参加するよう職員に働きかける。 保育所保育指針に沿った保育方針を基本とし、一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培う保育を実施する。豊かな情緒、知的好奇心、自分で考える力、元気なからだを育つように支援する。 地域間・世代間交流の実施や在宅育児支援を積極的に行う。 「ご意見箱」等により保護者の声を様々な方法で受け取り、苦情に対しては適切に対処し、原則として全て公開する。 全職員に対する危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守の徹底を図るほか、事故発生時に地域の関係機関と連携する体制を整備する。 		
令和4年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> 基本方針に則り、良質な保育の提供や地域子育てへの寄与について積極的に取り組んだ。 専門事業者による安全点検を実施したり、職員全体で環境整備に積極的に取り組むことで施設の適正な維持管理に努めた。 区の配置基準に基づき職員を配置したほか、職員に対し研修に参加するよう積極的に呼びかけた。一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培えるような保育を実施するとともに、家庭との信頼関係構築のため、個々の利用者に応じた育児支援の強化に取り組んだ。 子育て交流サロン等を通じて在宅児やその家庭を積極的に支援し、コロナ禍においても工夫して地域との交流を深めた。 ご意見箱を設置して保護者の意見や苦情を受け付けるとともに、苦情については解決体制を構築し適切に対応した。 全職員に対し危機管理マニュアル等の遵守の徹底を図ったほか、関係機関と連携した体制を整備するとともに、防災対策として避難訓練の毎月の実施等に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わり合いに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 保育所保育指針に沿った保育方針を基本とし、リトミック、野菜の栽培や調理体験、魚の孵化・爬虫類の観察を積極的に取り入れて、豊かな情緒や知的好奇心が育まれるよう努めている。
- ・ 「ご意見箱」により保護者の声を受け止め、また、いつでも個人面談ができることを保護者に通知する等丁寧に対応していることは、高く評価できる。
- ・ 利用者満足度は95.1%（令和3年度第三者評価）と、高い評価を得ている。

総合的な利用者満足度

子ども一人ひとりに寄り添い、子どもの発達や状況に合わせた臨機応変な対応に対して感謝の声が寄せられているなど、子どもの自主性を尊重した丁寧な保育ができています。また、コロナ禍における園生活や行事においても適切に対応しているとの声が寄せられています。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

日中の子どもの様子を記録に残し、担任以外の保育士でも子どもの様子を保護者に伝えられるようにする・小さな怪我でも連絡する等、保護者との連携を深める取組をしている。引き続き丁寧な保育を継続しつつ、区民雇用率を上げる工夫も行ってほしい。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	249,843,598	242,595,520	252,982,640	252,971,191
	その他収入	5,605,399	5,400,773	5,790,360	5,785,920
	計	255,448,997	247,996,293	258,773,000	258,757,111
支出	運営費	19,665,660	20,869,438	23,149,000	23,046,030
	管理費	24,854,939	25,904,335	28,747,000	28,709,258
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	170,512,047	160,657,506	171,127,000	171,115,879
	修繕費	521,750	428,121	240,000	236,900
	その他支出	0	0	0	0
	計	215,554,396	207,859,400	223,263,000	223,108,067
収支差額		39,894,601	40,136,893	35,510,000	35,649,044

(施設決算状況の説明)

- ・ 指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。
- ・ 収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産（人件費・修繕費等）に積み立てている。
- ・ その他の収入には子育てサロン事業の委託費を含む。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・実績の差異は3%以内で、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年度と比べて、処遇改善や加算の増加によって指定管理料が増加し収入も増加した。人件費、保育材料費、研修費などを増加させ、経費は効果的に活用している。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症による休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、成長性が良好であるが、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優良であり、安定した運営を行う財務力を有している。	優良
総合評価			
<p>サービス面、労務面、法人の財務力、財務面全て優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけ保育園
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日 (令和5年4月1日から公私連携型保育所へ移行)
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員156名) 0歳：12 1歳：20 2歳：24 3歳：30 4歳以上：70 計156名

令和4年度の事業計画

- ・子ども達が「健全な心身の発達を図る」ことを目指し、「皆で共に育ちあう、育てあう」関係を築ける保育を展開するため、次の保育目標を持って事業を行う。
心身ともに明るく元気な子ども 生命を大切にできる子ども 豊かな感性・創造し考える子ども 周りの人々に感謝できる子ども
- ・施設管理は、日常の目視による点検と定期点検を実施し、安全確保・維持に努める。職員の工夫や意見を積極的に聴取し、効率的に進めるようコスト意識を持って対応する。
- ・職員配置については、都・区の配置基準に基づき配置する。職員の育成については、施設内また外部の研修への積極的な参加に努める。
- ・保育目標のもと、保育指導計画及び評価、保育行事の実施、体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動の実施、特別支援児保育、小学校との連携、保護者支援、健康管理及び育成、食育及び給食の実施、環境衛生と安全管理等に積極的に取り組む。
- ・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等を実施し気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。
- ・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を行う。防災備蓄用品確保、使用方法の習得に努め、必要時に対応できるようにする。
- ・保育体験の受け入れや町会等との連携により、様々な世代・地域の方々と交流を図る。

令和4年度の事業実績

- ・基本方針に則り、「健全な心身の発達を図る」ことを目指した保育に積極的に取り組んだ。
- ・日常の目視による点検と定期点検の実施や職員の工夫・意見を取り入れると共に情報共有も行き、適切に施設の維持管理を行った。
- ・区の配置基準に基づき適切に職員を配置し、内部や外部の研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、健康管理や安全管理等を計画どおり適切に実施した。
- ・保護者の意見要望を気軽に聞く体制づくりに努め、懇談会や個人面談を実施し、また苦情等に対し「なんでもボックス」を設置する等、適切に対応した。
- ・所管消防署と連携し火災訓練を行うなど、適切に危機管理を行った。
- ・高校生の保育体験・大学生の保育実習の受け入れや地域のサンタの会と連携して高齢者へ絵をプレゼントする等、交流を図った。

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・乳幼児との関わり合いに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
台風や地震等の自然災害による被害に対し、災害時マニュアルを整備する等、緊急時の的確かつ迅速な対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症に対し、児童及び職員への適切な感染防止策に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コロナ禍での保育の実施において、前向きな工夫や新たな取組等を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・野菜の栽培や郷土料理の実習を行い、食べ物大切さや伝統について学ぶ機会を提供している。
- ・年齢にあわせた玩具を置く机を複数設置し、子どもが自ら選んで遊べるようにしている。
- ・事故があった際は場所や原因を職員間で共有し、園内危険マニュアルの作成と検証を行っている。また、ヒヤリハットの報告等共通認識に努めている。加えて、事故を確認した際の職員間の連携や救急要請の手順について、対応練習を行っている。
- ・園だよりによって保護者に対し、子どもの遊んでいる様子を写真にて知らせる等、文章と一緒にわかりやすく伝えている。
- ・利用者満足度は90.3%（令和4年度第三者評価）と、高い評価を得ている。

総合的な利用者満足度

コロナ禍において保護者参加で行事を開催するための職員の熱意に対して、保護者から感謝の声が寄せられた。また、子どもの日々の様子や発達について把握し、子どもの興味に寄り添ってくれているとの意見があった。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

野菜栽培や食育の実施、クラスでの昆虫飼育等、子どもが興味をもって活動するための工夫を積極的に取り入れている。公私連携型保育所に移行しても引き続き工夫を重ねてほしい。

施設決算状況

年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	264,457,970	250,993,040	250,163,000	250,235,940	
	その他収入	2,315,833	2,798,500	2,887,000	2,917,580	
	計	266,773,803	253,791,540	253,050,000	253,153,520	
支出	運営費	20,697,244	19,132,081	21,420,500	21,341,140	
	管理費	12,329,492	13,424,201	12,777,400	12,614,306	
	本部経費	-	-	-	-	
	人件費	213,046,016	213,826,214	230,798,717	230,767,648	
	修繕費	783,416	1,932,600	1,200,000	1,237,250	
	その他支出	1,920,100	1,952,300	2,166,000	2,166,000	
計	248,776,268	250,267,396	268,362,617	268,126,344		
収支差額	17,997,535	3,524,144	-15,312,617	-14,972,824		

(施設決算状況の説明)

- ・指定管理料は、国が定める公定価格に基づき、在園児数に応じて算出している。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は3%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	収入は前年度とほぼ等しい。支出では人材の固定的確保のための人件費増や物価高騰に伴う給食費増のほか、老朽化した調理室の機器更新のための消耗器具備品増等、効果的に活用している。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。又、新型コロナウイルス感染症による休園・自粛の際の勤務体制や賃金の支払いについても適正な対応が取られている	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性が良好であるが、安定性、活動性・健全性等が優良であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好
総合評価			
サービス面、労務面、財務面は優良であり、法人の財務力は良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。			

担当所管部	
部	子ども家庭部
課	保育課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 外4カ所
指定管理者	名称	東京都住宅供給公社
	所在地	渋谷区神宮前五丁目53番67号
施設開設年月日		平成4年4月28日 外
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
令和4年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）	
2 環境整備	樹木剪定(害虫駆除を含む)	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守 安否確認システム保守他	
4 清掃	定期清掃 床等日常清掃 ゴミ置き場等清掃	
5 計画修繕	なし	
令和4年度の事業実績		
1 住宅営繕	一般修繕 （漏水修繕、照明器具補修、自家用電気工作物部品交換等34件） 空家修繕 （畳表替、襖張替、室内全体清掃等13件）	
2 環境整備	樹木剪定(害虫駆除は実施せず)	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守 安否確認システム保守他	
4 清掃	定期清掃（毎月1回） 床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ゴミ収集日）	
5 計画修繕	なし	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	70			70
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	5	100%	20
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			30
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	5	100%	20
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	5	100%	10
合計(A)	100			100
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合計(B)	10			8.8
合計(A+B)				108.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修計画に基づき、全職員に対し、コンプライアンス研修や人権問題研修、接遇力向上研修を行うとともに、技術系の職員に対し住宅管理等に関連する専門知識を養う研修を実施した。 ・施設の維持管理については、24時間体制による適切な管理がなされていた。 ・一般修繕業務については、迅速に不良箇所を調査し、適切な修繕を行い、良好な維持管理が行われた。 ・営繕業務（エレベーター保守等の専門性の高い業務を除く）の区内事業者活用率については、金額ベースで約91%となった。 				
総合的な利用者満足度				
<ul style="list-style-type: none"> ・居住者アンケートの結果、指定管理者の対応やサービスについて「満足」・「まあ満足」との回答が約66%、「普通」との回答が約27%であった。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・区内事業者活用率及び利用者満足度の更なる向上を目指し、指定管理者と協議していく。 				

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	22,906,486	24,136,061	25,604,482	25,604,482
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	計	22,906,486	24,136,061	25,604,482	25,604,482
支出	運営費	19,140,944	21,303,015	23,190,420	22,024,631
	管理費	2,017,072	2,038,698	2,414,062	2,291,883
	本部経費	2,017,072	2,038,698	2,414,062	2,291,883
	人件費	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0
	その他支出	0	0	0	0
	計	21,158,016	23,341,713	25,604,482	24,316,514
収支差額		1,748,470	794,348	0	1,287,968
区への返還額		1,748,470	794,348	0	1,287,968
精算後収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

< 決算の特徴的事項について >

- ・令和4年度は、高齢者用住戸の一般修繕件数の減少（見込み43件 実績34件）等のため、当初計画と比べて決算額が低くなった。
- ・指定管理者は工事の発注に際して、区と同様に、透明性・公平性を確保した公募型入札制度による経費縮減と適正な支出に努めている。
- ・人件費については、住宅は専任職員が常駐していないため、当該指定管理者業務に携わる職員は本社及び支店で他の業務を兼任していることから、本部経費として管理費に計上することとしている。
- ・修繕費については、住宅は主たる指定管理業務が修繕業務であるため、他施設で計上している修繕費とは性質が異なることから、修繕費は計上せず、運営費に計上することとしている。

< 指定管理料の精算について >

- ・管理運営費の収支差額については、協定に基づき、区に全額返還した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	事業報告書、決算書、科目別内訳表、本部経費の根拠資料、サンプル抽出した証憑書類等を確認した結果、会計手続きは適正である。	優良
	予算管理が適正である	事業計画書、報告書、決算書等を確認した結果、事業計画に基づき費用を執行しており、契約額が執行額を上回ることから、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	工事受注者選定にあたり公募型入札制度の導入により透明性、公平性を確保すると共に他管理物件と併せて発注を行い、委託価格の低減に務めている。	優良
労務	労働環境が適正である	職員勤務状況、雇用契約書、法人就業規則、賃金台帳等を確認した結果、法令に準じており労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期分の決算書に基づき財務評価をした結果、収益性と安定性に優れており、成長性、活動性・健全性についても特に問題はなく、安定した運営を継続して行う財務力を有している。	優良

総合評価

・施設の維持管理・区民サービス等はS評価、財務面・労務面は優良であったことから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（町屋五丁目住宅） 従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区町屋五丁目9番2号
指定管理者	名称	東京都住宅供給公社
	所在地	渋谷区神宮前五丁目53番67号
施設開設年月日		平成10年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日
業務内容		1 区民住宅、従前居住者用住宅、共同施設及び付帯施設の保全、 修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
令和4年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）	
2 環境整備	樹木剪定(害虫駆除を含む)	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守	
4 清掃・巡回管理	定期清掃 巡回管理 床等日常清掃 ゴミ置き場等清掃	
5 計画修繕	工業用水切り替え工事	
令和4年度の事業実績		
1 住宅営繕	一般修繕 （浴室、トイレ、台所の水栓交換等110件） 空家修繕 （壁クロス張り替え等19件 空室調査7件 ドロップインコンロ取替等43件 エアコン用コンセント改修17件）	
2 環境整備	樹木剪定(害虫駆除は実施せず)	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守	
4 清掃・巡回管理	定期清掃（年4回） 巡回管理 床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ゴミ収集日）	
5 計画修繕	工業用水切り替え工事	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	70			70
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	5	100%	20
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			30
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	5	100%	20
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	5	100%	10
合計(A)	100			100
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合計(B)	10			8.8
合計(A+B)				108.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> 社内研修計画に基づき、全職員に対し、コンプライアンス研修や人権問題研修、接遇力向上研修を行うとともに、技術系の職員に対し住宅管理等に関連する専門知識を養う研修を実施した。 施設の維持管理については、24時間体制による適切な管理がなされていた。 一般修繕業務については、迅速に不良箇所を調査し、適切な修繕を行い、良好な維持管理が行われた。 営繕業務（エレベーター保守等の専門性の高い業務を除く）の区内事業者活用率については、金額ベースで約93%となった。 				
総合的な利用者満足度				
<ul style="list-style-type: none"> 居住者アンケートの結果、指定管理者の対応やサービスについて「満足」・「まあ満足」との回答が約72%、「普通」との回答が23%であった。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> 区内事業者活用率及び利用者満足度の更なる向上を目指し、指定管理者と協議していく。 				

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	31,394,598 3,127,834	39,442,249 2,497,379	62,372,214 21,681,711	62,372,214 21,681,711
	利用料金収入	0 0	0 0	0 0	0 0
	その他収入	0 0	0 0	0 0	0 0
	計	31,394,598 3,127,834	39,442,249 2,497,379	62,372,214 21,681,711	62,372,214 21,681,711
支出	運営費	27,854,075 1,814,678	34,261,670 1,861,019	56,491,619 19,637,770	52,669,356 13,193,191
	管理費	2,935,262 191,429	3,278,841 177,894	5,880,595 2,043,941	5,480,773 1,372,882
		本部経費	2,935,262 191,429	3,278,841 177,894	5,880,595 2,043,941
	人件費	0 0	0 0	0 0	0 0
	修繕費	0 0	0 0	0 0	0 0
	その他支出	0 0	0 0	0 0	0 0
	計	30,789,337 2,006,107	37,540,511 2,038,913	62,372,214 21,681,711	58,150,129 14,566,073
収支差額		605,261 1,121,727	1,901,738 458,466	0 0	4,222,085 7,115,638
区への返還額		605,261 1,121,727	1,901,738 458,466	0 0	4,222,085 7,115,638
精算後収支差額		0 0	0 0	0 0	0 0

(施設決算状況の説明)

・上段：区民住宅の決算、下段：従前居住者用住宅の決算を記載している。

< 決算の特徴的事項について >

- ・運営費の増加は、入居率向上による計画的な空家修繕を行ったことに加え、令和4年度について工業用水切り替え工事を実施したためである。
- ・指定管理者は工事の発注に際して、区と同様に、透明性・公平性を確保した公募型入札制度による経費縮減と適正な支出に努めている。
- ・人件費については、住宅は専任職員が常駐していないため、当該指定管理者業務に携わる職員は本社及び支店で他の業務を兼任していることから、本部経費として管理費に計上することとしている。
- ・修繕費については、住宅は主たる指定管理業務が修繕業務であるため、他施設で計上している修繕費とは性質が異なることから、修繕費は計上せず、運営費に計上することとしている。

< 指定管理料の精算について >

- ・管理運営費の収支差額については、協定に基づき、区に全額返還した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表			
評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	事業報告書、決算書、科目別内訳表、本部経費の根拠資料、サンプル抽出した証憑書類等を確認した結果、会計手続きは適正である。	優良
	予算管理が適正である	事業計画書、報告書、決算書等を確認した結果、事業計画に基づき費用を執行しており、契約額が執行額を上回ることから、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	工事受注者選定にあたり公募型入札制度の導入により透明性、公平性を確保すると共に他管理物件と併せて発注を行い、委託価格の低減に務めている。	優良
労務	労働環境が適正である	職員勤務状況、雇用契約書、法人就業規則、賃金台帳等を確認した結果、法令に準じており労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期分の決算書に基づき財務評価をした結果、収益性と安定性に優れており、成長性、活動性・健全性についても特に問題はなく、安定した運営を継続して行う財務力を有している。	優良
総合評価			
<p>・施設の維持管理・区民サービス等はS評価、財務面・労務面は優良であったことから、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>			

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	住まい街づくり課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場 日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区南千住四丁目1番2号 荒川区西日暮里二丁目24番2号
指定管理者	名称	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
	所在地	品川区西五反田四丁目32番1号
施設開設年月日		平成14年4月1日 平成20年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		1 自転車駐車場の利用承認・案内・誘導 2 利用料金の収納・減額及び還付 3 施設の維持管理に関する業務 等
令和4年度の事業計画		
1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施する。 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。 3 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し、全管理員に周知徹底する。 4 接遇・情報セキュリティ研修(年1回)を行う。 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、申込受付、クレーム対応を実施する。 6 区の放置自転車クリーンキャンペーンに参加する。 7 自転車安全点検キャンペーンを実施する。 8 3階の定期利用料金の引き下げを継続し、利用率の向上を図る。(南千住) 9 新型コロナウイルス感染症への対策を実施する。		
令和4年度の事業実績		
1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施した。 2 設備の保守点検や修繕を適切に実施した。 3 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理室へ設置し、全管理員に周知徹底した。 4 接遇・情報セキュリティ研修を全管理員を対象に実施した。 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、利用者の対応を実施した。 6 放置自転車クリーンキャンペーン及び自転車安全点検キャンペーンについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 7 3階の定期利用料金の引き下げを継続して行った。(南千住) 8 新型コロナウイルス感染症への対策を実施した。		
<参考> (南千住) 定期利用登録率【年間平均】(登録者数/定期収容台数): 96.6%(3年度 89.4%) 一時利用率【一日平均】(利用者数/一時収容台数): 64.0%(3年度 47.6%) (日暮里) 定期利用登録率【年間平均】(登録者数/定期収容台数): 54.0%(3年度 56.3%) 一時利用率【一日平均】(利用者数/一時収容台数): 174.6%(3年度 160.1%)		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	60			56
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	4	80%	16
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			34
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	5	100%	10
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			90
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
合計(B)	10			7.4
合計(A+B)				97.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

【共通】

- ・24時間365日対応のサポートセンターの運営を継続して行い、申込受付、利用案内、クレーム対応等を適切に実施した。
- ・場内に設置されている、シェアサイクルポートへの適切な誘導をしている。

【南千住】

- ・令和3年4月より、区と協議の上で22時から6時までを無人とし、24時間開放とすることで、経費の縮減、利用者サービスの向上を図った。
- ・3階の利用料金値下げを継続している。

【日暮里】

- ・働き方の多様化など、定期利用に比べて一時利用の割合が増加している状況であり、定員を超えて利用される状況が発生している。その中でも、令和4年度も引き続き管理員が適切に自転車の整理をすることにより、利用者の駐輪需要を満たし、放置自転車減少に寄与している。

総合的な利用者満足度

【南千住】

「管理員の態度や言葉遣い」について、満足及びやや満足の割合が合計83.0%、「管理員の服装や身だしなみ」について、満足及びやや満足の割合が合計79.2%を超えていることから満足していることが分かる。

【日暮里】

「管理員の態度や言葉遣い」について、満足及びやや満足の割合が合計75.8%、「管理員の服装や身だしなみ」について、満足及びやや満足の割合が合計77.2%を超えていることから満足していることがわかる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

【南千住】

- ・大型自転車を駐車するスペースが不足しているため、大型自転車を駐車するスペースの増設を図る。
- ・区民雇用率は33.3%であり、更なる区民雇用の促進が必要である。

【日暮里】

- ・一時利用ラックが満車となることが頻繁に発生しているため、一時利用ラックの増設を図る。
- ・区民雇用率は62.5%であり、更なる区民雇用の促進が必要である。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	2,130,696	2,130,156	2,177,343	2,546,534
		1,617,698	1,617,288	1,617,288	1,881,010
	利用料金収入	25,833,250	25,771,100	33,000,000	28,467,100
		18,115,300	19,148,500	22,000,000	19,829,320
その他収入	286,220	0	0	0	
	37,500	0	0	0	
計	28,250,166	27,901,256	35,177,343	31,013,634	
	19,770,498	20,765,788	23,617,288	21,710,330	
支出	運営費	2,866,225	2,794,075	2,926,812	2,855,060
		699,820	689,777	803,880	676,830
	管理費	6,610,935	6,582,904	7,512,473	8,850,728
		9,983,516	10,149,336	10,914,394	10,560,380
	本部経費	504,545	291,456	528,000	352,022
		504,545	291,456	528,000	328,539
	人件費	13,248,884	10,841,068	11,400,000	9,506,947
		13,990,911	13,940,554	15,240,000	14,078,697
	修繕費	1,802,240	590,260	2,177,343	2,030,270
		1,099,827	1,006,500	1,617,288	293,920
その他支出	250,000	0	250,000	0	
	250,000	0	250,000	0	
計	24,778,284	20,808,307	24,266,628	23,243,005	
	26,024,074	25,786,167	28,825,562	25,609,827	
収支差額		3,471,882	7,092,949	10,910,715	7,770,629
		-6,253,576	-5,020,379	-5,208,274	-3,899,497
区への返還額		328,456	1,539,896	0	147,073
		517,871	610,788	0	1,323,368
精算後収支差額		3,143,426	5,553,053	10,910,715	7,623,556
		-6,771,447	-5,631,167	-5,208,274	-5,222,865

(施設決算状況の説明)

上段：南千住駅東口自転車等駐車場・下段：日暮里駅前自転車駐車場

< 決算の特徴的事項について >

- ・「指定管理料」については、施設の修繕に係る費用である。
- ・「その他支出」については、選定時の提案に基づく区への納付金である。令和4年度においても新型コロナウイルス感染症による利用料金収入の減少を考慮し、納付を免除とした。
- ・令和3年度と比較し、利用料金収入がやや増加している状況である。
- ・南千住駅東口自転車等駐車場では、区と協議の上で令和3年4月から引き続き、22時から6時までを無人とし、経費の縮減を図った。

< 精算に関する記載 >

- ・修繕費は当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、利用状況報告書、科目別内訳表、本部経費の根拠資料等を確認した結果、会計手続きは適正である。	良好
	予算管理が適正である	事業計画書、予算書、決算書等を確認した結果、計画に基づき費用を執行し、予算と実績の乖離についても分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	指定管理者の努力により、支出において予算より実績が下回っており経費の効果的活用が認められ、決算も過年度実績に比べ良好であった。	優良
労務	労働環境が適正である	労働者名簿、職員勤務状況、雇用契約書、法人就業規則、賃金台帳等を確認した結果、法令に準じており労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性・収益性においてコロナ禍からの回復基調が顕著にみられ、安定性、活動性・健全性についても問題はなく、安定した運営を継続して行う財務力を有している。	優良

総合評価

- ・施設の維持管理・区民サービス等の総合評価は「A」であり、会計面は良好及び優良である。また、労務面及び法人決算については優良であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。
- ・なお、令和5年度から当該施設の指定管理者は変更となっているが、より質の高いサービスを提供するために、引継ぎや協議を丁寧に行い、今回の評価の内容を反映させる必要がある。
- ・また、令和5年度から指定管理者制度による管理運営方法を「使用料制」へ変更したことを踏まえ、より効率的な運営に努める必要がある。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	土木管理課

令和4年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場 三河島駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号 荒川区西日暮里一丁目6番20号
指定管理者	名称	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
	所在地	品川区西五反田四丁目32番1号
施設開設年月日		平成8年4月1日 平成26年10月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		1 自転車駐車場の利用承認・案内・誘導 2 利用料金の収納・減額及び還付 3 施設の維持管理に関する業務 等

令和4年度の事業計画

- 1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施する。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し、全管理員に周知徹底する。
- 4 接遇・情報セキュリティ研修(年1回)を行う。
- 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、申込受付、クレーム対応を実施する。
- 6 区の放置自転車クリーンキャンペーンに参加する。
- 7 自転車安全点検キャンペーンを実施する。
- 8 新型コロナウイルス感染症への対策を実施する。

令和4年度の事業実績

- 1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施した。
- 2 設備の保守点検や修繕を適切に実施した。
- 3 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理室へ設置し、全管理員に周知徹底した。
- 4 接遇・情報セキュリティ研修を全管理員を対象に実施した。
- 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、利用者の対応を実施した。
- 6 放置自転車クリーンキャンペーン及び自転車安全点検キャンペーンについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。
- 7 新型コロナウイルス感染症への対策を実施した。

<参考>

(センターまちや)

定期利用登録率【年間平均】(登録者数/定期収容台数): 107.1%(3年度101.3%)

一時利用率【一日平均】(利用者数/一時収容台数): 69.7%(3年度59.5%)

(三河島)

定期利用登録率【年間平均】(登録者数/定期収容台数): 50.6%(3年度40.3%)

一時利用率【一日平均】(利用者数/一時収容台数): 35.0%(3年度26.0%)

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
施設の維持管理	60			56
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	4	80%	16
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			28
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	3	80%	12
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			84
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	(配点×乗率)
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	60%	3
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	2	40%	1.2
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
合計(B)	10			5.8
合計(A+B)				89.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

【共通】

- ・24時間365日対応のサポートセンターの運営を継続して行い、申込受付、利用案内、クレーム対応等を適切に実施した。

【センターまちや】

- ・令和3年10月から引き続き、上段ラックへの駐車補助を見直すことで配置人数を減らし、経費の縮減を図った。
- ・管理員が自転車に接触してほしくない利用者が一定数いることを踏まえ、セルフエリアの設置を行い、トラブルの減少や管理員の負担軽減につながる等の結果が出るなど、現場の状況に応じ、柔軟に対応した。
- ・施設修繕の際に、管理員が利用者の誘導を適切に行い、安全な施設運営を行った。

【三河島】

- ・機械式自転車駐車場の点検や修繕、利用者への利用方法の説明等を適切に行い、年間を通じて大きなトラブルもなく施設の良い運営を令和4年度も引き続き行った。
- ・働き方の多様化など、一時利用者数が増加している状況であり、特に大型自転車を駐車する平置き場が、定員を超えて利用される状況が発生している。その中で、令和4年度も引き続き管理員が適切に自転車を整理して受け入れることで、利用者の駐輪需要を満たし、放置自転車減少に寄与している。
- ・一時利用置き場新設に向けた利用者数の情報提供や設置事業者との調整など、区の事業に積極的な協力を行った。

総合的な利用者満足度

【センターまちや】

「管理員の態度や言葉遣い」について、満足及びやや満足の割合が合計64.3%、「管理員の服装や身だしなみ」について、満足及びやや満足の割合が合計61.5%を超えており、おおむね満足していることが分かる。

【三河島】

「管理員の態度や言葉遣い」について、満足及びやや満足の割合が合計88.9%、「管理員の服装や身だしなみ」について、満足及びやや満足の割合が合計77.8%を超えており、満足していることが分かる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

【センターまちや】

- ・大型自転車を駐車するスペースが不足しているため、大型自転車を駐車するスペース増設を図る。
- ・区民雇用率は33.3%であり、更なる区民雇用の促進が必要である。

【三河島】

- ・大型自転車を駐車するスペースが不足しているため、令和5年度より一時利用置き場の増設を図る。
- ・令和3年度と比較しやや改善しているものの、継続して大幅な支出超過が続いている。これについて、駐輪場の安定した運営を継続するため、区と指定管理者の費用負担の見直しなどを行い、令和5年度からは「使用料制」へ変更している。
- ・区民雇用率は57.1%であり、更なる区民雇用の促進が必要である。

施設決算状況

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	1,392,862	1,393,422	1,393,422	2,078,027
		2,449,839	1,773,390	923,390	946,594
	利用料金収入	29,724,600	29,975,400	40,500,000	32,911,100
		4,111,800	4,501,200	5,400,000	5,404,200
その他収入	37,500	0	0	0	
	37,500	0	0	0	
計	31,154,962	31,368,822	41,893,422	34,989,127	
	6,599,139	6,274,590	6,323,390	6,350,794	
支出	運営費	3,585,176	3,545,792	3,642,810	3,590,863
		437,004	437,004	437,004	437,004
	管理費	10,916,570	15,518,364	7,441,608	16,558,186
		4,927,485	4,751,542	5,325,528	6,766,429
	本部経費	504,545	291,456	528,000	352,013
		504,545	291,456	528,000	352,013
	人件費	18,696,487	12,772,741	18,600,000	11,141,187
		11,346,456	10,316,624	11,640,000	10,530,844
	修繕費	398,480	436,730	1,393,422	1,148,935
		2,249,871	1,020,745	923,390	820,547
その他支出	250,000	0	250,000	0	
	250,000	0	250,000	0	
計	33,846,713	32,273,627	31,327,840	32,439,171	
	19,210,816	16,525,915	18,575,922	18,554,824	
収支差額		-2,691,751	-904,805	10,565,582	2,549,956
		-12,611,677	-10,251,325	-12,252,532	-12,204,030
区への返還額		994,382	956,692	0	244,487
		199,968	752,645	0	102,843
精算後収支差額		-3,686,133	-1,861,497	10,565,582	2,305,469
		-12,811,645	-11,003,970	-12,252,532	-12,306,873

(施設決算状況の説明)

上段：センターまちや自転車駐車場・下段：三河島駅前自転車駐車場

< 決算の特記事項について >

- ・「指定管理料」については、施設の修繕に係る費用である。
- ・「その他支出」については、選定時の提案に基づく区への納付金である。令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金収入の減少を考慮し、納付を免除とした。
- ・センターまちやに関して、前年度のマイナス収支からプラス収支となった。
- ・センターまちやに関して、令和3年10月から引き続き、2段ラック上段への駐車補助を見直すことで、配置人数を減らし、経費の縮減を図った。

< 精算に関する記載 >

- ・修繕費は当初計画の範囲内で実費精算とし、余剰額は区へ全額返還した。
- ・管理運営費のうち、光熱水費については、実費精算することとしているため、当初計画を超えて支出した額について指定管理料を追加支出した。

< 本部経費の考え方について >

- ・本部経費は検証可能なものに限られるものとし、支出内容、算出方法、算出根拠が資料により明らかにできることを条件としている。公募時においては、計上したいものについて、項目、考え方、算出方法、検証方法等を併せて提出させ、公認会計士による確認をした上で、内容が妥当であると判断されたものを計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、利用状況報告書、科目別内訳表、本部経費の根拠資料等を確認した結果、会計手続きは適正である。	良好
	予算管理が適正である	事業計画書、予算書、決算書等を確認した結果、計画に基づき費用を執行し、予算と実績の乖離についても分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	指定管理者の努力により決算が過年度の実績に比べ改善され、経費削減の取組も認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	労働者名簿、職員勤務状況、雇用契約書、法人就業規則、賃金台帳等を確認した結果、法令に準じており労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性・収益性においてコロナ禍からの回復基調が顕著にみられ、安定性、活動性・健全性についても問題はなく、安定した運営を継続して行う財務力を有している。	優良

総合評価

- ・施設の維持管理・区民サービス等の総合評価は「A」であり、会計面は良好である。また、労務面及び法人決算面については優良であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。
- ・経理状況については、令和3年度と比較し改善しているものの、2つの施設を合計した収支差額のマイナスは継続しているため、更なる改善に向けた検討を行う必要がある。
- ・なお、令和5年度から当該施設の指定管理者は変更となっているが、より質の高いサービスを提供するために、引継ぎや協議を丁寧に行い、今回の評価の内容を反映させる必要がある。
- ・また、令和5年度から指定管理者制度による管理運営方法を「使用料制」へ変更したことを踏まえ、より効率的な運営に努める必要がある。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	土木管理課